

平成29年

# 消防年報

鹿児島県

薩摩川内市消防局



## 薩摩川内市民憲章

美しい自然と 古い歴史を誇りとする  
わたしたち薩摩川内市民は

やさしくすれば 心はかよう  
はなしをすれば だれでもわかる  
考えさえすれば みちはひらける  
やりさえすれば かならずできる  
という信条をもって

明るく豊かなまちをつくります



市木 クロガネモチ



市花 カノユリ



市鳥 メジロ



市魚(川) アユ



市魚(海) キビナゴ

# は し が き

この年報は、薩摩川内市消防局の現勢と平成29年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に係りのある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日を表してあります。

平成30年12月

薩摩川内市消防局

# 目 次

## I. 総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢 ..... 1
2. 消防本部・署の沿革 ..... 2

## II. 総務

1. 薩摩川内市消防局の組織 ..... 5
2. 消防本部・署の事務分掌 ..... 6
3. 消防庁舎の概要 ..... 10
4. 消防大学校等入校・各種研修参加状況 ..... 13
5. 職員の階級別年齢状況 ..... 14
6. 職員の勤続年数状況 ..... 15
7. 職員の配置状況 ..... 16
8. 薩摩川内市消防局相互応援協定 ..... 17
9. 予算の比較 ..... 18
10. 消防費と人口の比較 ..... 18
11. 消防費の内訳 ..... 18
12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況 ..... 19

## III. 予防

1. 地域別火災発生状況 ..... 20
2. 月別火災発生状況 ..... 21
3. 時間別火災発生状況 ..... 22
4. 原因別火災発生状況 ..... 22
5. 火災発生件数の推移 ..... 23
6. 火災損害見積額の推移 ..... 23
7. 防火対象物現況 ..... 24
8. 建築同意事務処理状況 ..... 25
9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況 ..... 26
10. 中高層建築物一覧表 ..... 26
11. 諸届出書の処理状況 ..... 27
12. 予防査察実施状況 ..... 28
13. 地域別危険物施設現況 ..... 29
14. 危険物施設の数量及び類別状況 ..... 30
15. 危険物施設の許可等処理状況 ..... 31
16. 危険物施設の立入検査実施状況 ..... 32

## IV. 警防

1. 消防水利状況 ..... 33
2. 消防車両等の概要 ..... 34
3. 救急、特殊資機材等の装備状況 ..... 35
4. 無線配備状況 ..... 45
5. 気象状況(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上) ..... 48

## V. 救急及び救助

1. 地域別救急出場状況	49
2. 月別救急出場状況	49
3. 年齢区分別搬送人員	50
4. 時間別出場状況	51
5. 曜日別出場状況	51
6. 月別出場状況	51
7. 救急隊員の行った応急処置状況(搬送者のうち)	52
8. 不搬送原因別出場件数	52
9. 地域別救急出場状況	53
10. 搬送人員の推移	53
11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況	54
12. CPA患者社会復帰状況	54
13. 事故種別救助活動状況	55
14. 事故種別出場及び活動車両状況	55

## VI. 消防団及び消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織	56
2. 消防団員定数及び実員	57
3. 消防団員の年齢	57
4. 方面隊別団員数	57
5. 消防団員の勤続年数	57
6. 消防団車両の概要	58
7. 小型ポンプの概要	60
8. その他、消防行政協力団体	62
9. 特殊施設	64

## 付録

● 消防本部・署の沿革(川内市消防本部)	67
● 消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)	68

# I. 総括

## 1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甌島、中甌島、下甌島で構成される甌島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甌島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、平成27年3月16日に指定された甌島国定公園をはじめ、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園など、広く市民に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は682.92km<sup>2</sup>です。

消防本部の位置 東経 130° 18'  
北緯 31° 49'



年	月	概 要
平成16年	10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足
	10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長就任
	10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始
	11月17日	救急救命士17人となる
平成17年	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機15式、空気呼吸器1式、空気呼吸器用ボンベ10本の貸与を受ける
	5月9日	救急救命士18人となる
	6月9日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市清水区)～12日
	10月1日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始
	11月4日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県うるま市)～24日
	11月24日	救急救命士19人となる
平成18年	1月15日	伊豫田輝雄消防局長退任
	1月16日	桑原道男第2代消防局長就任
	2月21日	アステラス製薬株式会社から救急自動車(2B)の寄贈を受ける
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器用面体40基の貸与を受ける
	5月22日	救急救命士21人となる
	6月1日	「住宅用火災報知機」の設置が義務づけられる
	7月22日	鹿児島県北部豪雨災害(消防職員・消防団員 延 1,252 人出場)～23日
	10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(北九州市)～21日
	12月7日	総務省消防庁主催「第9回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
	平成19年	1月23日
4月1日		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体40個、液晶プロジェクター1台、防護マスクフィルター532個の貸与を受ける
5月14日		救急救命士24人となる
5月16日		鹿児島県防災航空隊と合同練習
10月12日		緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県中津市)～13日
平成20年	1月14日	桑原道男消防局長退任
	1月15日	上村健一第3代消防局長就任
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体10個、エアータン32基、放射性廃棄物用ドラム缶1個、サーベイメーター用アルミ収納ケース4個、防護マスクフィルター794個、ポケット線量計3個の貸与を受ける
	4月28日	救急救命士26人となる
	9月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
平成21年	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県佐世保市)～22日
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、エアータン5基、防護マスク195個、防護マスクフィルター1000個、防護服(アノラック型、タイベック型)50着、液晶プロジェクター1台、DVDプレーヤー5台、液晶プロジェクターケース1個、ポケット線量計20個、携帯無線機用スピーカーマイク15個の貸与を受ける
	4月14日	救急救命士28人となる
	8月26日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
	10月9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県佐賀市)～10日
平成22年	11月16日	東部消防署 高規格救急車を更新
	2月15日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始
	3月31日	中央消防署南部分署 大型高所放水車を更新
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、デジタルカメラ1台、防護マスクフィルター

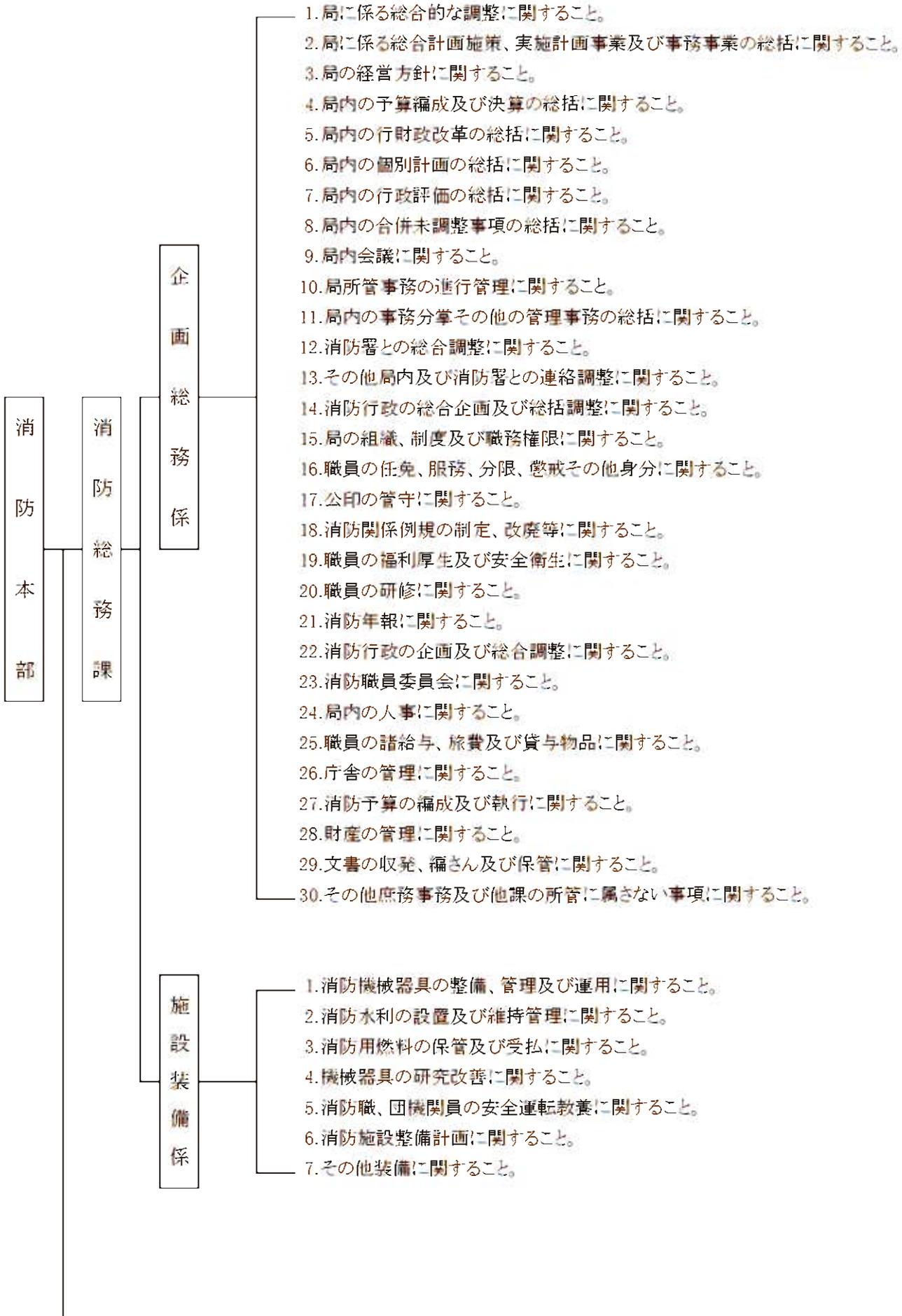
年 月	概 要
	100個の貸与を受ける
5月1日	救急救命士29人となる
6月4日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(愛知県知多市)～5日
8月30日	西部消防署 大型化学消防車を更新
10月8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施(薩摩川内市)～9日
11月10日	支援車I型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける
11月29日	東部消防署 水槽付消防ポンプ車を更新
平成23年 2月24日	西部消防署 泡原液搬送車を更新
3月14日～23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20人出場(派遣先:宮城県石巻市)
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ポンプ10本、容器呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2式、防護マスクフィルター600個、防護服(アノラック型)200着、防護服(タイベック型)200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける
4月1日	簡易携帯・IP電話位置情報システムの運用開始
4月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計15個、線量率計(γ線・X線)4台、線量率計(中性子用)1台
5月1日	救急救命士30人となる
10月1日	祁答院分署救急車に高度救命処置用資機材を搭載、救急救命士4人を配置し、運用開始
11月4日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(宮崎県宮崎市)～5日
12月16日	鹿児島県ドクターヘリ運用開始
平成24年 1月30日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ポンプ5本、空気呼吸器面体2個、化学防護服2式の貸与を受ける
3月2日	下甕分駐所 救急車を更新
3月9日	西部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
3月13日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から防護マスクフィルター1430個、GM防護マスク85個の貸与を受ける
4月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」救助用は破壊器具(バッテリー一式)1式
5月1日	救急救命士32人となる
6月27日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊支援資機材」エアータント1式
10月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計6個、線量率系(γ線・X線)2台、表面汚染調査計1台
11月17日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県八代市)～18日
11月28日	燃料補給車配備(総務省消防庁無償貸与・緊急消防援助隊登録車両)
平成25年 2月18日	中央消防署 はしご付消防ポンプ自動車を更新(先端屈折型30m級、四輪操舵式導入)
3月22日	総務省消防庁から重機搬送車(クレーン付き)・建設機械(5トン重機 アタッチメント付)を無償貸与を受ける
3月25日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、防護服(タイベック型)510着、防護靴40足オーバーシューズ725足、チオックス手袋34ダース、綿手41ダース、作業帽142袋、エプコテープ10ダース、ポケット線量計(PDM-222V型)250個、サーベイメータ(シンチレーション式 TCS-172B)2台の貸与を受ける
8月16日	京都府福知山市花火大会露店爆発事故を教訓に、露店防火指導査察をはじめ。
11月25日	消防団120年、自治体消防65年記念大会へ参加
平成26年 2月20日	中央消防署 高規格救急車を更新
3月12日	上甕分駐所 救急車を更新
3月31日	上村健一消防局長退任
4月1日	新盛和久第4代消防局長就任

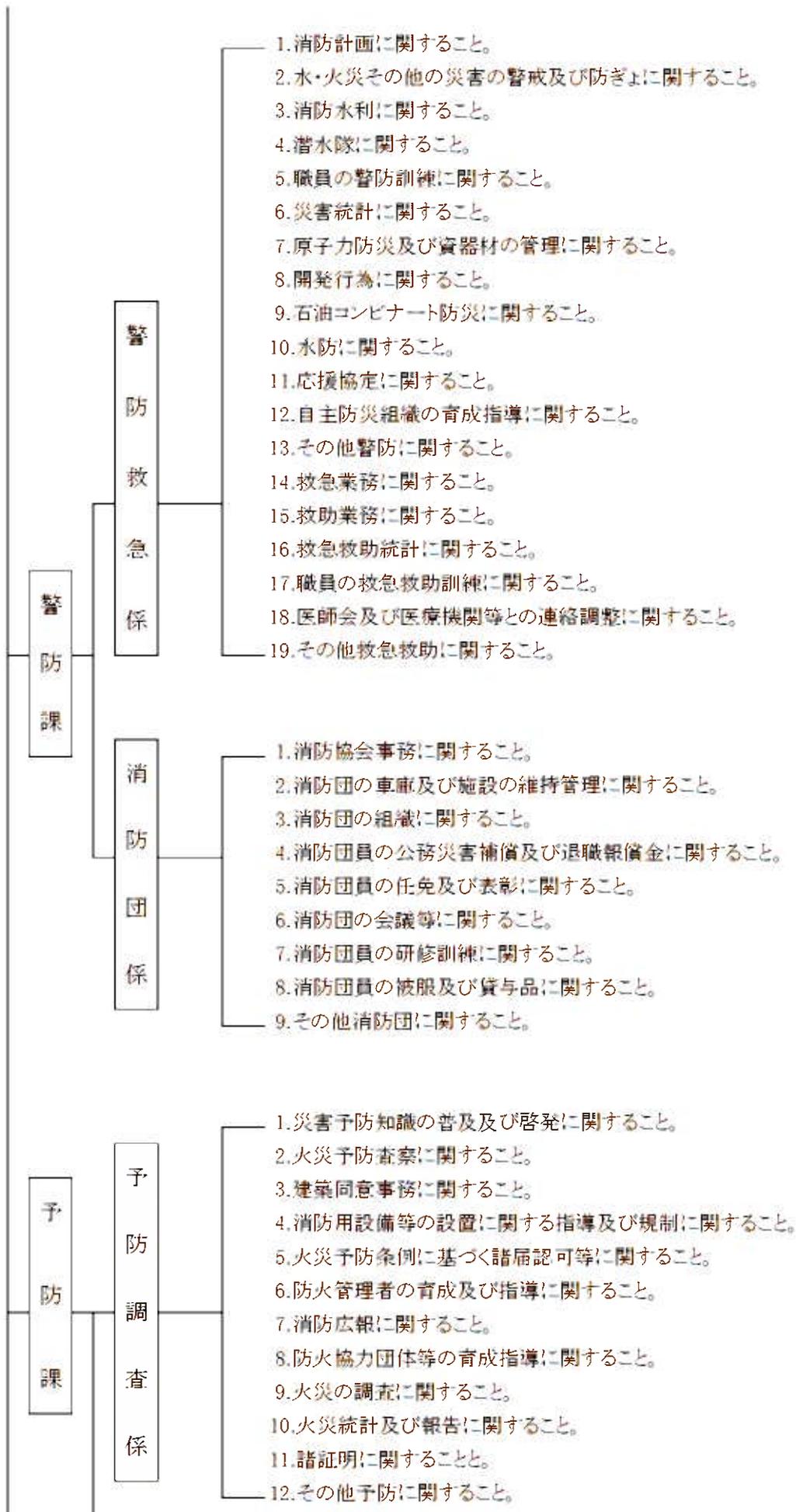
年 月	概 要
	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、原子力災害活動用防護服一式、キャビネット2基、GM管サーベイメータ(TCS-146B)2台、ポケット線量計52個の貸与を受ける
平成27年	7月18日 消防本部・中央消防署新庁舎運用開始 高機能消防指令センター運用開始
	7月22日 新旧消防庁舎にて閉庁式及び開庁式を開催
	7月26日 薩摩川内市消防局消防本部・中央消防署落成式を開催
	8月1日 防災研修センター本格運用開始
	11月6日 消防総務課 連絡車を更新 予防課 予防指導車を更新
	11月22日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県久留米市)～23日
	3月17日 南部分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	5月7日 救急救命士36人となる
	5月29日 口永良部島新岳の爆発的噴火が発生し、鹿児島県消防救助技術指導会が競技途中で中止となる
	7月4日 消防救急デジタル無線仮運用開始
	8月18日 コーアガスグループから消防指令車の寄贈を受ける
	9月16日 防災研修センターの利用者1万人達成
	11月7日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県佐伯市)～8日
	11月11日 緊急消防援助隊全国合同訓練参加(千葉県市原市)～16日
	12月10日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県からGM管式サーベイメータ3台の貸与を受ける
平成28年	1月19日 消防救急デジタル無線の本格運用並びに運用開始式を開催
	3月23日 予防課 火災原因調査車を更新
	3月24日 警防課 本部指揮隊車を更新
	4月1日 消防局150人体制となり、上甕分駐所並びに下甕分駐所に職員をそれぞれ1人増員し、各分駐所6人体制となる
	4月15日～28日 4月14日21時26分に発生した震度7の地震を前震とする「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として延べ31人出場する
	4月27日 救急救命士37人となる
	6月1日 株式会社大和から小型バスの寄贈を受ける
	11月5日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県雲仙市)～6日
平成29年	12月13日 海上保安庁と合同潜水訓練を実施する
	1月7日 消防出初式において木遣り歌を初披露
	2月20日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、空気ポンペ20本、原子力災害活動用防護服一式の貸与を受ける
	3月17日 中央消防署 高規格救急車を更新
	4月1日 消防局154人体制となる
	4月1日 横浜市消防局に職員1人を派遣する
	5月1日 救急救命士39人となる
平成30年	1月7日 消防出初式においてはしご乗りを初披露
	1月31日 下甕分駐所 連絡車を更新
	2月28日 東部消防署、西部消防署 指揮車を更新
	3月28日 中央消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	4月1日 消防局157人体制となる
	4月1日 昨年度に引き続き横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4月17日 株式会社サンテックから無人航空機(ドローン3機)の寄贈を受ける
	5月1日 救急救命士43人となる

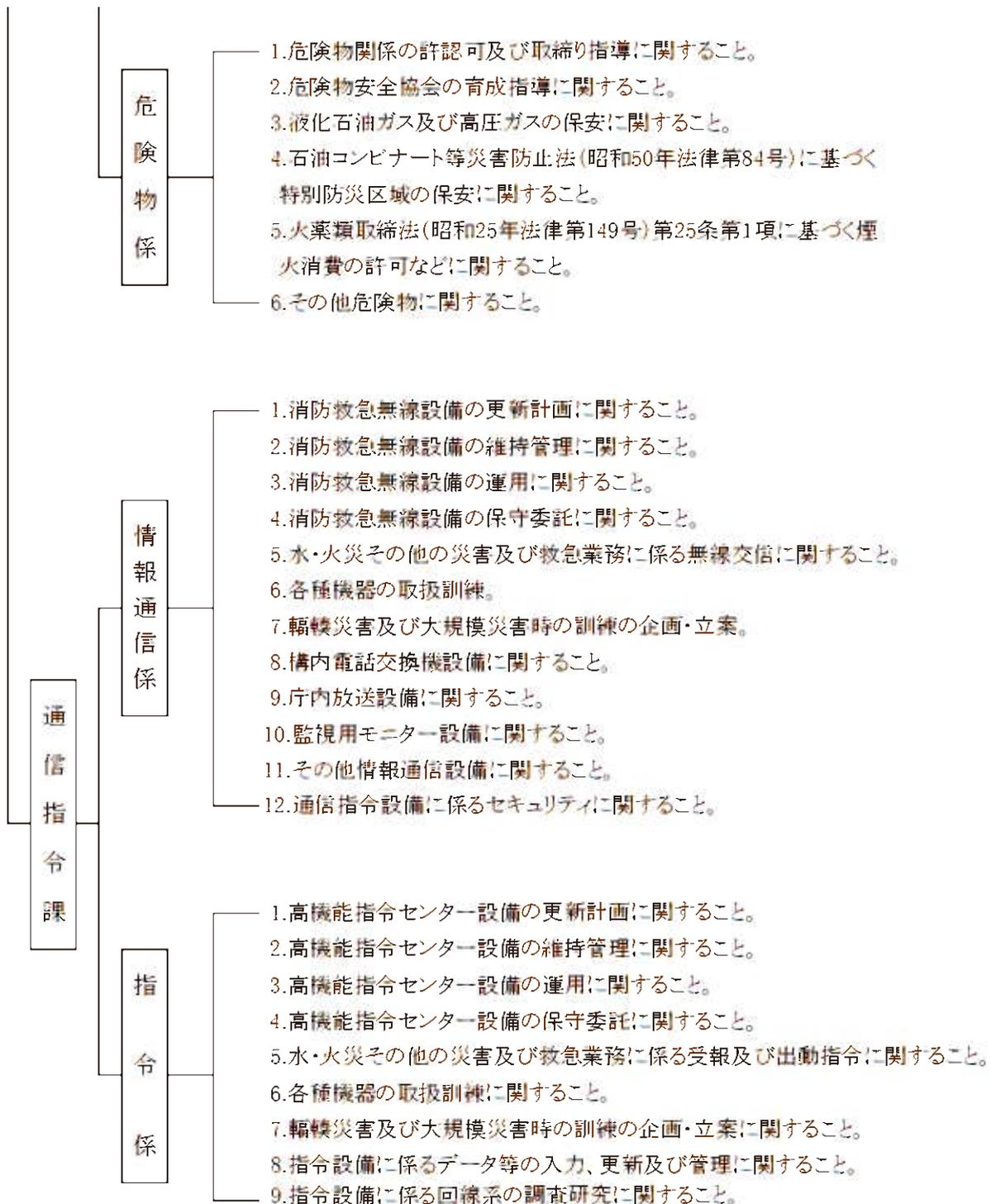
# II. 総務

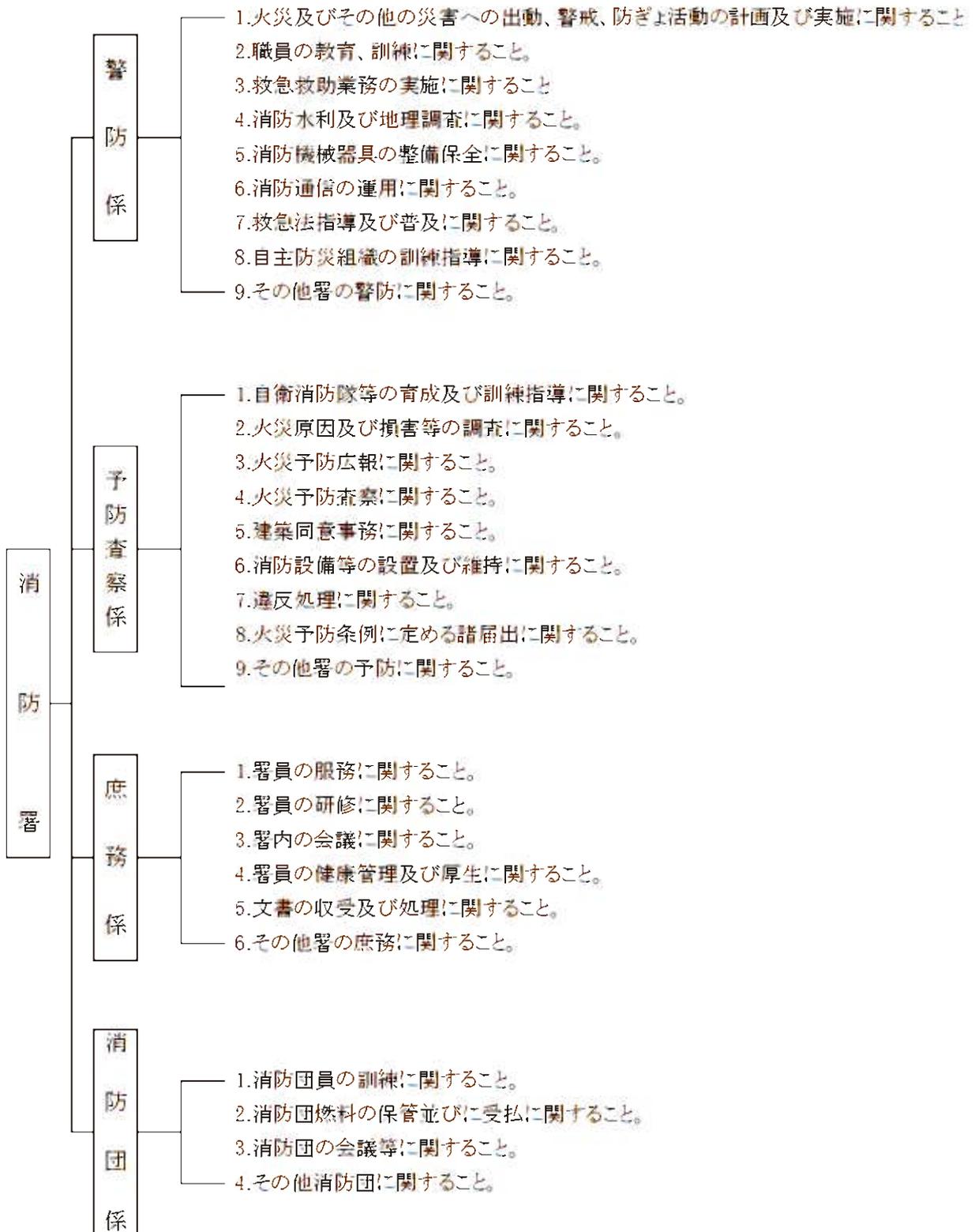


## 2. 消防本部・署の事務分掌









### 3. 消防庁舎の概要

平成30年4月1日現在

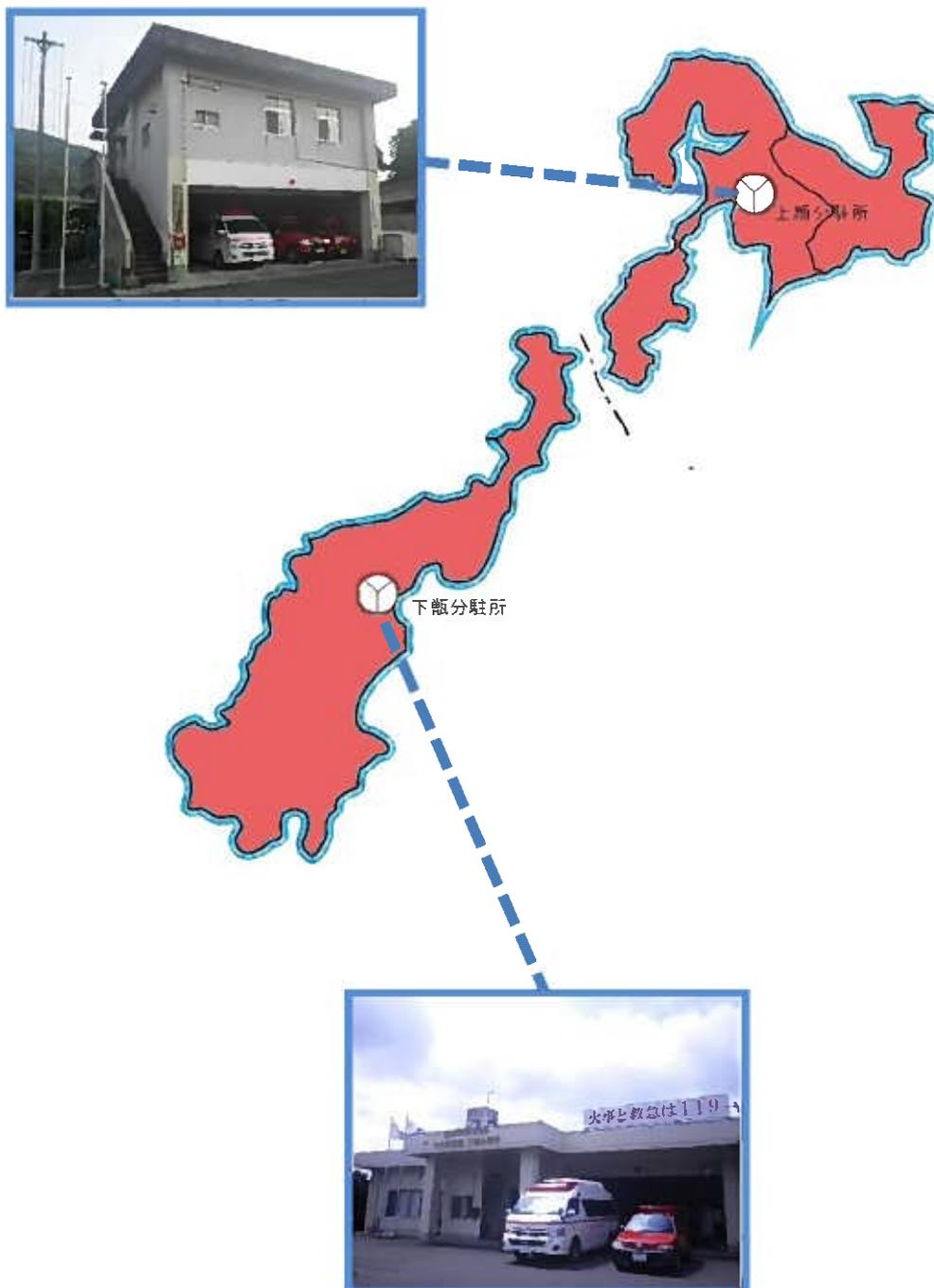
区分 名称	所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	構造	延面積 (m <sup>2</sup> )	完成年月日	電 話
消防本部・ 中央消防署	薩摩川内市中郷町 5031番地1	9,158	鉄筋コンクリート 造 3 階 建	4376.84	H 26. 3. 14	0996- 22-0119 (代表)
訓練主塔			鉄筋コンクリート 造 7 階 建	258.36	H 26. 7. 25	0996- 22-0124 (消防総務課)
訓練副塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	337.10	H 26. 5. 30	0996- 22-0125 (警防課)
訓練補助塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	56.00	H 26. 7. 25	0996- 22-0135 (予防課)
附属車庫 ・駐輪場			アルミ製	220.12	H 26. 6. 4	0996- 22-0143 (中央消防署)
南部分署	" 若松町 8番20号	565	鉄骨造 2 階 建	560.00	H 4. 3. 26	0996- 23-1360
上甌分駐所	" 上甌町中甌 481番地1	140	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	164.00	S 57. 2. 24	09969- 2-0377
上甌待機宿舎 1号・2号	" " 490番地5	227	"	124.00	S 57. 2. 23	
上甌待機宿舎 3号	" " 728番地	256	木造平屋	70.00	H 12. 3. 10	
下甌分駐所	" 下甌町長浜 913番地3	813	鉄筋コンクリート 造 平 屋 建	199.00	H 22. 2. 15	09969- 5-1057
下甌待機宿舎 3号	" " 187番地2	205	木造平屋	70.00	H 12. 3. 10	
下甌待機宿舎 4号	" " 670番地	※数棟農住宅地 の一部を使用	コンクリートブロック造 平 屋 建	50.00	S 48. 1. 20	
東部消防署	" 入来町浦之名 727番地2	5,008	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部5階)	543.00	S 58. 3. 18	0996- 44-3390
東部消防署 消毒室			木造平屋	19.00	H 19. 12. 7	
東部消防署 補助車庫			鉄骨造1階建	57.00	H 22. 12. 14	
祁答院分署	" 祁答院町下手 43番地1	1,378	鉄骨造2階建	423.00	H 17. 10. 28	0996- 21-8620
西部消防署	" 水引町 3397番地1	3,004	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	835.00	S 59. 3. 26	0996- 26-3524
西部消防署 消毒室			木造平屋	17.00	H 22. 3. 9	

# 【本土区域】

- 中央署管轄区域
- 東部署管轄区域
- 西部署管轄区域



## 【甌島区域】



#### 4. 消防大学校等入校-各種研修参加状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

機 関 名	研 修 科 目	研 修 期 間	人 員 (人)
消防大学校	消防大学校フォーラム及び特別講習会	平成29年11月30日	1
鹿児島県消防学校	第80期初任科	平成29年4月10日～平成29年9月28日	6
	第23期救急科	平成29年5月10日～平成29年6月29日	2
	換法審査員研修	平成29年7月16日～平成29年7月18日	8
	第3期救命士追加講習	平成29年7月31日～平成29年8月31日	4
	第4期救命士追加講習	平成29年10月2日～平成29年10月6日	3
	第22期救助科	平成29年10月18日～平成29年11月16日	3
	第12期中級幹部科	平成29年11月27日～平成29年12月6日	1
	第12期火災調査科	平成30年1月11日～平成30年1月25日	1
	第24期救急科	平成30年1月30日～平成30年3月23日	3
九州消防長会	九州地区警防実務研修会	平成29年12月11日～平成29年12月22日	1
鹿児島県消防長会	合同消防実務研修	平成29年10月6日	3
救急救命九州研修所	第35期救急救命士研修	平成29年9月4日～平成30年3月12日	1
薩摩川内地区 安全運転管理協議会	安全運転管理者等の法定講習	平成29年8月23日	4
川内市医師会立 市民病院	救急救命士気管挿管実習	平成29年6月20日～平成29年9月14日	1
		平成29年10月16日～平成29年12月22日	1
	ビデオ喉頭鏡による気管挿管実務研修	平成29年9月12日～平成29年10月13日	4
		平成29年10月10日～平成29年10月20日	1
		平成29年12月20日～平成29年12月28日	1
		平成30年2月13日～平成30年2月20日	1
D j i C a m p	無人航空機(ドローン)オペレーター養成講習	平成30年2月14日～平成30年2月15日 平成30年3月15日	3
公益財団法人 日本無線協会	第三級陸上特殊無線技士講習	平成29年6月20日	3
	主任無線従事者講習	平成29年6月23日、10月20日	3

### 5. 職員の階級別年齢状況

平成30年4月1日現在(単位:人)

階級 年齢	消防監	消防司長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
18									
19							3		3
20							2		2
21							9		9
22							3		3
23							2		2
24						1	4		5
25						1	1		2
26						4	2		6
27						1	1		2
28						2			2
29					1	1			2
30					2	1			4
31					2	2			5
32					8				8
33					3				3
34					2				2
35					2				2
36					2				2
37				2					2
38					4			1	5
39					6				6
40				4	2				6
41				4	3				7
42				2					2
43				5					5
44				2					2
45				3					3
46				3					3
47				1					1
48				1					1
49				3					3
50			3	1					4
51			2						2
52			1	1					2
53			1	6					7
54			7	1					8
55			1						1
56		1	2	3					6
57		1	4		1				6
58	1	3	2						6
59		4	1						5
合計	1	9	24	42	40	13	27	1	157
平均年齢	58.0	58.1	54.4	46.3	35.6	27.5	22.1	38.0	39.8

## 6. 職員の勤続年数状況

平成30年4月1日現在(単位:人)

階級 年数	消防監	消防司長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
1年未満									
1～2							6	1	7
2～3							6		6
3～4							4		4
4～5							5		5
5～6							3		3
6～7							3		3
7～8						4			4
8～9						3			3
9～10						1			1
10～11						3			3
11～12					6	1			7
12～13					5	1			6
13～14					1				1
14～15				1	5				6
15～16				2	3				5
16～17					2				2
17～18					2				2
18～19									
19～20					3				3
20～21				3	3				6
21～22				1	4				5
22～23					4				4
23～24				2	1				3
24～25				7					7
25～26									
26～27				7					7
27～28				3					3
28～29									
29～30				2					2
30～31									
31～32									
32～33			1	4					5
33～34			3	2					5
34～35			2	3					5
35年以上	1	9	18	5	1				34
合計	1	9	24	42	40	13	27	1	157
平均年数	35.0	35.0	34.5	26.9	16.7	8.8	3.1	1.0	

## 7. 職員の配置状況

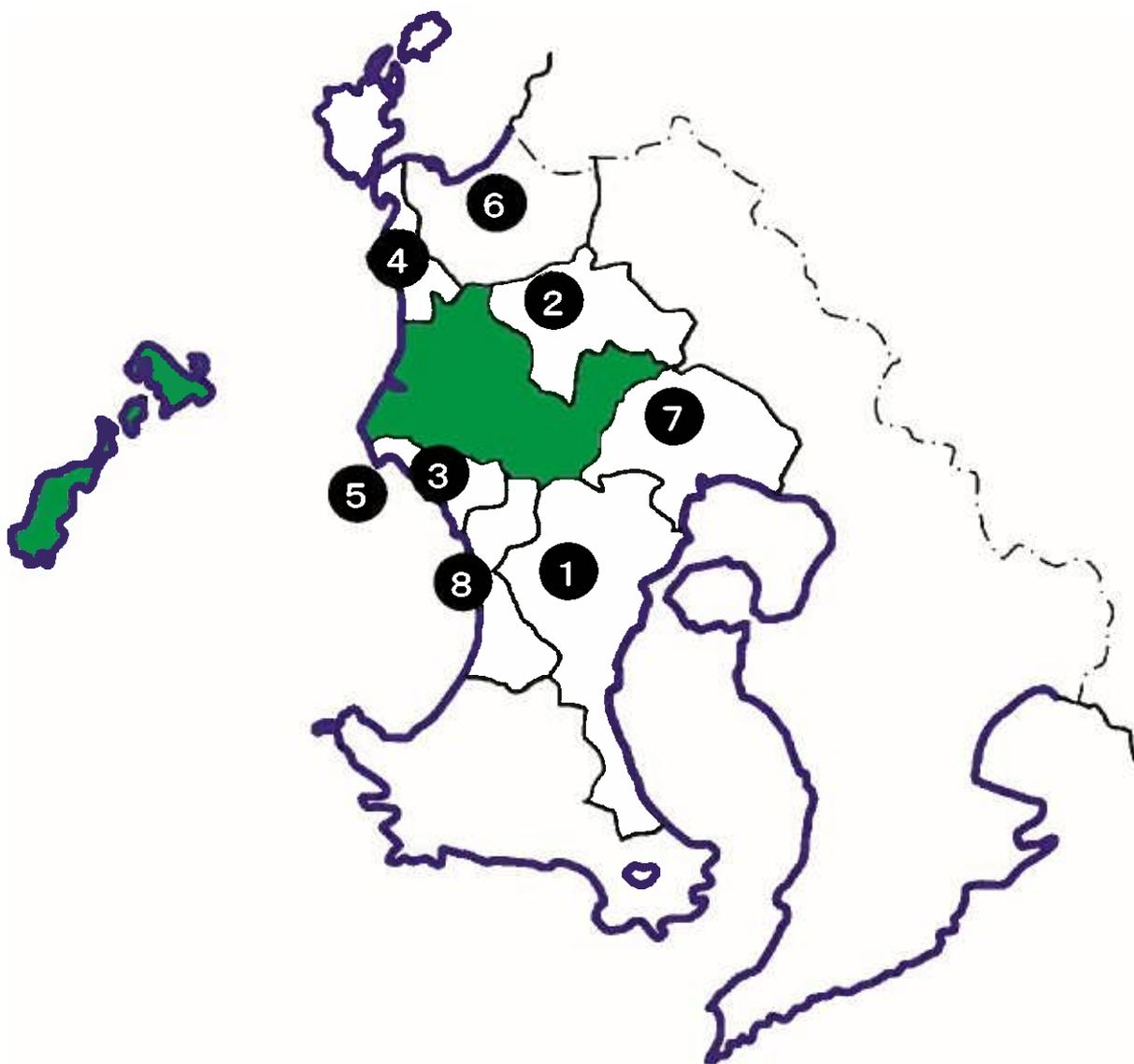
平成30年4月1日現在(単位:人)

所 属	区 分	計	消 防 職 員								
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	
局	長	1	1								
次	長	1		1							
消	消防総務課	課 長	1		1						
		課 長 代 理	2			2					
		企 画 総 務 係	9					2		6	1
		施 設 装 備 係	2				1	1			
		小 計	14		1	2	1	3		6	1
防	警防課	課 長 代 理	1			1					
		警 防 救 急 係	1				1				
		消 防 団 係	2				2				
小 計	4			1	3						
本	予防課	課 長	1		1						
		課 長 代 理	1			1					
		予 防 調 査 係	2				2				
		危 険 物 係	1				1				
		小 計	5		1	1	3				
部	通信指令課	課 長	1		1						
		課 長 代 理	2			2					
		情 報 通 信 係	1				1				
		指 令 係	4				4				
小 計	8		1	2	5						
計	31		3	6	12	3		6	1		
消 防 署	中 央 消 防 署	42		1	6	10	10	5	10		
	南 部 分 署	19		1	2	6	4	4	2		
	上 郷 分 駐 所	6				1	5				
	下 郷 分 駐 所	6			1	1	4				
	東 部 消 防 署	20		1	4	5	4	2	4		
	祁 答 院 分 署	11		1	1	3	4	1	1		
	西 部 消 防 署	20		1	4	4	6	1	4		
	計	124		5	18	30	37	13	21		
合 計	157	1	9	24	42	40	13	27	1		

## 8. 薩摩川内市消防局相互応援協定

平成30年 4月 1日現在

番号	協 定 先 名	協 定 の 種 類	締 結 年 月 日
①	鹿 児 島 市 消 防 局	消 防 ・ 救 急	H16. 11. 1
②	さ つ ま 町 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 4. 1
③	い ち き 串 本 野 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 11. 18
④	阿 久 根 地 区 消 防 組 合	消 防 ・ 救 急	H18. 9. 1
⑤	串 本 野 海 上 保 安 部	船 舶 火 災	H16. 10. 12
⑥	出 水 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H18. 10. 1
⑦	始 良 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H22. 3. 23
⑧	日 置 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 11. 18
※	県 下 市 町 村 及 び 消 防 本 部	大 規 模 災 害 等	H18. 10. 25



## 9. 予算の比較

(単位：千円、%)

年次	一般会計予算	消防費	一般会計予算に対する割合
平成28年度	51,840,000	2,026,964 〔 1,620,256 〕	3.9% 〔 3.1% 〕
平成29年度	53,840,000	2,234,378 〔 1,639,026 〕	4.2% 〔 3.0% 〕
平成30年度	52,970,000	1,990,465 〔 1,699,840 〕	3.8% 〔 3.2% 〕

※〔 〕は、消防局所管予算

## 10. 消防費と人口の比較

区分	1世帯あたりの予算	1人あたりの予算
平成30年度一般会計予算額	1,155,062 円	554,184 円
うち消防費	43,404 円	20,825 円
うち消防局所管分	37,067 円	17,784 円

※平成29年4月1日現在の人口及び世帯数で算出

## 11. 消防費の内訳

(単位：千円)

区分	平成29年度予算額
消防局所管分	
常備消防費	1,390,226
人件費	1,196,886
臨時職員経費	3,161
報償費	318
旅費	7,725
需用費	83,208
役務費	8,710
委託料	68,750
使用料及び賃借料	3,680
備品購入費	10,615
負担金補助及び交付金	5,478
公課費	1,695
常備消防施設費	19,970
旅費・役務費	862
備品購入費・公課費	19,108
非常備消防費	201,062
非常備消防施設費	88,582
計	1,699,840
水防費	661
災害対策費	289,964
合計	1,990,465

12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

平成30年4月1日現在(単位:人)

種別	区分	消防							事務吏員	計
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
自動車運転免許	一 種	大型	1	9	24	42	39	12	4	131
		中型					2			2
		普通	1	9	24	42	40	13	27	157
		大型特殊			3	2	2			7
	二 種	けん引			1	1	1			3
		大型普通			4	8	5	2		19
自動車整備士	自動二輪		2	14	24	25	5	2	72	
救急救命士			1	7	11	12	5	3	39	
応急手当指導員			2	9	9	2			22	
薬剤投与認定			1	6	9	4	4		24	
気管挿管認定			1	7	10	5	1		24	
自動車整備士3級						1			1	
移動式クレーン運転士						1			1	
小型移動式クレーン技能講習			4	14	16	4			38	
玉串技能講習			3	6	11	3			23	
消防設備士	甲種第4類			2		1	1		4	
	乙種第1類				1	3			4	
	乙種第2類				1	1			2	
	乙種第3類				1				1	
	乙種第4類	1		1	3	6	1		12	
	乙種第5類					2			2	
	乙種第6類					6	1		7	
	乙種第7類			1		1			2	
消防設備点検資格者	第1種			1					1	
	第2種			1					1	
危険物取扱者	甲種				1				1	
	乙種	第1類		4	1	1	12	3		21
		第2類		4	1	1	7	3		16
		第3類		4	3	1	7	3		18
		第4類	1	7	12	32	36	12	3	103
		第5類		4	2	1	7	2		16
		第6類		3	1	1	9	4	1	19
丙種			2	3				5		
陸上特許	2級	1	3	4	1		1		10	
無線技師	3級		1	3	20	21	2		47	
第4級アマチュア無線技士		2	9	2					13	
電気工事士			3	3	5	1			12	
認定電気工事従事者					1				1	
毒・劇物取扱者		1			1				2	
ガス溶接技能講習			3	1	1				5	
アーク溶接特別教育			1	1					2	
ボイラー技師2級			1		1				2	
小型船舶操縦士	1級	2	4	1	1				8	
	2級	5	8	5	2				20	
潜水士		1	4	8	13	3			29	
車両系建設機械技能講習			2	6	6				14	
車両系建設機械技能講習(解体用)			2	3	3				8	
小型車両系建設機械技能講習		1	4	8	1				14	
測量士補					1				1	
石油機器技能管理士			2						2	
視覚教育指導者			2	1					3	
16mm映写技師		1	1	1					3	
宅地建物取引主任者			1						1	
特定化学物質作業主任者			3						3	
防火対象物点検資格者			1						1	
防災管理点検資格者			1						1	
予防技術資格者	防火巡察		1	3	6	12	3		25	
	消防用設備等		1	4	2	5			12	
	危険物	1	4	2	6				13	
防災士			3	2	1				6	

# III. 予防

1. 地域別火災発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分		地域別									
		川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島	計
火災件数(件)		29	11	4	2	10					56
火災種別	建物火災(件)	14	4	1	1	1					21
	林野火災(件)	1	2	1		2					6
	車両火災(件)	1		1							2
	船舶火災(件)										
	その他(件)	13	5	1	1	7					27
火災棟数	住家(件)	18	1	2		1					22
	非住家(件)	4	4	1	12						21
火災世帯数(世帯)		19	1	2		1					23
火災人員数(人)		46	4	6		2					58
焼失面積	建物	床面積(m <sup>2</sup> )	532	152	365	266	7				1,322
		表面積(m <sup>2</sup> )	91				11				102
	林野等(a)	1	3	4		18					26
死傷者	死者(人)	3	1	1		1					6
	傷者(人)	4									4
損害額	建物火災(千円)	27,820	1,765	14,866	1,559	70					46,080
	林野火災(千円)		8								8
	車両火災(千円)	15		126							141
	船舶火災(千円)										
	その他(千円)	1		180	1,496						1,677
	計(千円)	27,836	1,773	15,172	3,055	70					47,906

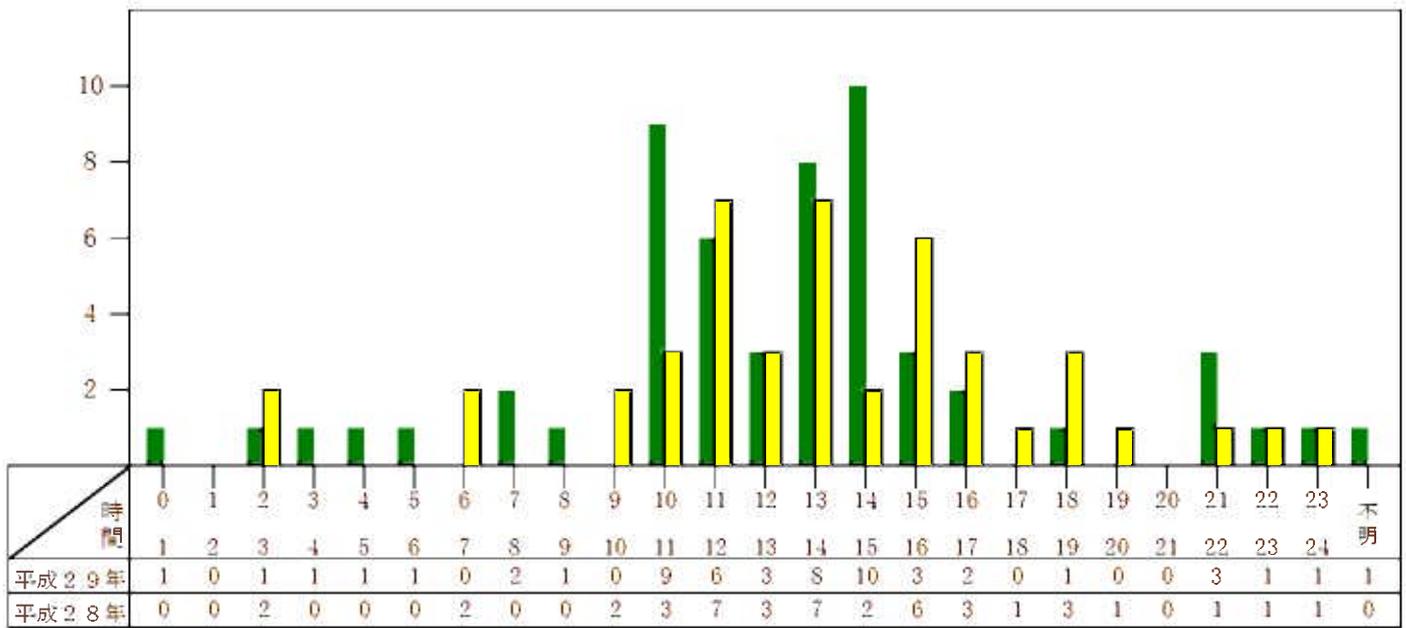
## 2. 月別火災発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分		月別												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災種別	建物火災 (件)	5	1		1	3	2	2	3		1	1	2	21	
	林野火災 (件)	1	2			2	1							6	
	車両火災 (件)		2											2	
	船舶火災 (件)														
	その他 (件)	2	6	4	3	4	4		2		1		1	27	
	計 (件)	8	11	4	4	9	7	2	5		2	1	3	56	
損害額	建物火災 (千円)	12,707	128		72	2,450	109	14,867	8,759		99	36	6,025	45,252	
	林野火災 (千円)		8											8	
	車両火災 (千円)		141											141	
	船舶火災 (千円)														
	その他 (千円)	828				1,496	1	180						2,505	
	計 (千円)	13,535	277		72	3,946	110	15,047	8,759		99	36	6,025	47,906	
焼損棟数	住家	全焼 (件)	1						1	1			1	4	
		半焼 (件)													
		部分焼 (件)	1	1				1					2	5	
		ぼや (件)	4						1	2		1	1	4	13
	非住家	全焼 (件)				1	13							1	15
		半焼 (件)								1					1
		部分焼 (件)													
		ぼや (件)					1	1	2					1	5
り災世帯数 (件)	6	1					1	2	3		1	2	7	23	
り災人員数 (人)	18	4					2	6	7		2	2	17	58	
死傷者	死者 (人)		2			1		1					2	6	
	傷者 (人)		1		1				1		1			4	
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	187			16	349	7	365	274		1	1	122	1,322
		表面積 (㎡)	1	26			1	11						63	102
	林野等 (a)	4	2			18	2							26	

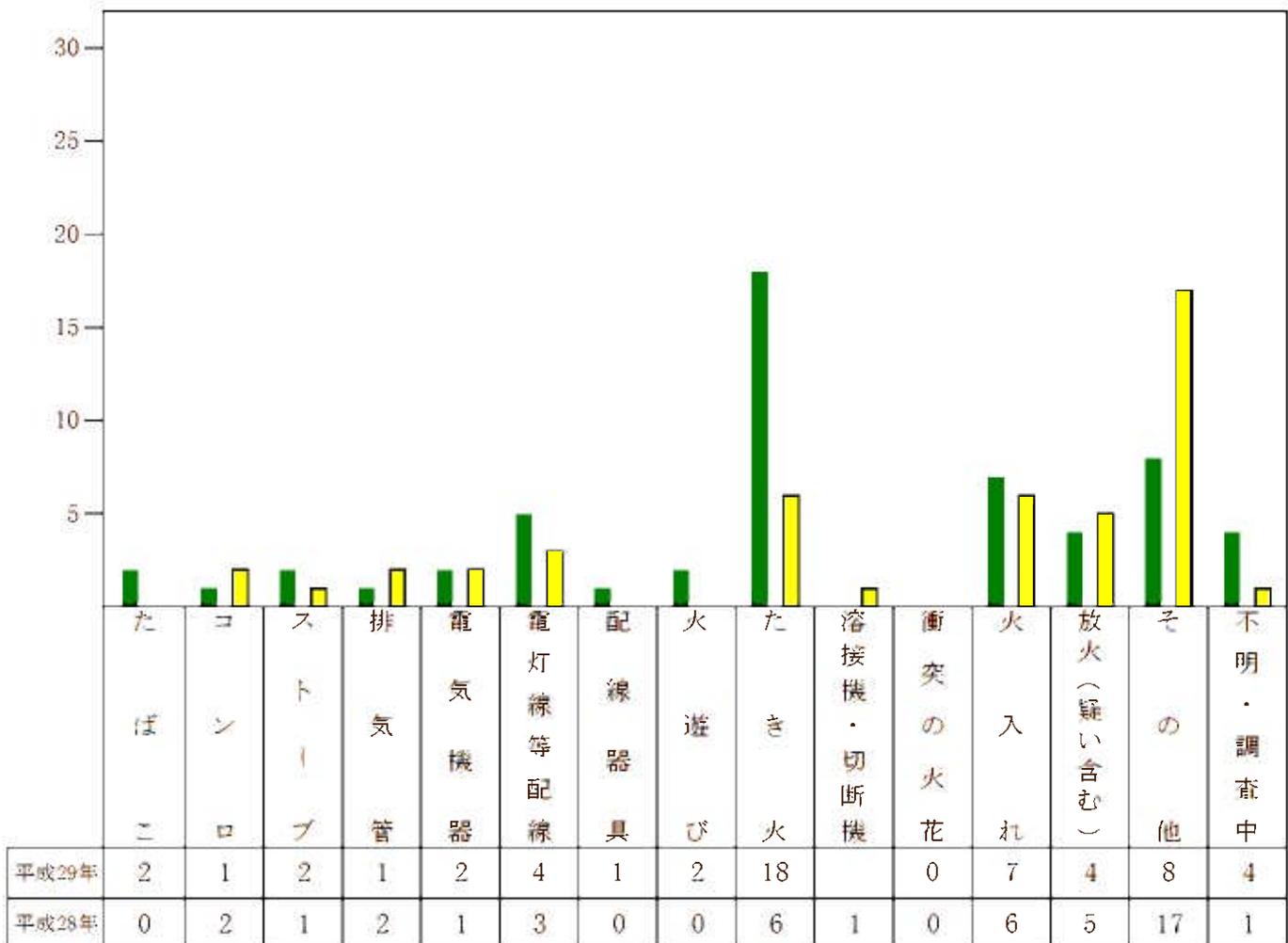
### 3. 時間別火災発生状況

平成29年 ■ 平成28年 ■

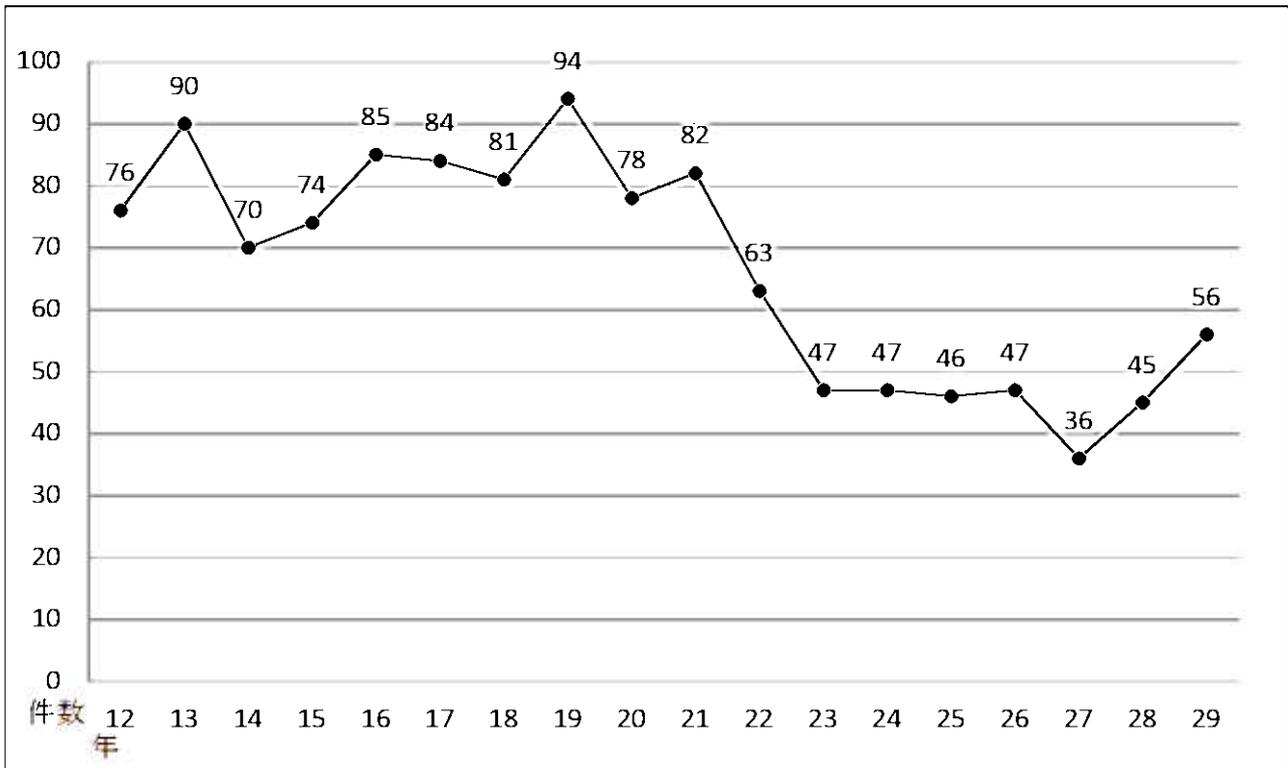


### 4. 原因別火災発生状況

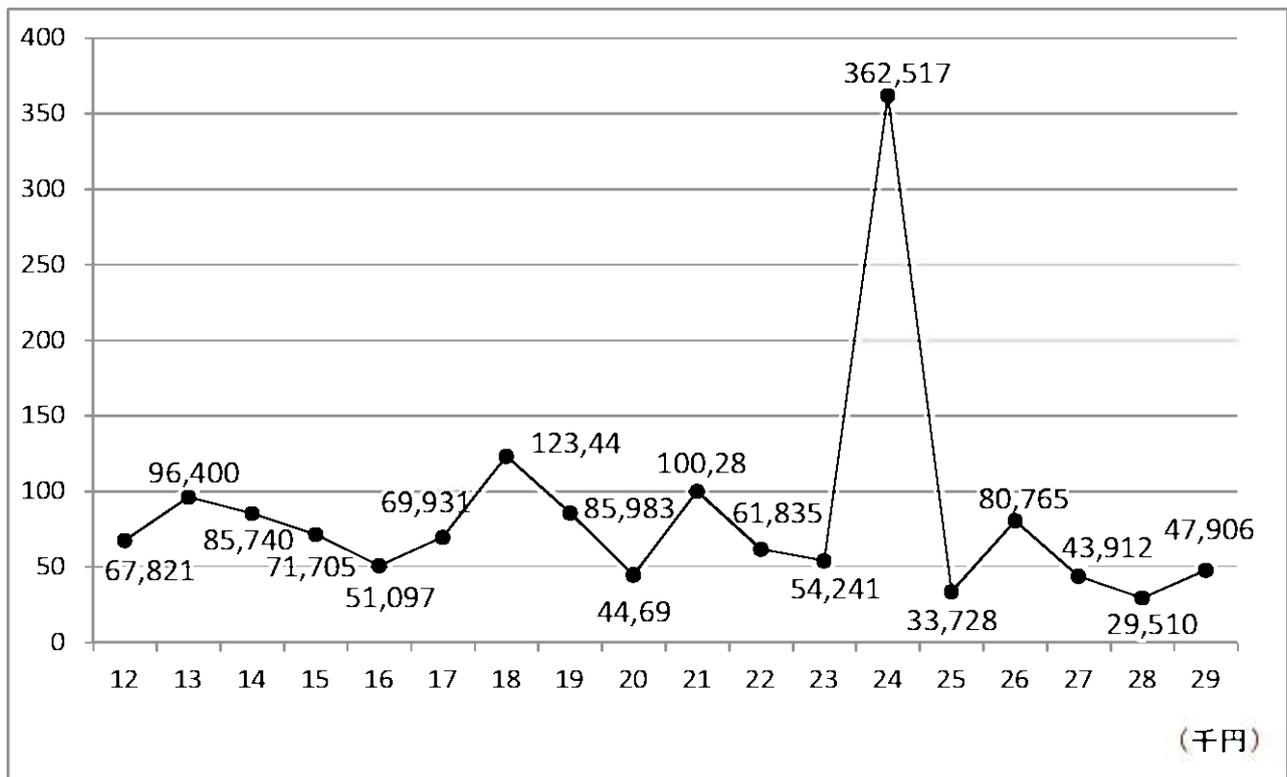
平成29年 ■ 平成28年 ■



### 5. 火災発生件数の推移



### 6. 火災損害見積額の推移



## 7. 防火対象物現況

平成30年4月1日現在

区分		署所		西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	計	
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)					
1	イ	劇場・観覧場類	6				6	
	ロ	公会堂・集会場類	16	5		3	1	25
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ	遊技場・ダンスホール	18	1		1		20
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等	1					1
3	イ	待合・料理店類						
	ロ	飲食店	60	6	2	1	1	70
4		百貨店・物品販売店舗	131	17	5	2	4	159
5	イ	旅館・ホテル類	41	15	11	8	16	91
	ロ	寄宿舎・共同住宅類	834	46	5	23	30	938
6	イ	病院・診療所又は助産所	76	14	2	2	4	98
	ロ	老人短期入所施設等	44	16	5	4	4	73
	ハ	老人デイサービスセンター等	79	28	13	1	2	123
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	8	3	1	2	1	15
7		学校	144	39	11	10	15	219
8		図書館・博物館類	4	4	4		1	13
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場	2	4	4			10
10		車両の停車場			1	1	2	4
11		神社・寺院・教会類	26	10	8	4	7	55
12	イ	工場・作業場	348	129	73	11	9	570
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	42	14	12		1	69
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫	174	54	66	10	6	310
15		前各号に該当しない事業場	352	273	89	32	29	775
16	イ	前1～4・5イ・6・9イの存する 複合用途防火対象物	236	26	10	10	4	286
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用 途防火対象物	151	12	10	5	3	181
18		アーケード	5					5
計			2,798	716	332	130	140	4,116

## 8. 建築同意事務処理状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：件)

区分	署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
	新 築		104	8	16
増 築		17	2		19
改 築					
移 転		1			1
修 繕					
模 様 替					
用 途 変 更		3			3
そ の 他					
合 計		125	10	16	151

区分	署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
	建築申請通知(一般住宅)		363	25	6

### 9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

防火対象物の区分		防火対象物定期点検報告制度実施状況									
		該当数		点検報告済		特例認定済		一部点検済又は特例認定済		未実施又は特例認定申請中	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
1項	イ	1				1					
	ロ	15		1		12				2	
2項	イ										
	ロ	8		1		3				4	
	ハ ニ		1		1						
3項	イ										
	ロ	2	2	2	2						
4項		14		12		2					
5項	イ	5	4	2	3	1				2	1
	ロ	3	1	1		2					1
6項	イ										
	ロ										
	ハ ニ	1				1					
9項	イ										
16項	イ	15	7	1		8	2			7	5
16項の2											
合計		64	15	20	6	30	2			15	7

※1号とは、消防法施行令第4条の2の2の1号に定める人員300人以上のもの。

※2号とは、同第2号に定める特定1階段等防火対象物。

### 10. 中高層建築物一覧表

平成29年4月1日現在

階数	層別	署別						計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署	(含都答院分署)	西部消防署	上飯分駐所	下飯分駐所	
3	階	359		27	15	18	24	443
4	階	193		16	5			214
5	階	64		6	3		3	76
6	階	12		3	2	1		18
7	階	6						6
8	階	1						1
9	階	2						2
10	階	2						2
11	階	2						2
12	階	1						1
13	階	1						1
14	階	1		1				2
15	階	2						2
合計		646		53	25	19	27	770

11. 諸届出書の処理状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

区分 \ 署所		件数						合計
		(含南部分署) 中央消防署	東部消防署	祁答院分署	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	
確翠川内市火災予防条例関係	防火対象物使用開始届出書	51	7	1	5	2		66
	炉・厨房設備・ボイラー等設置届出書	12		3	1	1		17
	発電・変電・蓄電池設備設置届出書	43	7	2	12	3		67
	ネオン管灯設備設置届出書							
	水素ガスを充てんする気球の設置届出書							
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出書	148	140	69	35	8	4	404
	煙火打上・仕掛け届出書	49	12	12	2	3		78
	催物開催届出書	5	4		8		1	18
	水道断水届出書	2	3	1	1			7
	道路工事届出書	405	87	35	44	46	25	642
	露店等の開設届出書	94	35	8	10	5	9	161
	指定洞道等設置届出書							
	少量危険物・指定可燃物貯蔵届出書	15	1		5			21
	小計	824	296	131	123	68	39	1,481
消防法関係	液化石油ガス等の貯蔵又は取扱い届出書	30	3	1	6	2	1	43
	消防用設備等着工届出書	115	20	6	15	1	6	163
	消防用設備等設置届出書	251	49	7	26	10	16	359
	防火管理者選(解)任届出書	139	20	16	8	6	13	202
	消防計画作成(変更)届出書	156	22	18	9	7	11	223
	小計	691	114	48	64	26	47	990
総計		1,515	410	179	187	94	86	2,471

12. 予防査察実施状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：件)

区分		署所					計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含都答院分署)	西部消防署	上叡分駐所	下叡分駐所	
1	イ 劇場・観覧場類	3					3
	ロ 公会堂・集会場類	1	3				4
2	イ キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ 遊技場・ダンスホール	2	1				3
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店類						
	ロ 飲食店	1	4	2		1	8
4	百貨店・物品販売店舗	15	10		1	2	28
5	イ 旅館・ホテル類	36	12	9	11	26	94
	ロ 寄宿舎・共同住宅類	25		1	1	9	36
6	イ 病院・診療所又は助産所	39	9	1			49
	ロ 老人短期入所施設等	44	13	5	4	3	69
	ハ 老人デイサービスセンター等	12	20	5			37
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	8					8
7	学校	128	14	8			150
8	図書館・博物館類	3					3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場		2	1			3
10	車両の停車場				1		1
11	神社・寺院・教会類		1				1
12	イ 工場・作業場	5	26	28			59
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	3	2				5
	ロ 飛行機の格納庫						
14	倉庫	4	13	8			25
15	前各号に該当しない事業場	2	34	15	26	5	82
16	イ 前1～4・5イ・6・9イの存する複合用途防火対象物	28	10	1	3		42
	ロ イに掲げるもの以外の複合用途防火対象物	6	2	2	1	1	12
計		365	176	86	48	47	722

13. 地域別危険物施設現況

平成30年3月31日現在

区分		地域										合計
		川内	樋脇	大来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島		
製造所		2										2
貯蔵所	屋内貯蔵所	22	1			2		2	5	1		33
	屋外タンク貯蔵所	45	5	9	3		6	9	7	2		86
	屋内タンク貯蔵所	3	1	1					1			6
	地下タンク貯蔵所	49	6	2	4	4	1	1	4			71
	簡易タンク貯蔵所											
	移動タンク貯蔵所	34	7	5	3	1	5	3	7			65
	屋外貯蔵所	2				1			3			6
	計	155	20	17	10	8	12	15	27	3		267
取扱所	給油取扱所	63	9	10	5	8	3	6	8	2		114
	移送取扱所	3						1				4
	一般取扱所	65	4	2	3	2	1	8	7			92
	第一種販売取扱所	1										1
	第二種販売取扱所	1										1
	計	133	13	12	8	10	4	15	15	2		212
合計		290	33	29	18	18	16	30	42	5		481

14. 危険物施設の数量及び類別状況

平成30年3月31日現在

施設区分		数量別							類別									
		5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1,000倍以下	1,000倍を 超えるもの	計	単独						混在	計
											第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
製造所		1		1					2				2					2
貯蔵所	屋内貯蔵所	15	10	4	1	1	1	1	33				30				3	33
	屋外タンク貯蔵所	16	17	33	3	3		10	86				85			1		86
	屋内タンク貯蔵所	5	1						6				6					6
	地下タンク貯蔵所	37	11	14	1	3		5	71				71					71
	簡易タンク貯蔵所																	
	移動タンク貯蔵所	50	7	6	2				65				64			1		65
	屋外貯蔵所	2	3	1					6				6					6
	計	125	49	58	7	7	1	16	4	267				262		2	3	267
取扱所	給油取扱所	11	9	42	19	9	9	15	114				114					114
	移送取扱所						1	2	4				4					4
	一般取扱所	36	12	25	10		3	4	92	1			86			5	92	
	第一種販売取扱所			1					1				1					1
	第二種販売取扱所			1					1				1					1
	計	47	21	69	29	9	13	21	3	212	1			206			5	212
合計	173	70	128	36	16	14	37	7	481	1			470		2	8	481	

15. 危険物施設の許可等処理状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：件)

施設区分		種別		完成検査		承認			廃止届
		設置	変更	設置	変更	仮貯蔵	仮取扱	仮使用	
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所			1					1
	屋外タンク貯蔵所	1	1						2
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	6		2					1
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	1	7	3	6				4
	屋外貯蔵所					35	3		2
	計	8	8	6	6				10
取扱所	給油取扱所		6		6			5	1
	移送取扱所								
	一般取扱所	1	9		10			8	4
	第一種販売取扱所								
	第二種販売取扱所								
	計	1	15		16			13	5
合計		9	23	6	22	35	3	13	15

16. 危険物施設の立入検査実施状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設区分		項目	検査施設数	延回数
製 造 所			3	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		16	16
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		23	23
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		2	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		13	13
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		60	60
	屋 外 貯 蔵 所		4	4
	計		118	118
取 扱 所	給 油 取 扱 所		90	90
	移 送 取 扱 所		2	2
	一 般 取 扱 所		22	22
	第 一 種 販 売 取 扱 所			
	第 二 種 販 売 取 扱 所			
	計		114	114
合 計			235	235

# IV. 敬防

## 1. 消防水利状況

平成30年4月1日現在

地域名	消 火 栓		防 火 水 槽					その他
	総 数	格納箱	総 数	40t以上	40t未満	有 蓋	無 蓋	
川 内	1,673		466	159	307	466		28
樋 脇	247	217	76	72	4	76		4
入 来	179	131	61	39	22	60	1	5
東 郷	102		105	100	5	104	1	2
祁 答 院	83	58	109	57	52	109		6
里	43	5	31	28	3	31		3
上 甑	80	74	20	19	1	20		6
下 甑	97	83	44	37	7	44		12
鹿 島	19	17	11	9	2	10	1	2
合 計	2,523	585	923	520	403	920	3	68

※ 「その他」は、プール・自然水利等

※ 防火水槽の「無蓋」について

入来町朝陽村尾：全面フェンス被服処置あり

東郷町斧淵司野上：四面フェンス処置あり

鹿島町藪牟田7区：四面フェンス処置あり

2. 消防車両等の概要

平成30年4月1日現在

番号	所属	車両名	車種	登録番号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	メーカー等	備考	
1	消防本部	指令車	ニッサン	鹿児島 800 す 6427	27	3	2,490	2,005	498	184	173			
2		連絡車Ⅰ(軽)	ニッサン	鹿児島 480 て 4980	26	4	650	1,350	339	147	179			
3		連絡車Ⅱ	三菱	鹿児島 800 さ 5843	15	15	1,340	1,335	387	168	174			
4		ミニ運動車(軽)	マツダ	鹿児島 43 け 3385	14	16	650	1,170	339	147	179			
5		資機材搬送車Ⅰ	三菱	鹿児島 800 さ 1895	12	18	5,240	7,965	669	212	266		クレーン付	
6		資機材搬送車Ⅱ	いすゞ	鹿児島 46 の 4063	6	24	4,330	4,715	469	169	195			
7		災害調査車	クライスラー	鹿児島 800 す 1013	16	14	3,950	1,860	391	174	193			
8		小型バス	日野	鹿児島 200 さ 1647	28	2	4,000	5,485	699	203	258		乗車定員:29人	
9		コンテナ車	トヨタ	鹿児島 11 ぬ 607	7	23	2,770	3,425	478	180	246			
10		予備ポンプ車(旧 西方)	三菱	鹿児島 88 す 9513	10	20	4,560	4,200	544	190	245	日本ラインメカニカル	A-2	
11		旧上級連絡車	三菱	鹿児島 88 す 9480	10	20	3,490	2,645	475	177	217			
12	警防	本部指揮車	トヨタ	鹿児島 800 す 7009	27	3	2,690	2,690	338	188	248	日本ラインメカニカル		
13		警防連絡車Ⅰ	トヨタ	鹿児島 800 さ 2250	12	18	2,990	2,190	478	179	196			
14		警防連絡車Ⅱ	トヨタ	鹿児島 88 す 9533	10	20	2,430	2,110	469	169	195			
15		タンク車Ⅱ(旧西部)	日野	鹿児島 800 は 84	11	19	7,960	9,440	702	224	276	日本ラインメカニカル	A-2	
16		支援救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 8836	18	12	3,370	2,625	539	180	246			
17	予防	予防指揮車(軽)	三菱	鹿児島 880 あ 1459	26	4	650	1,430	339	147	194			
18		火災原因調査車	ニッサン	鹿児島 800 す 7010	27	3	1,990	3,275	474	169	215			
19		訓練指揮車	マツダ	鹿児島 88 す 8047	9	21	2,180	2,365	450	175	248			
20	中央消防署	指揮車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3528	13	17	2,360	1,875	457	181	191			
21		ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9737	19	11	4,000	5,015	567	188	275	日本ラインメカニカル	A-2	
22		タンク車	日野	鹿児島 800 は 1994	30	0	5,120	10,780	732	235	302	小川ポンプ工業	A-2	
23		梯子車	日野	鹿児島 800 は 1469	25	5	8,860	20,290	1,145	249	333	モリタ	A-2	
24		救助工作車	日野	鹿児島 800 は 496	14	16	7,960	9,460	760	230	330			
25		高規格救急車Ⅰ	トヨタ	鹿児島 800 す 7724	29	1	2,690	3,195	365	189	249			
26		高規格救急車Ⅱ	トヨタ	鹿児島 800 さ 7565	16	14	3,370	3,045	363	180	232			
27		南部	連絡車(軽)	スバル	鹿児島 880 あ 590	20	10	650	1,410	339	147	197		
28			タンク車	日野	鹿児島 800 は 1690	27	3	6,400	10,010	727	228	286		
29			高所放水車	日野	鹿児島 800 は 1222	22	8	8,860	16,640	905	249	362	モリタ	A-1
30	上飯	高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 3307	26	4	2,690	3,175	363	189	249			
31		連絡車	三菱	鹿児島 880 あ 1618	25	2	650	1,390	339	147	196			
32		普通救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 3351	26	4	2,690	3,165	362	189	249			
33		ミニ運動車(非常用 旧泉之清)	スズキ	鹿児島 80 あ 599	5	25	650	1,180	329	139	196			
34		下飯	連絡車	三菱	鹿児島 880 あ 1934	30	0	650	1,370	339	147	195		
35	普通救急車		トヨタ	鹿児島 800 す 3758	24	6	2,690	3,165	362	189	249			
36	予備救急車		トヨタ	鹿児島 800 さ 3771	13	17	3,370	2,895	559	180	248			
37	ミニ運動車(非常用 旧支所部)	三菱	鹿児島 80 あ 654	6	24	650	1,250	329	139	193				
38	東部消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 800 す 8444	30	0	1,490	1,505	441	169	170			
39		タンク車	日野	鹿児島 800 は 1282	22	8	6,400	9,450	668	230	280	日本機械工業	A-2	
40		タンク車Ⅱ(旧中央)	日野	鹿児島 800 は 500	14	16	7,960	9,520	707	224	280	日本機械工業	A-2	
41		電源照明車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2024	12	18	4,160	3,150	499	194	279			
42		高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 2008	21	9	2,690	3,205	362	189	249			
43	都賀院	指揮車(軽)	ニッサン	鹿児島 880 あ 151	18	12	650	1,030	339	147	173			
44		タンク車	日野	鹿児島 800 は 831	17	13	6,400	9,420	669	220	280	小川ポンプ工業	A-2	
45		高規格救急車	ニッサン	鹿児島 800 す 6744	27	3	3,490	3,275	366	190	250			
46	西部消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 800 す 8450	30	0	1,490	1,515	441	169	170			
47		タンク車	日野	鹿児島 800 は 1383	24	6	6,400	9,810	715	229	284	日本ラインメカニカル	A-2	
48		大型化学車	日野	鹿児島 800 は 1261	22	8	8,860	14,520	865	249	315	モリタ	A-1	
49		原液搬送車	日野	鹿児島 800 は 1307	23	7	7,680	12,750	683	244	285	モリタ		
50	高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 4384	24	6	2,690	2,695	362	189	249				

【秘密省消防庁無償貸与車両等】

番号	所属	車両名	車種	登録番号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	メーカー等	備考
1	消防本部	支援車Ⅰ型	日野	鹿児島 800 は 1276	22	8	12,910	19,620	1,100	249	355	日本ラインメカニカル	
2		資機材搬送車	日野	鹿児島 800 は 1486	25	5	7,680	19,915	1,153	249	318	帝國機械	
3		燃料供給車	三菱	鹿児島 800 す 4352	24	6	2,990	4,035	468	169	222	第一工業	
4		建設機械(5トン級)	コマツ		24	6	2,189	5,630	5,570	1,060	2,630	コマツ	バケット0.16m <sup>3</sup>

3. 救急、特殊資機材等の装備状況

平成30年4月1日現在

種別	配置場所	本部	中央消防署					東部消防署		西部消防署	合計	
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署	那答院分署			
ホース	75 mm ホース											
	65 mm ホース		103	61		21	185	79	55	84	403	
	50 mm ホース			1			1	9	9	14	33	
	50 mm ホース(50mm金具)		38	19			57	31	16	21	125	
	40 mm ホース		15	5			20	9	4	8	41	
消	東消式 フォグガン			1		1	2	2	1	1	6	
	無反動ノズル		1				1			1	2	
	可変噴霧ノズル		2	7			9	5	4	6	24	
	フォームジェット L X			3			3			1	4	
	フォームジェット M X			2			2				2	
	クオドラフォグノズル(YONE)		2	2			4			1	5	
	デュアルマチックノズル(YONE)		5	4			9	2	1	3	15	
	エアフォームノズル									2	2	
	プロジェクトガン											
	ピックアップ式ノズル			1	1		2	2	1		5	
	ラインプロポーションナー									1	1	
	東消式簡易発泡器									1	1	
用	異型金具(φ75×φ65)									3	3	
	異型金具(φ65×φ50)		3	4			7	3	1	2	13	
	異型金具(φ65×φ40)		2	3			5	4	1	2	12	
	異型金具(φ50×φ65)		1				1	2	1	1	5	
	異型金具(φ50×φ40)		2	3			5	3	1	2	11	
	異型双口金具(φ65×φ40×φ40)											
	異型双口金具(φ50×φ40×φ40)											
	双口金具		1	4		2	7	4	1	3	15	
	マルチ双口金具(φ65×φ50)		3	2			5	3	1	3	12	
	ディスクストレナー		1	1			2	1	1	1	5	
	クイックキャッチャー		2	1			3	1	1	1	6	
	器	消火栓ハンドル		3	3	1	1	8	4	3	4	19
消火栓スタンド			2	3		1	6	3	2	3	14	
消火栓丸蓋オープナー			1	2	1	4	8	4	1	2	15	
ホースブリッジ(組)			2	3			5	2	5	3	15	
具		ダイナージェット										
		排煙機(スーパーバック含)	2						1			3
		折りたたみ梯子					1	1				1
		かぎ付一連梯子		3	3			6	2	1	2	11
		二連梯子		1				1				1
		三連梯子		2	1		1	4	2	1	1	5
		金属製フイヤー梯子		1				1				1

配置場所	種別	単 位	中 央 消 防 署					東 部 消 防 署		西 部 消 防 署	合 計
			本 署	南 部 分 署	上 飯 分 駐 所	下 飯 分 駐 所	小 計	本 署	和 倉 院 分 署		
火	防 火 衣	32	42	19	6	6	73	20	11	20	156
	耐 熱 服		1	3			4			3	7
	耐 熱 手 袋		1				1			3	4
	耐 熱 服 ( 上 ・ 下 )		1				1				1
	耐 熱 衣 服 手 袋 ( 双 )		5	10	2	2	19	5	2	5	31
	耐 熱 衣 長 靴 ( 足 )		2	1	2	2	7	1	1	1	10
	防 毒 衣		2				2				2
衣	化 学 防 護 服		2				2			4	6
	放 射 線 防 護 服 ( ア ノ ラ ッ ク 型 )	900	10	50	3	3	66	45	50	91	1155
	放 射 線 防 護 服 ( タ イ ベ ッ ク 型 )	1794		50			50	59	50	62	2015
携 帯 用 容 器 器 ( ス ー パ ー バ ス )		16	3			24	3	3	3	33	
ガ ス 漏 れ 緊 急 作 業 用 具			3	1			4				4
山 林 火 災 用 器 具	ジ ニ ッ ト シ ュ ー タ ー		9	6	9	7	31	11	3	9	59
	節 水 水 槽		2	1	1		4	2	2	1	9
	チ ニ ー ソ ン ー		3	3		2	3	3	2	2	15
	レ ス キ ュ ー リ ー										
	エ ッ ジ チ ニ ー ソ ン ー		1				1				1
	ナ タ		5	4	2	2	13	4	3	2	22
	カ マ		4	5	4	2	15	7	1	2	25
	造 林 鎌		4	5	2	4	15		1	2	19
	大 斧		2	3			5	2	1	2	10
	リュックサック(ナタ、鋸、造林鎌、山ダワ)		1				1		1	2	4
呼 吸 用 器 具	社 員 酸 素 呼 吸 器 一 式		5				5				5
	社 員 空 気 呼 吸 器 一 式		26	12	2	4	44	6	3	11	64
	酸 素 呼 吸 器 用 ( 酸 素 ポ ン プ 1 . 5 )		3				3				3
	予 備 空 気 呼 吸 器 用 ( 9 型 )		12				12			10	22
	予 備 空 気 呼 吸 器 用 ( 8 型 )		56	31	3	6	101	22	13	17	153
	予 備 空 気 呼 吸 器 用 ( 6 型 )		1				1				1
	予 備 空 気 呼 吸 器 用 ( 4 型 )		26	4			30	3	3	3	39
	予 備 面 体		64	11	2	4	31	6	2	9	93
	防 塵 マ ス ク		12	4			16	4	6	4	30
	T S 式 面 体	653	42	19	6	6	73	20	11	20	777
防 護 マ ス ク ( 国 産 与 救 急 隊 員 用 )		5		3	3	11	3		3	17	
防 護 マ ス ク ( 国 産 与 ア ヲ パ ン テ ー ジ 3100 )		5				5				5	

配置場所	種別	本部	中央消防署				東部消防署		西部消防署	合計	
			本部署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本部署			和谷院分署
救	救命索発射銃 (M-3型)		1				1	1	1	3	
	救命索発射銃 (MS-30型)				1	1	2			2	
	救命索発射銃 (M-63型)		1				1			1	
	エンジンカッター		2	2	2	1	7	1	1	10	
	ガス溶断機		1				1			1	
	アークエアー溶断機		1				1			1	
	エアソー		2				2	2	1	5	
	エアツール										
	エアカッター (エアハンマー)		1				1			1	
	鉄線カッター (ボルトクリッパー)		4	1	1		6	2	2	12	
助	鉄筋カッター		2				2			2	
	スパカッター		1				1			1	
	ベダルカッター		1				1			1	
	リングカッター		4		1	2	7	2	3	14	
	防塵カッター				1		1			1	
	レシプロソー		1				1			1	
	ガラスマスター (ガラスソー)		4	1	1	1	7	1	2	11	
	大型油圧スプレッター (エンジン付)		1	1	1	1	4	1	1	7	
	大型油圧切断機 (エンジン付)		1	1	1	1	4	1	1	7	
	油圧スプレッター (充電式:オグラ製)		1				1			1	
用	油圧カッター (充電式:オグラ製)		1				1			1	
	ドアオープナー		1				1			1	
	油圧ジャッキ (ポートパワー)		1				1			2	
	大型油圧ジャッキ (ラムシリンダー・エンジン付)		1				1	1	1	3	
	救助用支柱器具 (レスキューショア)		1				1			1	
	マット型空気ジャッキ		6				6	4		10	
	手動ミニマット (1t, 3t, 6t)		3				3			3	
	スーパーミニマイティバック		1				1			1	
	可搬ウインチ (チルホール) 1600kg・20m		2				2	2	1	2	7
	器	削岩機 (エンジン付)		2				2			2
ハンマードリル			2				2			2	
ロータリーハンマードリル			1				1			1	
携帯用コンクリート破壊器具					1		1			1	
パ			8	2	2	1	13	3	4	3	23
大型ハンマ			3	3		1	7	3	2	2	14
カケヤ			3	1			4	2	1	3	10
ツルハシ			1				1	4	1	2	8
斧			5	1	2		8	2	3	3	16
具		スコップ (丸)		7	3	1	5	16	5	6	8
	スコップ (角)		1	1	3	2	7	3		1	11
	マンホール救助器具 (ロールグリス)		2				2			2	
	スローダン (緩降機)		3	3			6			6	
	平担架・バスケットストチャー		3	4	1	1	9	1	1	1	12
	クレーン用バスケット (ゴンドラ)		1				1	1		2	

平成30年4月1日現在

配置場所	種別	本部	中央消防署				東部消防署		西部消防署	合計	
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署			祁答院分署
救	滑車 ( W )		2				2	1	1	2	6
	滑車 ( S )		4	1			5	1	1		7
	軽量滑車 TR3000		5	1	2	3	11	2	2	2	17
	J字ボルト ( 大 )		1				1	3		2	6
	J字ボルト ( 中 )		8	3			11	2	3	5	21
	J字ボルト ( 小 )		5		1		6	2		2	10
助	カラビナ D 型										
	カラビナ O 型 ( 大 )		4				4	1		1	6
	カラビナ O 型 ( 中 )		8	2			10			2	12
	カラビナ O 型 ( 小 )		45	19	17	23	104	15	22	22	163
用	縛帯(サーバイバ・救助用・マンホール用)		6	2			8	4	2	2	16
	安全帯 ( ライフベルト )		21	11	5	5	42	6	3	3	54
	ロープ登はん器		4	1			5	1	1		7
	救助幕		1				1				1
	空気式救助マット		1				1				1
	浮環		10	1	1	2	14	1	3	2	20
	浮標	2									2
	スバリ		27				27	10		13	50
	舟艇 ( アルミ製定員 8 名 )		1				1				1
	舟艇 ( グラスファイバー製定員 4 名 )		1				1				1
具	船外機 ( 20 P )		1				1				1
	船外機 ( 15 P )		1				1				1
	救命胴衣	20	41	15	5	8	69	10	10	11	120
	潜水用具一式 ( アクアラング )	10	3				3				13
	空気ポンベ ( 潜水用具 )	25									25
	水中無線機	1									1
	水中投光器	1									1

◆ 無人航空機(ドローン)

平成30年4月11日 運用開始

資器材名等	保管・管理	数量	備 考
マトリス210 (災害用)	警防課	1	赤外線カメラ・物件投下器具搭載可
ファントム プロ (調査活動用)		1	物件投下器具搭載可
ファントム アドバンス (訓練用)		1	#
画像転送装置一式		1	PC・画像変換器・通信器具(Wi-Fi)
操縦者		6	各課署配置



配置場所	種別	本 部	中 央 消 防 署					東部消防署		西 部 消 防 署	合 計
			本 署	南 部 分 署	上 飯 分 駐 所	下 飯 分 駐 所	小 計	本 署	祁 答 院 分 署		
救 助 用	ロープ (φ12×200m)										
	ロープ (φ12×100m)		1				1				1
	ロープ (φ12×70m)		1		2		3				3
	ロープ (φ12×60m)							1			1
	ロープ (φ12×50m)		3			1	4	3	1	1	9
	ロープ (φ12×40m)		2		4		6	1	1	1	9
	ロープ (φ12×30m)		7	4	2	4	17	5	4	3	29
	ロープ (φ12×20m)		6	3	2	1	12	3	5	3	23
	ロープ (φ12×15m)					1	1				1
	ロープ (φ12×10m)			1		4	5				5
	トラロープ (100m)		1		2	2	5			1	6
	トラロープ (70m)										
	器 具	トラロープ (60m)		1				1			
トラロープ (50m)								1		1	2
トラロープ (40m)				1	1		2				2
トラロープ (30m)			2	1		1	4		1	1	6
トラロープ (20m)			2		1		3	1			4
トラロープ (10m)									1	4	5
繊維スリング			4				4				4
マルチスリング			3				3				3
牽引スリング			1		1		2				2
測 定 用 器 具		可燃性ガス測定器 (XP301)		1				1			
	有毒ガス測定器		5	1	1	1	8	1	1	1	11
	放射線濃度測定器		3	4			7	1		5	13
	熱画像直視装置		1				1				1
	放射線ポケット線量計			24			24			44	68
	張力計 (テンションメーター)		2				2	1		1	4
	ビトゲージ	1									1
	検電器 (音響発光式含む)		2		1	1	4				4
	逆目盛測桿			1			1				1
	マルチガス検知警報器		5	1			6			1	7
そ の 他 機 被 器 具	除染シャワー	1									1
	エアータント (国貨与除く)	1						1			2
	防護メガネ		5			3	8		1	4	13
	保護メガネ								5		5
	安全マット		4				4	2	2	1	9
	マットカバー		2				2	2		1	5
	安全ネット		2				2	1		1	4
	携帯拡声器 (ハンドマイク)	3	6	3	1	1	11	2	2	2	20
	応急処置用セット		4	1			5				5
	救助工具一式		3				3	3			6
器 具	車両移動器具 (ゴージャッキ)		4	2			6				6
	ロープ保護布		2				2				2
	シंकクロス		3				3				3
	折りたたみ式コーン		13				13		2	6	21
画像探査機		1				1				1	
救助用ブロック		1				1				1	

配置場所	種別	本 部	中 央 消 防 署				東部消防署		西 部 消 防 署	合 計	
			本 署	南 部 分 署	上 叡 分 駐 所	下 叡 分 駐 所	小 計	本 署	祁 答 院 分 署		
その他機被器具	プロテクションカバー		1				1			1	
	空気圧縮機		1				1			1	
	酸素ポンベ3.5(ガス溶断機)										
	酸素ポンベ7.0(アークエアー溶断機)		1				1			1	
	アセチレンポンベ(ガス溶断機)		2				2			2	
都 市 型	セミスタティックロープ(φ11mm×20m)		1				1			1	
	セミスタティックロープ(φ11mm×30m)		1				1			1	
	セミスタティックロープ(φ11mm×50m)		2				2	4		6	
	セミスタティックロープ(φ11mm×100m)		2				2	2	1	5	
	セミスタティックロープ(φ11mm×200m)		1				1			1	
	スタティックロープ(φ11mm×4m)		2				2			2	
	フローティングロープ(φ10mm×25m)		2				2			2	
	フローティングロープ(φ10mm×50m)		1				1			1	
	ブルージックオープンスリング8mm緑		5				5			5	
	ブルージックオープンスリング8mm赤		5				5			5	
	ブルージックオープンスリング7mm赤端末		12				12	7		19	
	ブルージックオープンスリング7mm青端末		12				12	7		19	
救 助 資 材	テープスリング(180cm)		12				12			12	
	テープスリング(120cm)		19	2	2	2	25	10	4	5	44
	テープスリング(60cm)		20	2	2	2	26	10	2	2	40
	ディジーチェーン		5				5			5	
	ベルグスピンネ		3				3			3	
	山岳用カラビナ		79				79	16	3	98	
	フックス		5				5			5	
	レスキューー		4				4	2		6	
	マインダー		5				5	2		7	
	ツイン		2		1	1	4	2		6	
	タンデム		2				2	2		4	
	機 材	ノットパッシングブーリー		1				1			1
ミニトラクション			2				2			2	
プロトラクション			1				1			1	
ボー S			1				1			1	
ボー M			1				1	2	1	4	
リガ			1				1			1	
スイベル			2				2	1		3	
アイデュー			2				2	1		3	
パーティカルストレッチャー			1				1			1	
ユーマー			2				2			2	
A T C			2				2			2	
ストッブ			2				2	1		3	

配置場所	種 別	本 部	中 央 消 防 署					東部消防署		西 部 消 防 署	合 計
			本 署	南 部 分 署	上 叡 分 駐 所	下 叡 分 駐 所	小 計	本 署	祁 答 院 分 署		
都 市 型 数 助 資 機 材	ラ ッ ク		2				2				2
	ア ッ セ ン シ ョ ン		2				2	1			3
	レ ス キ ュ ー セ ン ダ ー		2				2	1			3
	ア サ ッ プ		2				2				2
	ア サ ッ プ ソ ー バ ー		4				4				4
	レ ス キ ュ ー エ イ ト		2				2	2			4
	ピ ラ ナ		2				2	1			3
	ジ ガ ー		2				2				2
	コ ネ ク シ ョ ン フ ィ ッ ク ス		4				4	2			6
	ロ ー ド リ リ ー ス ス ト ラ ッ プ		1				1				1
	チ ュ ー プ ラ ー ウ ェ ビ ン グ ( 橙 )		4				4				4
	チ ュ ー プ ラ ー ウ ェ ビ ン グ ( 青 )		4				4				4
	チ ュ ー プ ラ ー ウ ェ ビ ン グ ( 黄 )		4				4				4
	ツ リ ー ス ピ ー		1				1				1
	ス ペ ル ジ カ		2				2				2
	フ ッ ト テ ー プ		2				2				2
	ロ ー プ 保 護 具		3				3				3
	セ ッ ト キ ャ タ ピ ラ ー		1				1				1
	シ ッ ト ハ ー ネ ス		4				4				4
フ ル ハ ー ネ ス		3	2			5	2	2	2	11	
ピ タ ゴ ー ル		1				1				1	
デ ル タ レ ス キ ュ ー		1				1				1	
ロ ー プ 投 下 袋 ( 背 負 い 100 型 )		2				2	1			3	
ク ラ イ ミ ン グ 資 機 材	フ ル ハ ー ネ ス		3				3				3
	ジ ャ ッ ト ハ ー ネ ス		6				6				6
	レ ス キ ュ ー エ イ ト		2				2				2
	エ イ ト 環		2				2				2
	A T C		5				5				5
	カ ラ ビ ナ ( ウ ル ト ラ O 型 )		9				9				9
	ク ラ イ ミ ン グ 用 ハ ー ネ ス ( 成 人 )		4				4				4
	ク ラ イ ミ ン グ 用 ハ ー ネ ス ( 小 児 )		2				2				2
	ク ラ イ ミ ン グ 用 ヘ ル メ ッ ト ( 成 人 )		4				4				4
	ク ラ イ ミ ン グ 用 ヘ ル メ ッ ト ( 小 児 )		4				4				4
ダイナミックロープ(30m)		2				2				2	
ヌンチャク(クイックドロ)		15				15				15	

配置場所	種別	本部	中央消防署				東部消防署		西部消防署	合計
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署		
救急	半自動式除細動器		2	1			3	1	1	6
	A E D		5	1	1	1	8	1	1	10
	自動式心肺蘇生装置		1				1	1	1	3
	患者監視装置		3	1	1	1	6	1	1	9
	自動式人工呼吸器		3	1	1	2	7	1	2	11
	輸液ポンプ		1	1			2	1	1	5
	流量加湿器		3	1	1	2	7	1	1	10
	メインストレッチャー		3	1	1	2	7	1	1	10
	サブストレッチャー			1	1	2	4	2	1	8
	スクープストレッチャー		4	1	1	2	8	2	2	13
用具	バックボード(脊椎固定具)		4		1	2	7	1	1	11
	ショートボード(スビーボード、ファーンケッド)		2	1	1	1	5	1	1	9
	布担架(ターボリン担架)		4		2	1	7	2	4	17
	エア担架		1		1	1	3	1	1	6
	平担架		2	2			4		2	6
	棒担架(巻布担架)		2			2	4	1		5
	背板(レスキューボード)		1				1		1	2
	急病バック		2	1	1	1	5	1	1	8
	外傷バック		1	1	1	1	4	2	1	8
	赤救バック		3	1			4	1	1	7
資材	喉頭鏡セット		4	2	1	1	8	2	1	13
	マガール鉗子		3	3	3	2	11	2	2	18
	血圧計(車載・携帯)		7	3	4	2	16	4	3	26
	聴診器		1		1	2	4	2	2	10
	バグマスク		4	2	3	3	12	4	2	21
	頸椎カラー		29	5	5	5	44	7	9	66
	吸引器(L S U・手動)		7	2	1	2	12	2	2	19
	カーディオポンプ			1			1	1	1	3
	携帯用SPO2モニター		3	1	1		5	3	1	11
	E T C O 2 モニター		1				1		1	2
機材	膿盆		4	4	2	2	12	5	6	26
	レスキューシート(布)		4	1	1	1	7	1	2	11
	リフト担架(布)							2		2
	ショックパンプ		1				1	1		3
	液圧式固定具(マジックギブス・バキュームスプリント・バキャストキット)		2		1	1	4	1	2	10
	マイクロベント		1	1	1	1	4	1	1	7
	防刃ベスト		2	2	2	2	8	2	2	14

配置場所	種別	本部	中央消防署					東部消防署		西部消防署	合計
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署	祁答院分署		
救急	消毒用噴霧器		3				3			1	4
	自動滅菌器		1				1	1			2
	救急車内殺菌装置		2	1			3		1	1	5
	滅菌シ―ラー		3				3	1			4
	ビデオ硬性喉頭鏡		1	1			2	1	1	1	5
	イーバックチェア		1				1				1
	自動心肺蘇生器		1				1				1
用資	酸素ボンベ	10ℓ型(高規格流量加湿器用)	12	2	4	4	22	4	4	3	33
		8.7ℓ型(自動心肺蘇生器用)	2				2				2
		3.5ℓ型(流量加湿器用)									
		2ℓ型(デマンド用)	8	1	2	4	15	4	4	3	26
機材	訓練用シュミレーター(セーブマン)		1				1				1
	訓練用シュミレーター(ALSトレーナー)							1		1	2
	レサシアン(成人)		10		1	2	13		1	1	15
	レサシアン(リトルアン)		8				8				8
	レサシアン(ジュニア)		10				10				10
	レサシアン(ベビーアン)		5				5				5
	アクター 9 1 1									1	1
A E D トレーナー		12				12				12	
支援車I型(総務省貸与品のみ)	血糖測定器		1	1	1	1	4	1	1	1	7
	災害用テント(祁答院分署1基)	3							1		4
	ワンタッチ式テント	1									1
	バルーン型投光器(600W)	2									2
	発電機(900W以上・ガソリン)	2									2
	燃料携行缶(20ℓ)	2									2
	コードリール(20m)	1									1
	折畳み式リアカー	1									1
	折畳み式トイレ式	5									5
	寝袋(オールシーズンタイプ)	20									20
	イス(折畳み式)	20									20
	作業台(折畳み式)	3									3
	テーブル(折畳み式)	5									5
	風防付き強力ガスバーナーセット(大1、小2)	3									3
	L P ガスボンベ(8kg)	2									2
	アルミ鍋	1									1
	炊飯器(一升炊き)	1									1

#### 4. 無線配置状況

(1) 常備消防

平成30年4月1日現在

基地局 (6局)		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局			
波名称		活動波1 (消防波)・活動波2 (救急波)・活動波3 (活動波)・主運用波 統制波1・統制波2・統制波3			
無線機種別		可搬型	卓上型	車載型	携帯型
所屬					
消防本部	消防総務課			4	1
	警防課	3		9	5
	予防課			3	3
	通信指令課				5
中央消防署		※受令機 1	7	12	
南部分署		1	4	6	
上甌分駐所		1	2	3	
下甌分駐所		1	2	3	
東部消防署		1	5	7	
祁答院分署		1	3	5	
西部消防署		1	5	7	
合計		3	7	44	57

## (2)非常備消防

平成30年4月1日現在

基地局 (6局)		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局				
波 名 称		消防用波				
所 属	無線機種別	可搬型	卓上型	車載型	携帯型	
		団 本 部			1	10
市 役 所			※受令機 <sup>1</sup>			
中央大隊	大 隊 本 部				7	
	川内南方面隊	川内中央南分団			4	1
		川内南分団			5	1
		平佐東分団			2	1
		高江分団			1	1
	川内北方面隊	川内中央北分団			4	1
		下東郷分団			2	1
		高城東分団			2	1
		城上分団			2	1
	東郷方面隊	川内中央南分団			2	1
川内南分団				2	1	
平佐東分団				2	1	
西部大隊	大 隊 本 部			1	4	
	西部方面隊	水引分団			2	1
		高城西分団			2	1
		川内西分団			3	1
東部大隊	大 隊 本 部			1	7	
	樋脇方面隊	樋脇北分団			2	1
		樋脇中央分団			2	1
		市比野中央分団			2	1
		市比野南分団			2	1
	入来方面隊	副田分団			1	1
		清色分団			1	1
		大馬越分団			1	1
		朝陽分団			1	1
	祁答院方面隊	黒木分団			1	1
		上手分団			1	1
下手分団				2	1	
鹿牟田分団				2	1	
上甌大隊	大 隊 本 部			1	5	
	上甌方面隊	里分団			4	1
		上甌中央分団			5	1
		浦内分団			3	1
下甌大隊	大 隊 本 部			1	5	
	下甌方面隊	下甌北分団			8	1
		下甌南分団			6	1
		鹿島分団			3	1
合 計			1	87	70	

無線基地局 位置図

【本土区域】



【甌島区域】



5. 気象状況(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上)

H29. 1. 1~H29. 12. 31

月別	気温 (°C)			湿度 (%)				風 (m)			雨量 (mm)	
	平均	最高	最低	相対湿度平均	相対湿度最高	相対湿度最低	実効湿度平均	平均風速	平均風向	最大瞬間風速	時間最大	月積算
1	7.0	20.1	-4.4	85.8	99.7	32.4	85.6	1.3	北北西	18.8	5.0	35.5
2	7.2	20.6	-2.1	83.3	99.4	27.7	83.6	1.5	北北西	19.4	20.0	150.0
3	9.7	19.7	0.5	84.7	99.7	26.3	83.7	1.3	北北西	16.4	5.0	107.0
4	16.1	24.6	2.6	86.8	99.7	26.6	87.2	1.7	北北西	21.8	25.5	315.0
5	19.4	28.2	10.0	86.8	99.9	33.3	86.4	1.2	西	16.9	62.0	309.0
6	22.0	31.2	14.6	91.4	99.9	38.8	90.4	1.2	西	19.7	56.0	334.0
7	28.1	34.7	24.0	94.8	99.9	67.7	95.0	1.1	西	19.7	18.5	130.5
8	28.3	36.2	21.2	92.2	99.9	49.7	92.2	1.4	西	23.0	43.5	140.5
9	24.1	31.8	14.6	92.8	99.9	48.6	92.4	1.3	北東	24.8	49.0	370.5
10	20.6	30.6	7.5	91.2	99.9	51.1	91.4	1.4	北北西	29.7	18.0	140.5
11	13.2	24.0	0.7	91.2	99.9	47.5	90.3	0.9	北北西	15.4	6.5	94.0
12	6.7	18.9	-2.5	85.6	99.9	40.8	86.3	1.4	北	15.7	7.5	32.0

# V. 救急 及び救助

## 1. 地域別救急出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

地域別 種別	川内地区	樋脇地区	入来地区	東郷地区	祁答院地区	黒地区	上甑地区	下甑地区	豊島地区	串木野	その他	合計
火災	8	6	1	1	3							19
自然災害	1											1
水難												
交通事故	213	29	23	11	9	1	1	2			1	290
労働災害	27	2	5	1	5	1		2				43
運動競技	35	13	2	1	2		1					54
一般負傷	387	38	46	32	35	5	7	8	2	3		563
加害	6	2		2								10
自損行為	31	1		2	3			1				38
急病	1,720	213	177	126	131	17	23	50	19	9		2,485
転院搬送	682	40	13	1	9	7	19	27	3	19		820
その他	52	3	5	3			1	1				65
計	3,162	347	272	180	197	31	52	91	24	31	1	4,388
前年	3,039	395	220	177	194	33	63	155	30	37	8	4,351

(種別のその他には転院搬送を含む)

## 2. 月別救急出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災	3	2		2	4	1	1	2		1	1	2	19
自然災害								1					1
水難													
交通事故	20	17	14	23	32	23	21	36	23	25	30	26	290
労働災害	2	3	2	2	2	5	4	5	6	3	2	7	43
運動競技	2	2	4	2	5	4	11	9	9	2	3	1	54
一般負傷	46	39	38	40	51	48	54	43	58	43	47	56	563
加害	1		1				1		1	1	3	2	10
自損行為	5	6	4	1	3	1	3	3	7	3	1	1	38
急病	240	231	212	207	197	166	247	230	157	173	196	229	2,485
その他	66	73	70	70	65	69	74	67	58	89	83	101	885
計	385	373	345	347	359	317	416	396	319	340	366	425	4,388

(種別のその他には転院搬送を含む)

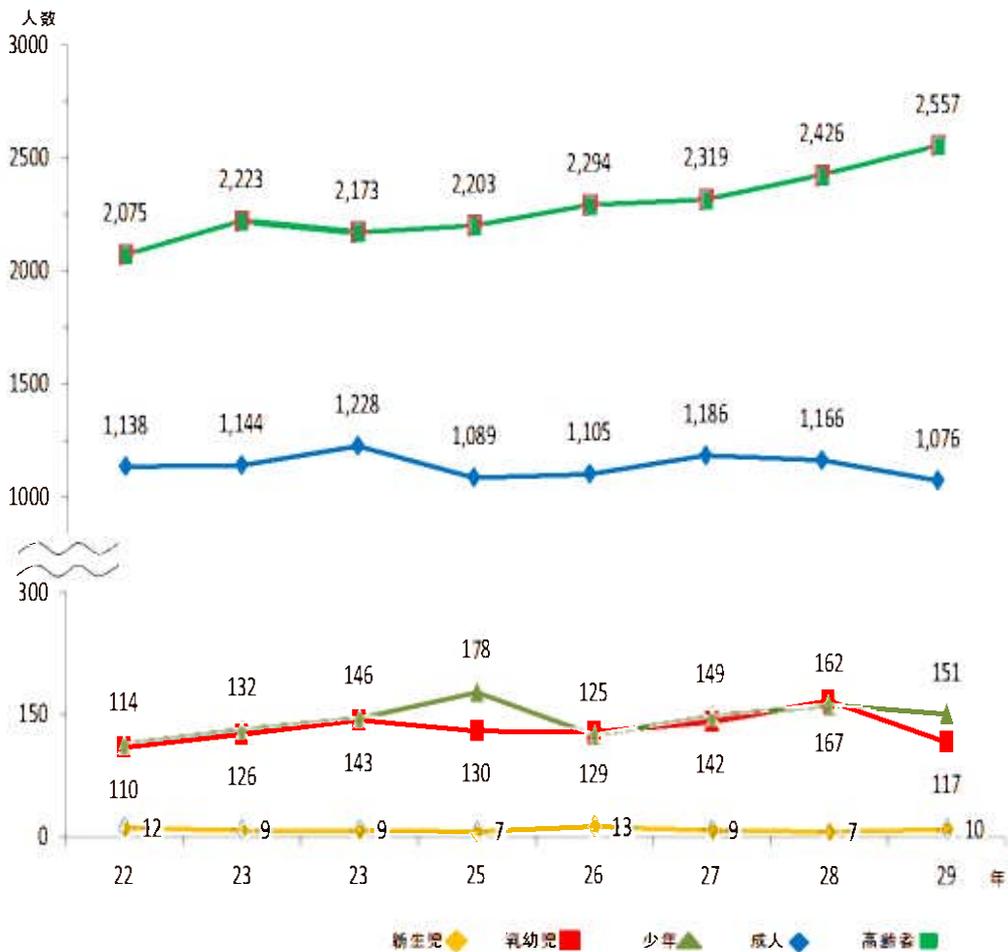
3. 年齢区分別搬送人員

平成29年1月1日～平成29年12月31日

種別	年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災					1	2	3
自然災害						1	1
水難							
交通事故			8	42	149	69	268
労働災害					35	7	42
運動競技				31	20	2	53
一般負傷			18	16	77	398	509
加害				1	6	3	10
自損行傷					18	3	21
急病		1	79	57	606	1,466	2,209
その他		9	12	4	164	606	795
合計		10	117	151	1,076	2,557	3,911
構成比(%)		0	3	4	28	65	100
前年		7	167	162	1,166	2,426	3,928
前年比		3	△50	△11	△90	131	△17

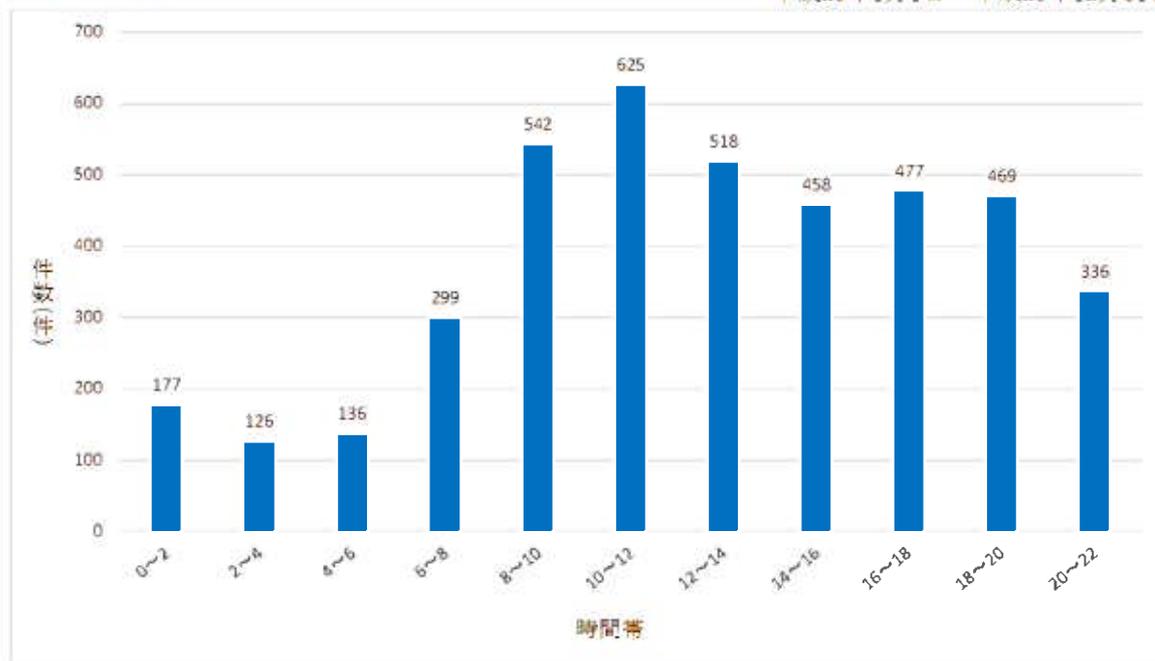
新生児 生後28日未満  
 乳幼児 生後28日以上～満7歳未満  
 少年 満7歳以上～満18歳未満  
 成人 満18歳以上～満65歳未満  
 高齢者 満65歳以上

【年齢区分別推移】



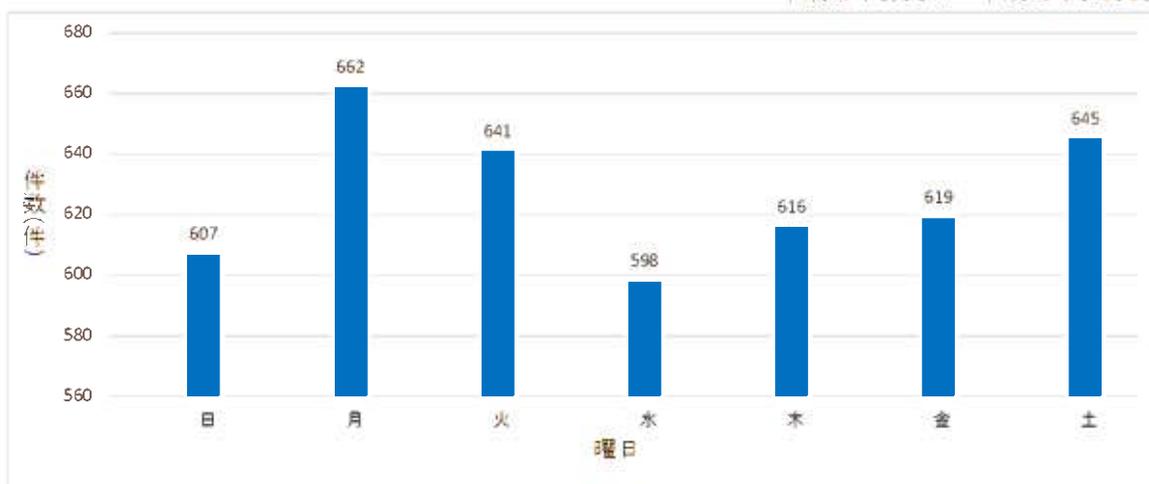
#### 4. 時間別出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日



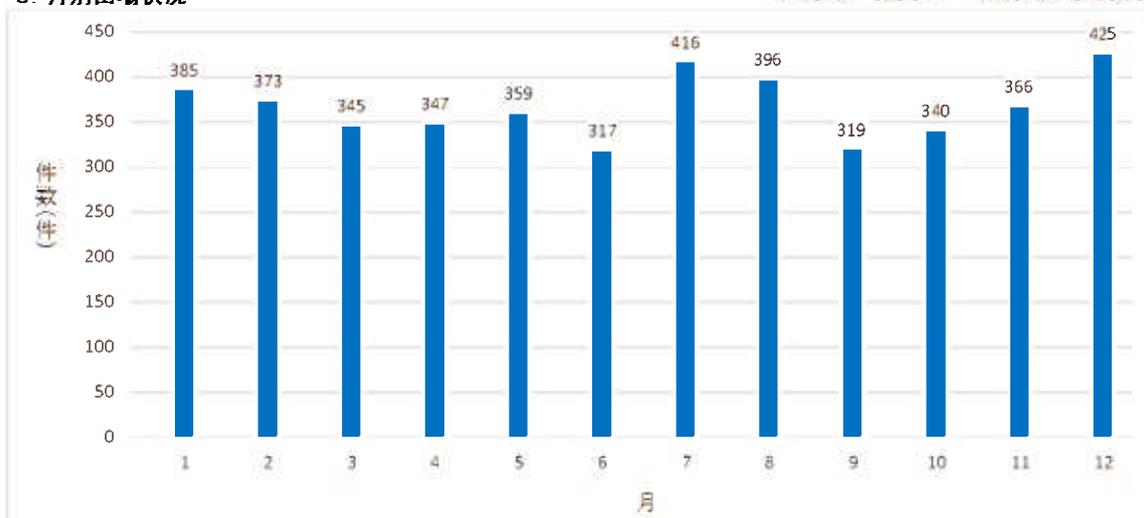
#### 5. 曜日別出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日



#### 6. 月別出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日



7. 救急隊員の行った応急処置状況（搬送者のうち）

平成29年1月1日～平成29年12月31日

(単位:件)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	前年	前年比	
応急処置	止血	12	13	38	6	69	78	▲ 9	
	固定	1	71	30	27	129	134	▲ 5	
	心肺蘇生	76	5	7	4	92	73	19	
	酸素吸入	452	452	29	254	1,187	637	550	
	気道確保 ただし、※1,2,3を除く	66	6	5	9	86	79	7	
	保温	131	11	27	46	215	82	133	
	被覆	13	61	109	20	203	199	4	
	除細動	9	1	1	2	13	13	0	
拡大 応急 処置	在宅療法継続	13			1	14	6	8	
	※1 経鼻エアウェイ	6				6	5	1	
	咽頭鏡・鉗子					0	2	▲ 2	
	ショックパンツ					0	0	0	
	血圧測定	2,059	244	473	836	3,612	3,538	74	
	聴診器による心音・呼吸音等聴取	607	83	73	119	882	829	53	
	血中酸素飽和度測定	2,110	251	492	896	3,749	3,761	▲ 12	
	心電図	1,267	61	148	326	1,802	1,622	180	
	静脈路確保	CPA前	4		1		5	1	4
		CPA後	33	3	4	1	41	39	2
※2	ラリングエアマスク等	2		1		3	1	2	
※3	気管挿管	26		4	1	31	24	7	
薬剤投与	アドレナリン	18		4	2	24	10	14	
	ブドウ糖	3				3	1	2	
	血糖値測定	29	1	2	2	34	4	30	
その他の応急処置		1,823	110	328	515	2,776	2,499	277	
処置人員		2,202	260	506	905	3,873	3,885	▲ 12	
構成比		56.9	6.7	13.1	23.4	100.0	100.0		

8. 不搬送原因別出場件数

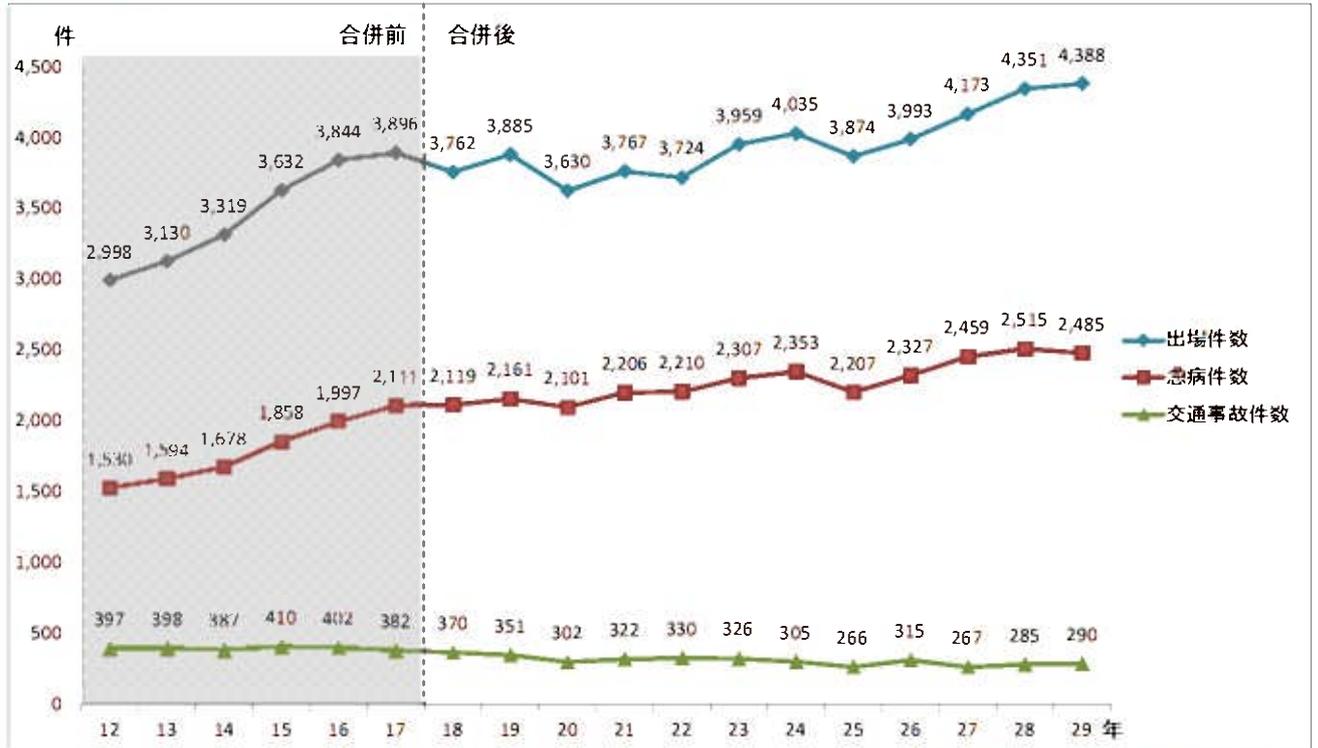
平成29年1月1日～平成29年12月31日

(単位:件)

不搬送理由	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酔酲	死亡	現場処置	その他	計
出場件数	42	31	83	10	84	198	63	511

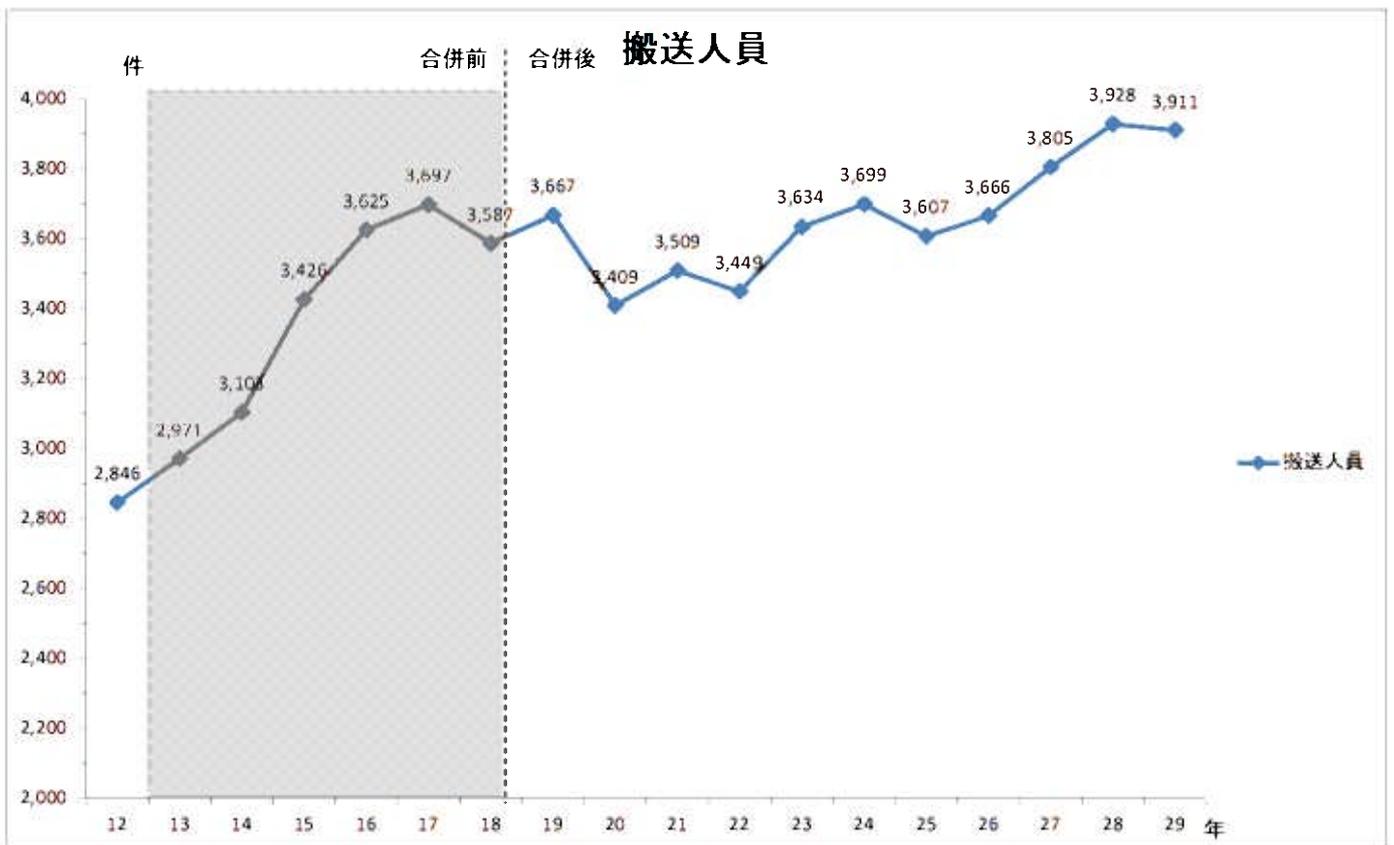
(その他には誤報、いたずらを含む)

### 9. 地域別救急出場状況



合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

### 10. 搬送人員の推移

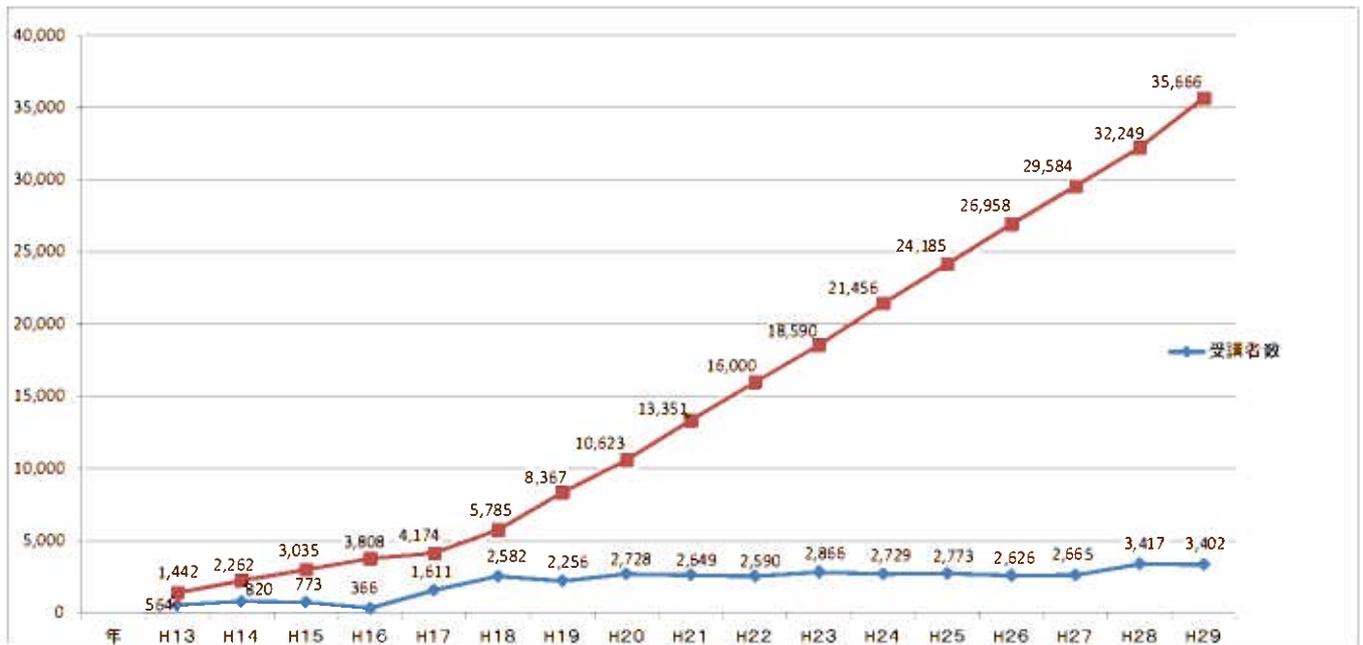


合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

### 11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

区分	年	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
実施回数		25	37	38	25	82	145	116	142	134	133	140	142	146	125	103	133	152
受講者数		564	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,649	2,590	2,866	2,729	2,773	2,626	2,665	3,417	3,402
受講者数累計		1,442	2,262	3,035	3,808	4,174	5,785	8,367	10,623	13,351	16,000	18,590	21,456	24,185	26,958	29,584	32,249	35,666
市民に占める受講割合		1.5%	2.4%	3.2%	4.0%	4.3%	6.0%	8.7%	11.1%	13.9%	16.7%	19.4%	22.4%	25.2%	28.1%	30.8%	33.6%	37.2%

※ H17からAED(自動体外式除動器)の取り扱いを含む講習を実施。



### 12. CPA患者社会復帰状況

区分	年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
CPA患者数(搬送者)		66人	98人	77人	78人	86人	110人	105人	71人	88人	88人	77人	83人
CPR口頭指導		16.7%	24.5%	41.6%	52.6%	37.2%	43.6%	66.7%	67.6%	65.9%	66.7%	90.4%	96.60%
バイスタンダーCPR		36.4%	42.9%	40.3%	46.2%	33.7%	38.2%	41.9%	36.6%	43.2%	51.1%	53.4%	66.10%
蘇生率		9.1%	17.3%	14.3%	12.8%	20.9%	19.1%	19.0%	19.7%	15.9%	23.9%	2.6%	12.50%
社会復帰者		2人	6人	6人	4人	2人	4人	3人	3人	0人	4人	1人	6人
社会復帰率		3.0%	6.1%	7.8%	5.1%	2.3%	3.6%	2.9%	4.2%	0.0%	4.5%	1.3%	7.20%

※CPA----- Cardio Pulmonary Arrest の略で、心肺停止のこと。  
 ※CPR----- Cardio Pulmonary Resuscitation の略で、心肺蘇生法のこと。  
 ※バイスタンダー----- 救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)のこと。  
 ※社会復帰----- 心肺停止により救急搬送された人が、回復して歩いて退院したこと。

### 13. 事故種別救助活動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	墮落等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
出場件数	3	37	1		2	1			9	53
活動件数	3	29	1		2				7	42
救助人員	2	35	1		2				8	48

※消防機関が救助活動を行なう目的で出場した件数  
 なお、火災の場合は消防機関が何らかの救助活動を行なった件数

### 14. 事故種別出場及び活動車両状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

車両区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	墮落等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
救助工作車	3	34	1		2	1			9	50
	2	14	1						5	22
消防ポンプ自動車	10	36	1		2				7	56
	7	27	1		2				6	43
はしご車及び 梯子はしご車										
指揮車及び 指令車	4	20							1	25
	2	13								15
救急自動車	3	32	1		2	1			8	67
		28	1		2				5	36
船舶										
その他	1									1
	1									1
消防団車両										
計	21	144	3		6	2			25	201
	12	62	3		4				16	117

→救助活動のために出場した車両等の台数

※上段 出勤車両台数  
 下段 活動車両台数

# VI. 消防団及び 消防協力団体

# 1.薩摩川内市消防団の組織

平成30年4月1日現在

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甌分駐所・下甌分駐所の管轄区域に合わせ、中央・西部・東部・上甌・下甌の5大隊とし、その下に9方面隊・32分団で組織。また、女性団員は、団本部に団本部女性分団を、上甌・下甌大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を配置している。分団合計、団本部女性分団含む33分団となっている。



## 2. 消防団員定数及び実員

平成30年4月1日現在

階級 区分	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員	合計
		団本部副団長 大隊長	方面隊長	本部員	分団長					
定数	1	6	9	14	33	33	78	151	1,005	1,330
実員	1	6	9	14	33	33	77	151	904	1,228

## 3. 消防団員の年齢

平成30年4月1日現在

年齢 区分	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,228 (58)	1 (0)	21 (4)	67 (4)	152 (6)	204 (7)	200 (7)	182 (9)	176 (10)	134 (8)	91 (3)	44 (44.1)

( )は女性団員

## 4. 方面隊別団員数

平成30年4月1日現在

方面隊別	区分	分団数	団員数 (人)	方面隊人口 (人)	世帯数 (世帯)	団員1人あたり 人口(人)
川内南方面隊		4	189	38,637	17,849	204
川内北方面隊		4	176	28,336	13,232	161
東郷方面隊		3	112	5,205	2,369	46
川内西方面隊		3	109	4,262	2,404	39
種蒔方面隊		4	122	6,403	3,230	52
入来方面隊		4	103	4,653	2,352	45
祁答院方面隊		4	101	3,548	1,725	35
上郷方面隊		3	130	2,290	1,324	18
下郷方面隊		3	162	2,167	1,374	13
合計		32	1,204	95,501	45,859	615

## 5. 消防団員の勤続年数

平成30年4月1日現在

勤続年数 区分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
1,228 (58)	274 (21)	268 (11)	169 (19)	235 (5)	128 (1)	84 (1)	70 (0)

( )は女性団員

6. 消防団車両の概要

平成30年4月1日現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及び メーカー	備考			
1	団本部		団本部	団本部車	ニッサン	鹿児島 800 す 8429	H 30 . 2	0						
2				災害支援車	三菱	鹿児島 88 す 7692	H 9 . 3	21						
3				予備積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7052	H 8 10	22						
4				女性分団	火災予防指導車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1857	H 27 .11	3			H29.3月型色変更へ改修		
5			西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1853	H 29 . 3	1					
6			東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1474	H 26 .11	4					
7			上飯大隊	団本部	大隊車	スズキ	鹿児島 80 あ 682	H 7 . 3	23					
8			下飯大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1193	H 24 .12	6					
9	中央		川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3730	H 13 .11	17	A-2 日本パライドピタル				
10				官里部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5978	H 27 . 1	3					
11				中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H 19 .12	11	A-2 日本機械				
12				中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8101	H 9 . 9	21					
13			川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3731	H 13 .11	17	A-2 日本パライドピタル				
14				中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5095	H 25 .11	5					
15				宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6902	H 28 . 2	2					
16				永利部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 1069	H 12 . 1	18			永利班		
17				永利部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8100	H 9 . 9	21			百次班		
18				平佐東	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6234	H 15 .10	15				
19					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8099	H 9 . 9	21				
20				高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 6283	H 15 .10	15	A-2 日本パライドピタル			
21			川内中央北	大小路部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 5561	H 15 . 3	15	A-1 日本パライドピタル				
22				中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7752	H 29 . 3	1					
23				上川内部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7486	H 16 .11	14	A-2 日本パライドピタル				
24				龜山部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7485	H 16 .11	14	A-2 日本パライドピタル				
25				下東郷	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9545	H 10 .12	20				
26					二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1971	H 30 . 2	0				
27				高城東	高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3864	H 13 .12	17				
28					陽成部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9546	H 10 .12	20				
29				城上	上城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6904	H 28 . 2	2				
30					下城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5098	H 25 .11	5				
31			東郷	東郷中央	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2905	H 22 .12	8	A-1 日本パライドピタル			
32					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5099	H 25 .11	5				
33				東郷東	南瀬部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 7596	H 29 . 1	1	A-1 日本パライドピタル			
34					山田部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 462	H 11 . 9	19	A-2 日本機械			
35				東郷西	鳥丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 2139	H 12 . 9	18	A-2 ミニトラック			
36					藤川部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5977	H 27 . 1	3				
37			西部	川内西	水引	水引部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3863	H 13 .12	17			
38						港部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3865	H 13 .12	17			
39					高城西	西方部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 す 6763	H 27 .12	3	A-2 ミニトラック		総務省消防庁標準発車
40						湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2446	H 12 .12	18			
41					川内西	久見崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5976	H 27 . 1	3			
42						寄田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7765	H 29 . 3	1			
43							ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 963	H 9 . 9	21			

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考	
44	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6240	H 15 .10	15			
45				岩下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8486	H 30 . 3	0			
46			樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 693	H 11 .10	19	A-1 モリタ		
47				河内部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6903	H 28 . 2	2			
48			市比野中央	市比野部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2841	H 22 .11	8	A-2 GMいちばら		
49					積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9347	H 10 .10	20			
50					上手部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 7363	H 9 . 1	21		
51			市比野南	藤本部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8478	H 30 . 3	0			
52				野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5096	H 25 .11	5			
53			入来	副田	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 5079	H 25 .10	5	A-2 日本フライングモビル	
54					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8497	H 30 . 3	0		
55				清色	清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H 19 . 9	11	A-1 百谷機械	
56		大馬越		大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8477	H 30 . 3	0			
57		朝陽		朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7754	H 29 . 3	1			
58		祁答院		黒木	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H 17 .12	13	A-1 日本フライングモビル	
59					上手	1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 5196	H 14 .12	16	A-2 モリタ
60			下手		1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 3782	H 13 .12	17	A-1 モリタ	
61			間牟田	2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9544	H 10 .12	20			
62					1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H 21 .11	9	A-2 日本フライングモビル	
63					2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9543	H 10 .12	20		
64		上 部 大 隊	上 部	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2334	H 12 .11	18		
65					中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2337	H 12 .11	18		
66					南部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1965	H 30 . 2	0		
67	支所部				水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H 19 . 1	11	A-1 GMいちばら	水 1.5t	
68	上 部 中 央			中 部	多機能型	いすゞ	鹿児島 880 す 2318	H 22 . 3	8	モリタ		
69					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H 20 .12	10			
70					江石部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1191	H 24 .12	6		
71					平良部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1341	H 25 .11	5		
72					支所部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 9711	H 11 . 2	19	A-2 モリタ	
73	浦内			浦内 部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1846	H 29 . 3	1		小島	
74			ミニ積載車		ダイハツ	鹿児島 880 あ 1340	H 25 .11	5		瀬上		
75			桑之浦部		ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1470	H 26 .11	4			
76	下 部 大 隊		下 部 北	長浜1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H 19 . 9	11	A-1 日本フライングモビル		
77					長浜2部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H 20 .11	10	モリタ	日本消防協会寄贈
78					長浜2部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1931	H 29 .11	1		内川内 日本消防協会寄贈
79		長浜3部			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1966	H 30 . 2	0			
80		青瀬部		積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7751	H 29 . 3	1				
81				ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1847	H 29 . 3	1				
82				積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9755	H 11 . 2	19				
83		瀬々野浦部		ポンプ付 ミニ積載車	スバル	鹿児島 80 あ 1086	H 10 .11	20		日本損害保険協会寄贈		
84		下 部 南		手打1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H 16 .11	14	A-1 モリタ		
85					ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 1077	H 10 .11	20			
86			積載車		トヨタ	鹿児島 88 す 9547	H 10 .12	20		本町		
87			積載車		トヨタ	鹿児島 800 す 5979	H 27 . 1	3		岡		
88			片野浦部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1845	H 29 . 3	1		浜田		
89				支所部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 880 あ 1473	H 26 .11	4			
90				一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H 18 .12	12	A-2 日本機械		
91				鹿島	二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H 15 .12	15		
92		ミニ積載車	ダイハツ		鹿児島 880 あ 1192	H 24 .12	6		小牟田			
93		支所部	ミニ積載車		三菱	鹿児島 80 あ 1664	H 15 .12	15				

7. 小型ポンプの概要

平成30年 4月 1日現在

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	経過年数	型式	ポンプ等級	備考
1	団本部	団本部	団本部	団本部	トーハツ	H 13 .11	17	VC62AS	B-3級	
2	中央大隊	川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	H 15 .11	15	SF656MZ	B-3級	
3			川内中央南	中央二部	ラビット	H 20 .8	10	Fi7000	B-3級	
4			川内南	中福良部	トーハツ	H 23 .12	7	VF53AS	B-3級	
5			川内南	宮崎部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
6			川内南	永利部(永利)	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
7			川内南	永利部(百次)	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
8			平佐東	一部	ラビット	H 20 .8	10	Fi7000	B-3級	
9			平佐東	二部	シバウラ	H 15 .11	15	SF656MZ	B-3級	
10			高江	高江部	シバウラ	H 4 .12	26	TF-35	B-3級	
11			川内北	川内中央北	中郷部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級
12		下東郷		一部	トーハツ	H 30 .1	0	VF53AS	B-3級	
13		下東郷		二部	トーハツ	H 30 .1	0	VF53AS	B-3級	
14		高城東		高城部	トーハツ	H 17 .3	13	VC62BS	B-3級	
15		高城東		陽成部	トーハツ	H 17 .3	13	VC62BS	B-3級	
16		城上		上城上部	ラビット	H 13 .11	17	P476	B-3級	
17		城上		下城上部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
18		東郷	東郷中央	二部	トーハツ	H 23 .12	7	VF53AS	B-3級	
19			東郷東	南瀬部	トーハツ	H 11 .7	19	V46BS	B-3級	
20			東郷東	山田部	ラビット	H 9 .7	21	P455	B-3級	
21			東郷西	鳥丸部	シバウラ	H 10 .6	20	SF656MH	B-3級	
22			東郷西	藤川部	シバウラ	H 15 .8	15	SF656MZ	B-3級	
23			東郷西	藤川部	トーハツ	H 26 .12	4	VF53AS	B-3級	
24		西部大隊	川内西	水引	水引部	トーハツ	H 30 .1	0	VF53AS	B-3級
25	水引			港部	トーハツ	H 17 .3	13	VC62BS	B-3級	
26	高城西			西方部	シバウラ	H 7 .9	23	TF-35	B-3級	
27	高城西			湯田部	シバウラ	H 29 .3	1	FF450	B-3級	
28	川内西			久見崎部	トーハツ	H 24 .12	6	VF53AS	B-3級	
29	川内西			寄田部	トーハツ	H 13 .11	17	VC62A	B-3級	
30			川内西	寄田部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
31	東部大隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	H 13 .11	17	VC52AS	B-3級	
32			樋脇北	倉野部	トーハツ	S 62 .9	30	V50C	B-3級	
33			樋脇北	岩下部	ラビット	H 18 .1	12	P476B	B-3級	
34			樋脇中央	河内部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
35			樋脇中央	河内部	ラビット	S 62 .3	30	P408R	B-3級	
36			市比野中央	市比野部	シバウラ	H 29 .3	1	FF450	B-3級	
37			市比野中央	上手部	トーハツ	H 23 .12	7	VF53AS	B-3級	
38			市比野中央	上手部	シバウラ	H 6 .11	24	SF655M	B-3級	
39			市比野南	藤本部	シバウラ	H 21 .12	9	SF656AZ	B-3級	
40			市比野南	藤本部	トーハツ	H 5 .12	25	V46AS	B-3級	
41			市比野南	野下部	ラビット	H 16 .8	14	P476A	B-3級	
42			市比野南	野下部	トーハツ	H 7 .12	23	V46AS	B-3級	

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	経過年数	型 式	ポンプ等級	備考	
43	東部大隊	入来	副田	二部	トーハツ	H 30 . 1	0	VF53AS	B-3級		
44			大馬越	大馬越部	トーハツ	H 30 . 1	0	VF53AS	B-3級		
45			朝陽	朝陽部	シバウラ	H 28 . 1	2	SF656AZI	B-3級		
46		祁答院	黒木	一部	ラビット	H 13 . 9	17	P476	B-3級		
47			上手	一部	シバウラ	H 29 . 3	1	FF450	B-3級		
48			下手	二部	シバウラ	H 29 . 3	1	FF450	B-3級		
49			藺牟田	二部	シバウラ	H 29 . 3	1	FF450	B-3級		
50		上甌大隊	上甌	里	北部	トーハツ	H 29 . 2	1	VF53AS	B-3級	
51				里	中部	トーハツ	H 24 . 12	6	VF53AS	B-3級	
52	里			南部	ラビット	H 12 . 12	18	P455	B-3級		
53	上甌中央			中甌部	ラビット	H 22 . 3	8	Fi7000	B-3級		
54	上甌中央			中甌部	トーハツ	H 20 . 12	10	VC62BS	B-3級		
55	上甌中央			江石部	トーハツ	H 24 . 12	6	VF53AS	B-3級		
56	上甌中央			平良部	シバウラ	H 21 . 12	9	SF656AZ	B-3級		
57	浦内			浦内部	シバウラ	H 21 . 12	9	SF656AZ	B-3級		
58	浦内			浦内部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
59	浦内	桑之浦部	トーハツ	H 24 . 12	6	VF53AS	B-3級				
60	下甌大隊	下甌	下甌北	長浜2部	トーハツ	H 20 . 11	10	VF53AS	B-3級		
61			下甌北	長浜2部(内川内)	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
62			下甌北	長浜3部	シバウラ	H 20 . 9	10	SF756AZ	B-3級		
63			下甌北	青瀬部	シバウラ	H 25 . 5	5	SF656AZi	B-3級		
64			下甌北	青瀬部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
65			下甌北	瀬々野浦部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
66			下甌北	瀬々野浦部	トーハツ	H 29 . 2	1	VF53AS	B-3級		
67			下甌南	手打2部	トーハツ	H 29 . 2	1	VF53AS	B-3級		
68			下甌南	手打2部	シバウラ	H 21 . 12	9	SF656AZ	B-3級		
69			下甌南	片野浦部	トーハツ	H 23 . 12	7	VF53AS	B-3級		
70			下甌南	片野浦部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
71			下甌南	支所部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
72			鹿島	二部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級		
73			鹿島	二部	ラビット	H 9 . 12	21	P440S	B-3級		
74			鹿島	二部	ラビット	H 18 . 1	12	P476B	B-3級		
75			鹿島	二部	ラビット	H 7 . 12	23	P450S	B-3級		
76			鹿島	二部	ラビット	H 13 . 9	17	P455A	B-3級		
77			鹿島	二部	ラビット	H 16 . 9	14	P455AS	B-3級		
78			鹿島	二部	ラビット	H 16 . 11	14	P455AS	B-3級		
79	鹿島	支所部	ラビット	H 15 . 9	15	P455A	B-3級				

## 8. 消防協力団体

### (1) 薩摩川内市危険物安全協会 (組織)

平成30年4月1日現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	3名	14名	2名	1名	109事業所	22事業所

#### (事業)

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害事故例等参考資料の配布</li> <li>(2) 法令改正等研修</li> <li>(3) 危険物保全に関する啓発及び指導</li> <li>(4) 先遣地視察及び災害現場視察</li> <li>(5) 自衛消防隊消火競技大会の実施</li> <li>(6) 普通救命講習会の開催</li> <li>(7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し</li> </ol> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 会員相互の親睦</li> <li>3. 危険物取扱者及び事業所の表彰</li> <li>4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進</li> <li>5. その他本会の目的達成に必要な事業</li> </ol> |
|---|---|

(平成30年度予算)

#### 歳 入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
901,000	0	124,039	10,000	1,035,039

#### 歳 出

(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	保 危 協 負 担 金	雑 費	予 備 費	計
210,000	285,000	400,000	109,000	3,000	28,309	1,035,309

### (2) 薩摩川内市防火管理協会

#### (組織)

平成30年4月1日現在

会 長	副 会 長	役 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	4名	26名	2名	1名	373事業所	11事業所

#### (事業)

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防火管理者の育成及び消防(防火)思想の普及啓発</li> <li>2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等</li> <li>3. 自衛消防隊消火競技大会の実施</li> <li>4. 普通救命講習会の開催</li> <li>5. 防火ポスター・絵画の作品募集及び展示</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 各種災害の予防対策の研究</li> <li>7. 消防用設備の維持管理の指導及び保守点検</li> <li>8. 協会だよりの発行</li> <li>9. 優良会員事業所等の表彰</li> <li>10. その他本会の目的達成上必要なこと</li> </ol> |
|---|--|

(平成30年度予算)

#### 歳 入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,604,000	0	168,898	102	1,773,000

#### 歳 出

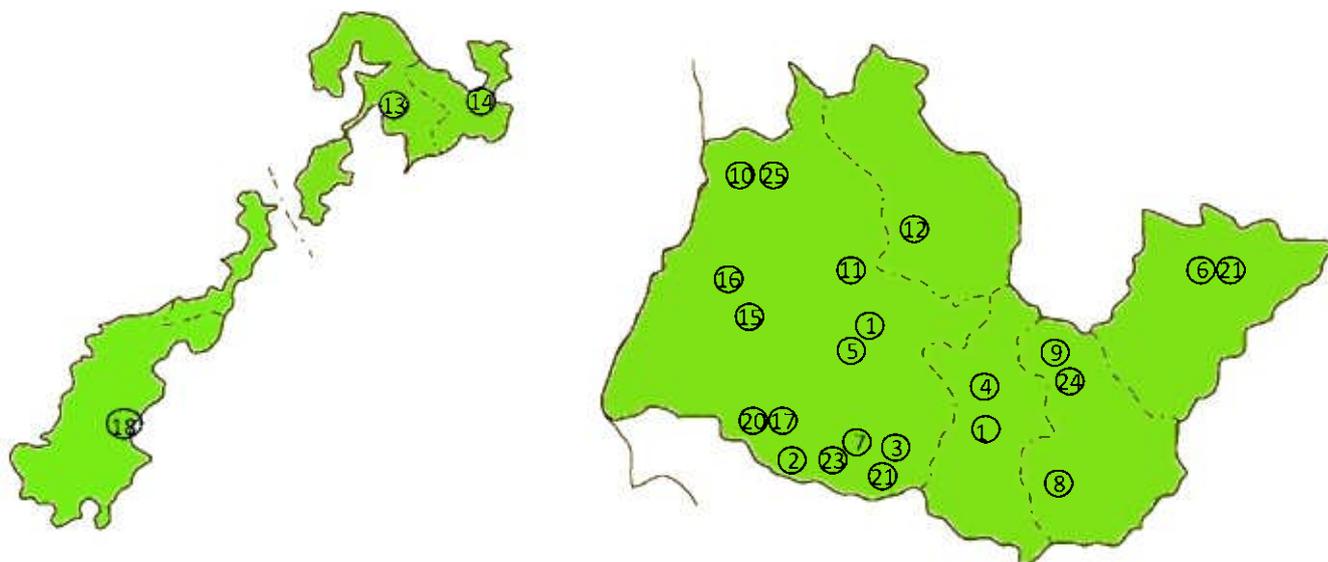
(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
300,000	820,000	642,000	1,000	10,000	1,773,000

(3) 防火クラブ

平成30年4月1日現在

番号	ク ラ ブ 名	結成年月日	人 員	所 在 地
1	平佐保育園幼年消防隊	S 58 . 4 . 30	77	平佐町3879番地3
2	青山幼稚園幼年消防隊	S 59 . 10 . 23	162	青山町419-4番地
3	永利保育園幼年消防クラブ	S 59 . 11 . 1	61	百次町1069番地22
4	善福寺保育園幼年防火クラブ	S 59 . 11 . 1	37	樋脇町塔之原1177番地
5	せんだい幼稚園幼年消防隊	S 60 . 4 . 22	80	平佐町3590番地2
6	祁答院幼稚園幼年防火クラブ	S 60 . 10 . 1	14	祁答院町下手255番地
7	勝目保育園幼年消防隊	S 61 . 10 . 27	21	勝目町5315番地71
8	入来保育所幼年消防クラブ	S 61 . 11 . 15	28	入来町浦之名7517番地3
9	びぼあ幼年消防クラブ	H 11 . 4 . 1	40	入来町副田5752番地
10	西風園幼年消防クラブ	H 11 . 4 . 2	11	西方町2605番地
11	育英保育園幼年消防クラブ	H 11 . 12 . 1	78	中郷4丁目187番地
12	栗郷幼稚園幼年消防クラブ	H 12 . 1 . 11	62	栗郷町斧淵4773番地2
13	中津幼稚園幼年消防クラブ	H 13 . 5 . 21	12	上郷町中郷253番地
14	里幼稚園幼年消防クラブ	H 13 . 6 . 19	23	里町里1650番地1
15	高江保育園幼年消防クラブ	H 15 . 1 . 15	25	高江町1901番地
16	水引保育園幼年消防隊	H 15 . 8 . 1	37	水引町4795番地
17	青山保育園幼年消防クラブ	H 25 . 1 . 25	24	青山町3586番地4
18	かのこ幼稚園幼年消防クラブ	H 27 . 9 . 1	28	下郷町青瀬382番地
19	すわこども園幼年消防クラブ	H 29 . 10 . 1	35	樋脇町市比野550番地
計				855 名
20	青山少年消防クラブ	S 58 . 11 . 3	12	青山町4222番地
21	川内精舎少年消防クラブ	H 11 . 5 . 1	9	百次町6-19番地1
計				21 名
22	祁答院幼稚園女性防火クラブ	S 60 . 10 . 1	14	祁答院町下手255番地
23	勝目保育園女性消防クラブ	S 63 . 1 . 23	32	勝目町5315番地71
24	副田女性防火クラブ	H 9 . 5 . 1	11	入来町副田5857番地
25	西方女性防火クラブ	H 12 . 2 . 1	15	西方町2414番地
計				72 名
合計			948 名	





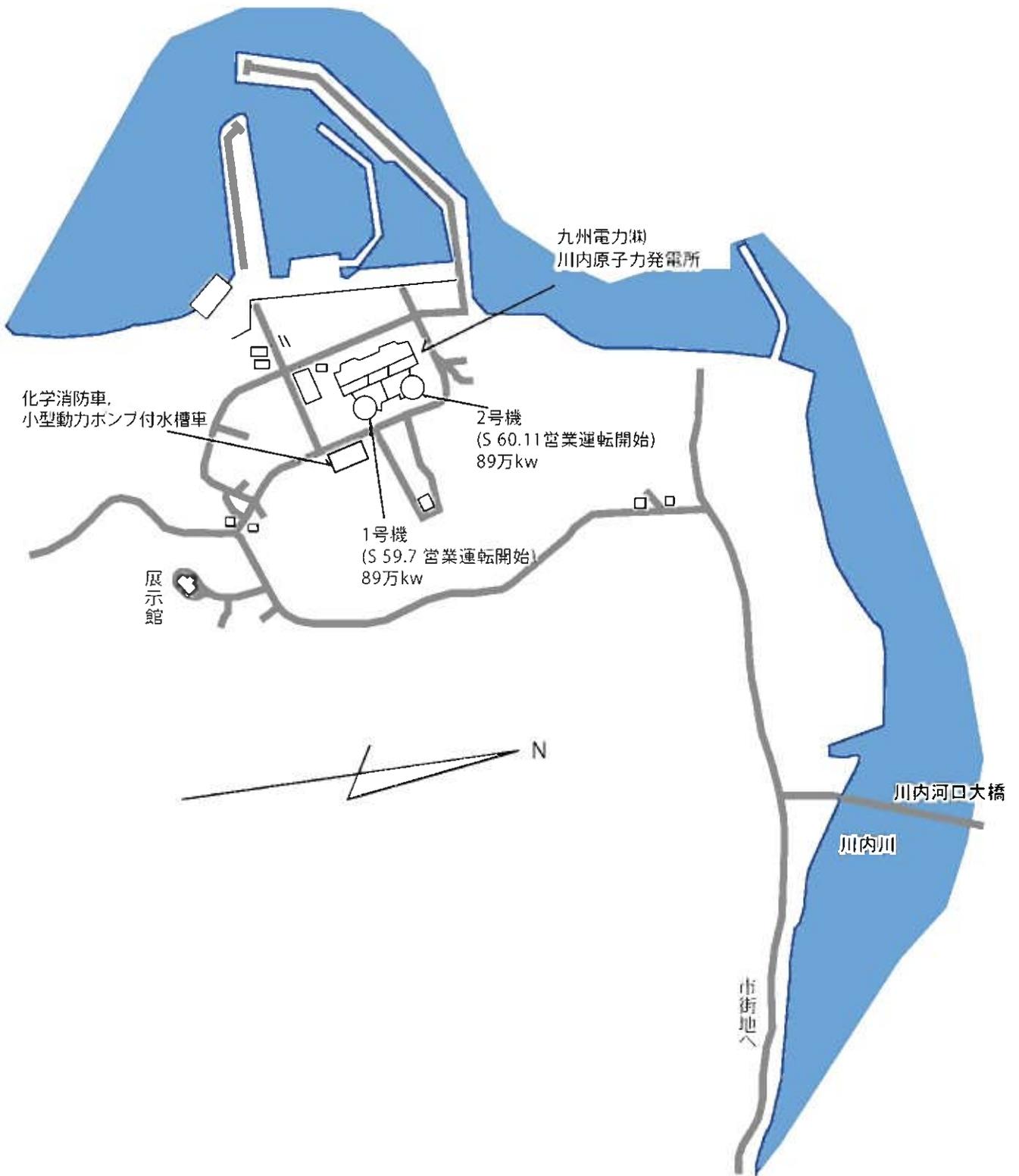
◎ 九州電力(株) 川内発電所

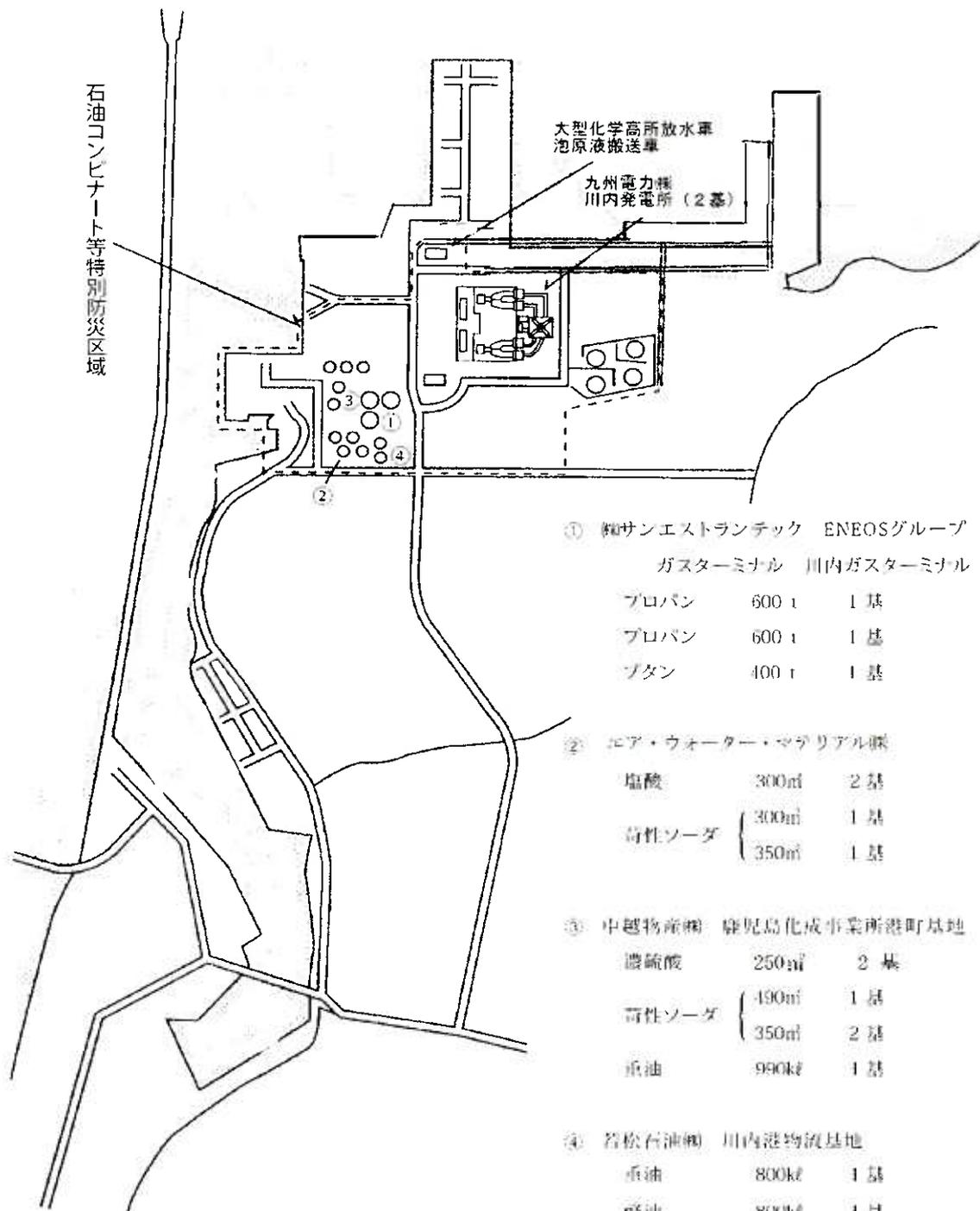
総合出力	1,000,000kw	
1号機	500,000kw	
2号機	500,000kw	
附帯施設		
重油タンク	30,000 kℓ	1基
原油タンク	30,000 kℓ	3基
軽油タンク	300 kℓ	2基

アンモニア	{ 15 t	1基
	{ 10 t	1基

◎ 九州電力(株) 川内原子力発電所

総合出力	1,780,000kw	
1号機	890,000kw	
2号機	890,000kw	
原子炉	低濃縮二酸化ウラン	
	軽水減速・軽水冷却加圧水型	2基





① 舞鶴エストラテック ENEOSグループ  
ガスターミナル 川内ガスターミナル

プロパン	600 t	1 基
プロパン	600 t	1 基
ブタン	400 t	1 基

② ヒア・ウォーター・マテリアル株式会社

塩酸	300m <sup>3</sup>	2 基
苛性ソーダ	300m <sup>3</sup>	1 基
	350m <sup>3</sup>	1 基

③ 中越物産株式会社 鹿児島化成事業所港町基地

濃硫酸	250m <sup>3</sup>	2 基
苛性ソーダ	490m <sup>3</sup>	1 基
	350m <sup>3</sup>	2 基
重油	990t	1 基

④ 若松石油株式会社 川内港物流基地

重油	800t	1 基
軽油	800t	1 基

# 付録

●消防本部-署の沿革(川内市消防本部)

年	月	日	概 要
昭和 26 年	4 月	1 日	消防本部を創設(初代消防長 近藤磨雄(団長兼務)以下9人)
昭和 27 年	11 月	13 日	自動車ポンプを購入(消防庁以下18人)
昭和 32 年	10 月	20 日	気象観測開始
昭和 33 年	1 月		自動車ポンプを購入(人口62,492人、職員27人、自動車ポンプ2台)
昭和 34 年	11 月	10 日	消防署を創設(近藤消防長、初代署長を兼務)
昭和 35 年	6 月	30 日	近藤消防長(署長)退任、第2代消防長に飯屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任
昭和 36 年	3 月	1 日	第2代消防署長に須田清春就任
昭和 37 年	4 月	1 日	大小路分遣隊を新設(職員9人、自動車ポンプ1台)
	5 月	17 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
昭和 39 年	3 月	25 日	消防無線開設(基地1、移動3台)
昭和 41 年	12 月	15 日	須田清春署長が第3代消防長に、平瀬松次次席が第3代署長に就任
昭和 43 年	4 月	15 日	平瀬署長退任(須田消防長、第4代署長を兼務)
	5 月	1 日	救急業務開始(職員41人、自動車ポンプ4台、救急車1台)
昭和 45 年	12 月	28 日	須田消防長(署長)退任、児玉篤信市助役が第4代消防長事務取扱となる
昭和 46 年	1 月	9 日	平山武徳次席が第5代署長に就任
	7 月	7 日	平山武徳次長兼署長に就任
	9 月	30 日	児玉消防長事務取扱が退任、横山正元市長が第5代消防長事務取扱に就任
昭和 47 年	1 月	17 日	梯子車(24m)を購入(職員53人、自動車ポンプ3台、救急車1台)
昭和 48 年	9 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
	9 月	18 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
昭和 49 年	9 月	28 日	横山消防長事務取扱が退任、福壽十喜市長が第6代消防長事務取扱に就任
昭和 50 年	1 月	7 日	平山次長 署長の兼務を解き、浜田博之第6代署長に就任
	3 月	20 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	6 月	23 日	平山次長退任
	11 月	3 日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける(職員54人、本部車1台、自動車ポンプ3台、梯子車1台、救急車2台、器具車1台)
	12 月	1 日	十島良郎次長に就任
昭和 53 年	4 月	1 日	川内市中郷町2023番地に新庁舎落成移転、同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転、向田分遣隊と改称
	5 月	15 日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける
昭和 54 年	7 月	20 日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける
昭和 55 年	3 月	3 日	浜田署長退任、堀之内成夫第7代署長に就任
	11 月	20 日	十島次長退任、堀之内成夫次長兼署長に就任
	11 月	26 日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける
昭和 56 年	1 月	20 日	堀之内次長兼務を解く
	1 月	26 日	福壽消防長事務取扱退任、山本孝一第7代消防長に就任

●消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)

年	月	日	概	要
昭和 56 年	4 月	1 日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足	条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本幸一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称
	7 月	15 日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定	
	12 月	1 日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町185番地)	
昭和 57 年	2 月	10 日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける	
	2 月	24 日	中央消防署上販・下販分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成	
	3 月	31 日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上販・下販分駐所開所 各所に職員6人・救急車1台配備	
昭和 58 年	1 月	28 日	中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺 32㎡)	
	3 月	11 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
	3 月	18 日	東部消防署庁舎完成(入来町浦之名727番地2)	
	3 月	19 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける	
	4 月	1 日	東部消防署開署(職員11人、水槽行消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)	
	10 月	1 日	東部消防署に職員6人を増置、17人とする。 ユーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける	
	11 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
昭和 59 年	1 月	26 日	管理者 福壽十喜 急逝	
	3 月	12 日	仁礼国市第2代管理者に就任	
	3 月	26 日	西部消防署庁舎完成(川内市水引町3397番地2)	
	4 月	1 日	西部消防署開署(職員13人、大型高所放水車1台、水槽行消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)	
	7 月	1 日	森迫良和第2代助役に就任	
	8 月	28 日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける	
	10 月	1 日	西部消防署に職員4人を増置、17人とする	
	11 月	1 日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置	
昭和 60 年	2 月	27 日	中央消防署倉庫新築(鉄骨スレート葺 2階建 延面積64㎡)	
	2 月	28 日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設	
	4 月	1 日	条例定数改正 119人 実員 108人	
昭和 60年	12 月	3 日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける	
	12 月	25 日	救急業務用地図等検索装置(光ディスク方式)購入	
昭和 61 年	4 月	1 日	消防本部警防課に通信指令係を新設(職員3人)	
	4 月	18 日	消防組合発足5周年記念式典を挙げる	

年	月	日	概 要
昭和 61 年	8 月	11 日	山本消防庁退任(萩助助役が消防庁事務取扱兼務)
	10 月	1 日	野田泰宏第2代消防長に就任
昭和 62 年	3 月	28 日	消防本部、中央消防署庁舎増築・模様替工事(2階部分261㎡増築) 中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺73.95㎡)
	12 月	7 日	福崎勇夫氏(川内市)より救急車の寄贈を受ける
	12 月	15 日	救助工作車及び救助資機材一式を購入、中央消防署に配備
昭和 63 年	3 月	9 日	消防庁長官表彰(表彰旗)
	6 月	30 日	松永収入役退任
	9 月	6 日	森 卓朗第2代収入役に就任
	12 月		市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議 全市町村議会議決
平成 元年	1 月	30 日	だいわより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	2 月	2 日	東部消防署車庫を新築(鉄骨スレート葺17.92㎡)
	3 月	4 日	市町村負担金分賦割合の変更許可(県知事)
	12 月	5 日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける
平成 2 年	3 月	31 日	野田消防長退任
	4 月	1 日	内田耕也第3代消防長に就任
	6 月	16 日	短ストアより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	10 月	24 日	南日本開発より梯子車(35m)の寄贈を受ける(川内市へ)
平成 3 年	4 月	7 日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける
	8 月	4 日	消防組合発足10周年記念式典を挙行(第9回消防フェスティバル同時開催)
平成 4 年	3 月	2 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける(5w15基)
	3 月	26 日	中央消防署南部分署新庁舎完成(川内市若松町8番20号)
	8 月		中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催
	9 月	1 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	10 月	1 日	中央消防署南部分署に職員4人を増置、13人とする
平成 5 年	11 月	1 日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換
	3 月	20 日	中央消防署南部分署に訓練塔建設
	3 月	16 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w10基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	3 月	27 日	サンテックより小型船舶(1.5t)の寄贈を受ける
平成 6 年	9 月	20 日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出(平成6年度負担金から適用)
	2 月	15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w6基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	4 月	1 日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置

年	月	日	概 要
平成 6 年	5 月	18 日	救急救命士誕生、11月に2人となる
平成 7 年	1 月	24 日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人、車両2台を派遣 ～28日
		3 月	31 日
	4 月	1 日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任)
			条例定数改正 128人 実員123人
	川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置、財務会計のオンライン処理開始		
	5 月	19 日	救急救命士3人となる
	7 月	27 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	8 月	21 日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～23日
	8 月	25 日	森収入役退任
	8 月	29 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	8 月	31 日	萩迫助役退任
	10 月	1 日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施(10月2人、11月2人)
	11 月	22 日	救急救命士4人となる
平成 8 年	1 月	18 日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入、中央消防署に配備
			仁礼管理者退任
	3 月	10 日	森 卓朗第3代管理者に就任
	3 月	11 日	森 卓朗第3代管理者に就任
	3 月	15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w3基)の貸与を受ける
	4 月	1 日	富山新八第3代助役に就任
			若松隆久第3代収入役に就任
	高規格救急車等による高度救急業務を開始		
	消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする		
	4 月	9 日	コーアガスグループより指令車の寄贈を受ける
	8 月	20 日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～22日
	10 月	22 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)
	12 月	2 日	救急救命士5人となる
平成 9 年	3 月	26 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強
		3 月	31 日
	4 月	1 日	岩切秀雄第5代消防長に就任
	4 月	4 日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける
	5 月	12 日	救急救命士6人となる
	5 月	13 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱
	7 月	10 日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人、車両3台を派遣 ～11日

年	月	日	概 要	
平成 9 年	8 月	20 日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車(けすゾウくん)の寄贈を受ける	
	10 月	7 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡市)～8日	
	11 月		救急救命士7人となる	
平成 10	3 月	7 日	自治体消防制度50周年	
	3 月	10 日	代表電話番号の変更 0996-22-0119	
	4 月	1 日	緊急通信指令施設(Ⅱ型)稼働 携帯電話等からの119番通報受信開始 女性消防吏員1人採用	
	4 月	22 日	中央消防署梯子車(35m)分解整備(オーバーホール)～9月30日	
	5 月	1 日	川内地区消防組合潜水隊編成(7人)	
	5 月	12 日	救急救命士8人となる	
	11 月	19 日	川内ライオネスクラブより予防指導車(川内ライオネスクラブ号)の寄贈を受ける	
	11 月	25 日	救急救命士9人となる	
	平成 11 年	2 月	24 日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始
		3 月	5 日	市町村員担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届(平成11年度から適用)
4 月		1 日	消防本部に予防課を新設し3課7係となる 職員実数128となる	
4 月		9 日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催(以降毎月9日に定期的に実施)	
5 月		11 日	救急救命士10人となる	
5 月		20 日	第83回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～21日	
10 月		19 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎市)～20日	
11 月		10 日	救急救命士11人となる	
平成 12 年		2 月	1 日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町22番10号
		3 月	17 日	上・下飯分駐所消防職員待機宿舍を上・下飯に1棟ずつ新築し、合わせて6世帯確保となる
	3 月	31 日	富山助役退任 岩切消防長退任	
	4 月	1 日	岩切秀雄第4代助役に就任 春田廣士第6代消防長に就任	
	4 月	18 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から(エアートント一式、発電機等8式、防護服等50式)の貸与を受ける	
	4 月	18 日	南部分署大型高所放水車分解整備(オーバーホール)～9月30日	
	5 月	9 日	救急救命士12人となる	
	10 月	23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(東京都江東区)～24日	

年	月	日	概 要
平成 12 年	10 月	29 日	川内ライオンズクラブ (35 周年記念事業) から指揮広報車 (川内ライオンズ号) の寄贈を受ける
	11 月	1 日	救急救命士 13 人となる
平成 13 年	3 月	23 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局 (5w5 基) の貸与を受ける
	10 月	2 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀市) ～3 日 消防組合 20 周年記念式典を挙行 (百次町、屋内研修訓練体育施設にて) 外園運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける
平成 14 年	3 月	31 日	春田消防長転任
	4 月	1 日	伊豫田輝雄第 7 代消防長に就任
	5 月	13 日	救急救命士 14 人となる
	5 月	29 日	宝山実業より救急車 (赤玉号) の寄贈を受ける
	6 月	28 日	おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける
平成 16 年	10 月	8 日	川内地区消防組合 (昭和 56 年 4 月 1 日発足) 解散式を挙行 (中央消防署車庫にて)

平成29年

# 消防年報

鹿児島県

薩摩川内市消防局



## 薩摩川内市民憲章

美しい自然と 古い歴史を誇りとする  
わたしたち薩摩川内市民は

やさしくすれば 心はかよう  
はなしをすれば だれでもわかる  
考えさえすれば みちはひらける  
やりさえすれば かならずできる  
という信条をもって

明るく豊かなまちをつくります



市木 クロガネモチ



市花 カノユリ



市鳥 メジロ



市魚(川) アユ



市魚(海) キビナゴ

# は し が き

この年報は、薩摩川内市消防局の現勢と平成29年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に係りのある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日を表してあります。

平成30年12月

薩摩川内市消防局

# 目 次

## I. 総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢 ..... 1
2. 消防本部・署の沿革 ..... 2

## II. 総務

1. 薩摩川内市消防局の組織 ..... 5
2. 消防本部・署の事務分掌 ..... 6
3. 消防庁舎の概要 ..... 10
4. 消防大学校等入校・各種研修参加状況 ..... 13
5. 職員の階級別年齢状況 ..... 14
6. 職員の勤続年数状況 ..... 15
7. 職員の配置状況 ..... 16
8. 薩摩川内市消防局相互応援協定 ..... 17
9. 予算の比較 ..... 18
10. 消防費と人口の比較 ..... 18
11. 消防費の内訳 ..... 18
12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況 ..... 19

## III. 予防

1. 地域別火災発生状況 ..... 20
2. 月別火災発生状況 ..... 21
3. 時間別火災発生状況 ..... 22
4. 原因別火災発生状況 ..... 22
5. 火災発生件数の推移 ..... 23
6. 火災損害見積額の推移 ..... 23
7. 防火対象物現況 ..... 24
8. 建築同意事務処理状況 ..... 25
9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況 ..... 26
10. 中高層建築物一覧表 ..... 26
11. 諸届出書の処理状況 ..... 27
12. 予防査察実施状況 ..... 28
13. 地域別危険物施設現況 ..... 29
14. 危険物施設の数量及び類別状況 ..... 30
15. 危険物施設の許可等処理状況 ..... 31
16. 危険物施設の立入検査実施状況 ..... 32

## IV. 警防

1. 消防水利状況 ..... 33
2. 消防車両等の概要 ..... 34
3. 救急、特殊資機材等の装備状況 ..... 35
4. 無線配備状況 ..... 45
5. 気象状況(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上) ..... 48

## V. 救急及び救助

1. 地域別救急出場状況	49
2. 月別救急出場状況	49
3. 年齢区分別搬送人員	50
4. 時間別出場状況	51
5. 曜日別出場状況	51
6. 月別出場状況	51
7. 救急隊員の行った応急処置状況(搬送者のうち)	52
8. 不搬送原因別出場件数	52
9. 地域別救急出場状況	53
10. 搬送人員の推移	53
11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況	54
12. CPA患者社会復帰状況	54
13. 事故種別救助活動状況	55
14. 事故種別出場及び活動車両状況	55

## VI. 消防団及び消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織	56
2. 消防団員定数及び実員	57
3. 消防団員の年齢	57
4. 方面隊別団員数	57
5. 消防団員の勤続年数	57
6. 消防団車両の概要	58
7. 小型ポンプの概要	60
8. その他、消防行政協力団体	62
9. 特殊施設	64

## 付録

● 消防本部・署の沿革(川内市消防本部)	67
● 消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)	68

# I. 総括

## 1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甌島、中甌島、下甌島で構成される甌島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甌島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、平成27年3月16日に指定された甌島国立公園をはじめ、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園など、広く市民に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は682.92km<sup>2</sup>です。

消防本部の位置 東経 130° 18'  
北緯 31° 49'



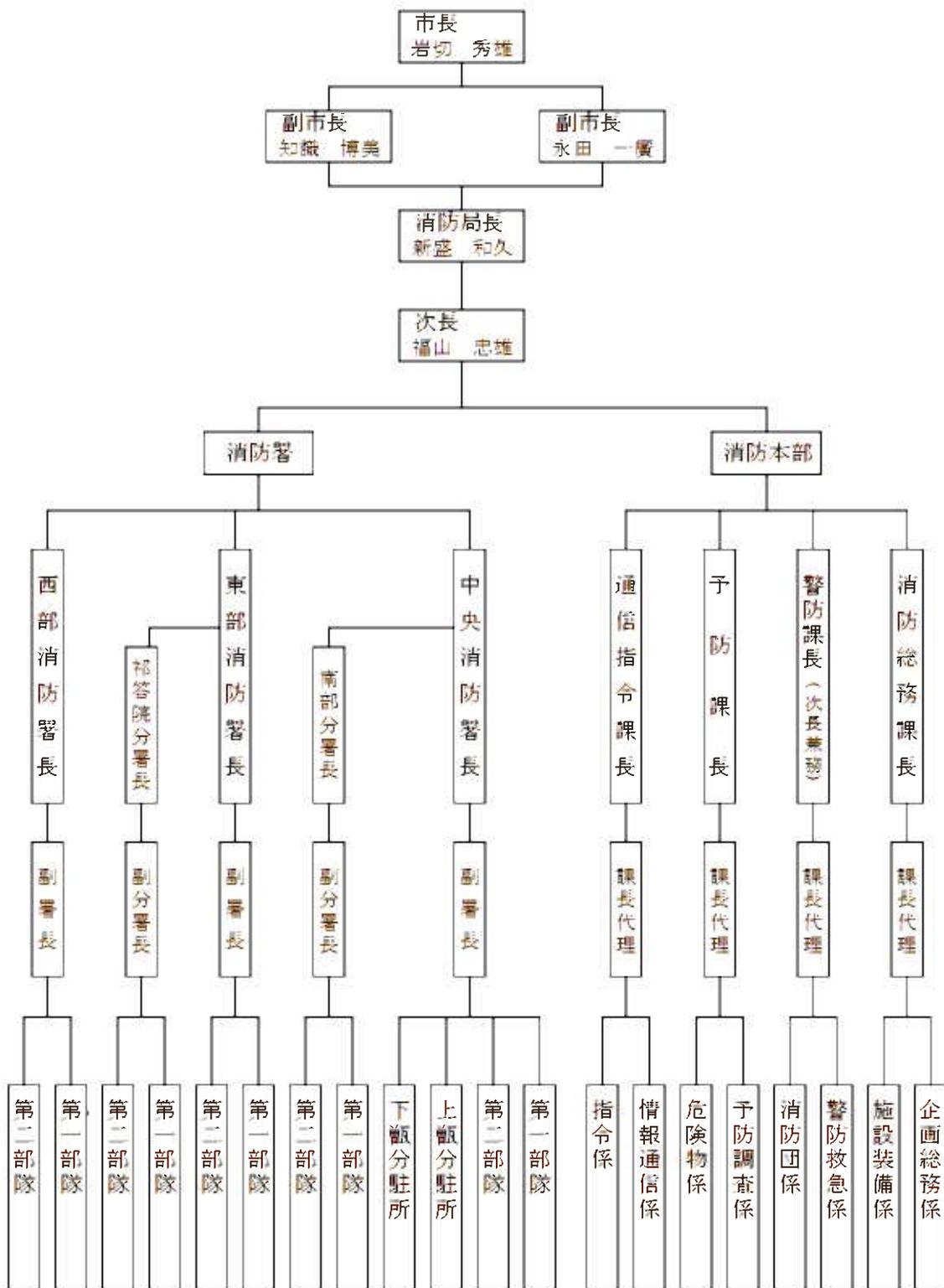
年	月	概 要
平成16年	10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足
	10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長就任
	10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始
	11月17日	救急救命士17人となる
平成17年	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機15式、空気呼吸器1式、空気呼吸器用ボンベ10本の貸与を受ける
	5月9日	救急救命士18人となる
	6月9日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市清水区)～12日
	10月1日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始
	11月4日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県うるま市)～24日
	11月24日	救急救命士19人となる
平成18年	1月15日	伊豫田輝雄消防局長退任
	1月16日	桑原道男第2代消防局長就任
	2月21日	アステラス製薬株式会社から救急自動車(2B)の寄贈を受ける
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器用面体40基の貸与を受ける
	5月22日	救急救命士21人となる
	6月1日	「住宅用火災報知機」の設置が義務づけられる
	7月22日	鹿児島県北部豪雨災害(消防職員・消防団員 延 1,252 人出場)～23日
	10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(北九州市)～21日
平成19年	12月7日	総務省消防庁主催「第9回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
	1月23日	鹿児島県防災航空隊と合同練習
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体40個、液晶プロジェクター1台、防護マスクフィルター532個の貸与を受ける
	5月14日	救急救命士24人となる
	5月16日	鹿児島県防災航空隊と合同練習
平成20年	10月12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県中津市)～13日
	1月14日	桑原道男消防局長退任
	1月15日	上村健一第3代消防局長就任
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体10個、エアータン32基、放射性廃棄物用ドラム缶1個、サーベイメーター用アルミ収納ケース4個、防護マスクフィルター794個、ポケット線量計3個の貸与を受ける
	4月28日	救急救命士26人となる
	9月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
平成21年	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県佐世保市)～22日
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、エアータン5基、防護マスク195個、防護マスクフィルター1000個、防護服(アノラック型、タイベック型)50着、液晶プロジェクター1台、DVDプレーヤー5台、液晶プロジェクターケース1個、ポケット線量計20個、携帯無線機用スピーカーマイク15個の貸与を受ける
	4月14日	救急救命士28人となる
	8月26日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
	10月9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県佐賀市)～10日
平成22年	11月16日	東部消防署 高規格救急車を更新
	2月15日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始
	3月31日	中央消防署南部分署 大型高所放水車を更新
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、デジタルカメラ1台、防護マスクフィルター

年 月	概 要
	100個の貸与を受ける
5月1日	救急救命士29人となる
6月4日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(愛知県知多市)～5日
8月30日	西部消防署 大型化学消防車を更新
10月8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施(薩摩川内市)～9日
11月10日	支援車I型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける
11月29日	東部消防署 水槽付消防ポンプ車を更新
平成23年 2月24日	西部消防署 泡原液搬送車を更新
3月14日～23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20人出場(派遣先:宮城県石巻市)
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ポンペ10本、容器呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2式、防護マスクフィルター600個、防護服(アノラック型)200着、防護服(タイベック型)200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける
4月1日	簡易携帯・IP電話位置情報システムの運用開始
4月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計15個、線量率計(γ線・X線)4台、線量率計(中性子用)1台
5月1日	救急救命士30人となる
10月1日	祁答院分署救急車に高度救命処置用資機材を搭載、救急救命士4人を配置し、運用開始
11月4日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(宮崎県宮崎市)～5日
12月16日	鹿児島県ドクターヘリ運用開始
平成24年 1月30日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ポンペ5本、空気呼吸器面体2個、化学防護服2式の貸与を受ける
3月2日	下甕分駐所 救急車を更新
3月9日	西部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
3月13日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から防護マスクフィルター1430個、GM防護マスク85個の貸与を受ける
4月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」救助用は破壊器具(バッテリー一式)1式
5月1日	救急救命士32人となる
6月27日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊支援資機材」エアータント1式
10月1日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計6個、線量率系(γ線・X線)2台、表面汚染調査計1台
11月17日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県八代市)～18日
11月28日	燃料補給車配備(総務省消防庁無償貸与・緊急消防援助隊登録車両)
平成25年 2月18日	中央消防署 はしご付消防ポンプ自動車を更新(先端屈折型30m級、四輪操舵式導入)
3月22日	総務省消防庁から重機搬送車(クレーン付き)・建設機械(5トン重機 アタッチメント付)を無償貸与を受ける
3月25日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、防護服(タイベック型)510着、防護靴40足オーバーシューズ725足、チオックス手袋34ダース、綿手41ダース、作業帽142袋、エプコテープ10ダース、ポケット線量計(PDM-222V型)250個、サーベイメータ(シンチレーション式 TCS-172B)2台の貸与を受ける
8月16日	京都府福知山市花火大会露店爆発事故を教訓に、露店防火指導査察をはじめ。
11月25日	消防団120年、自治体消防65年記念大会へ参加
平成26年 2月20日	中央消防署 高規格救急車を更新
3月12日	上甕分駐所 救急車を更新
3月31日	上村健一消防局長退任
4月1日	新盛和久第4代消防局長就任

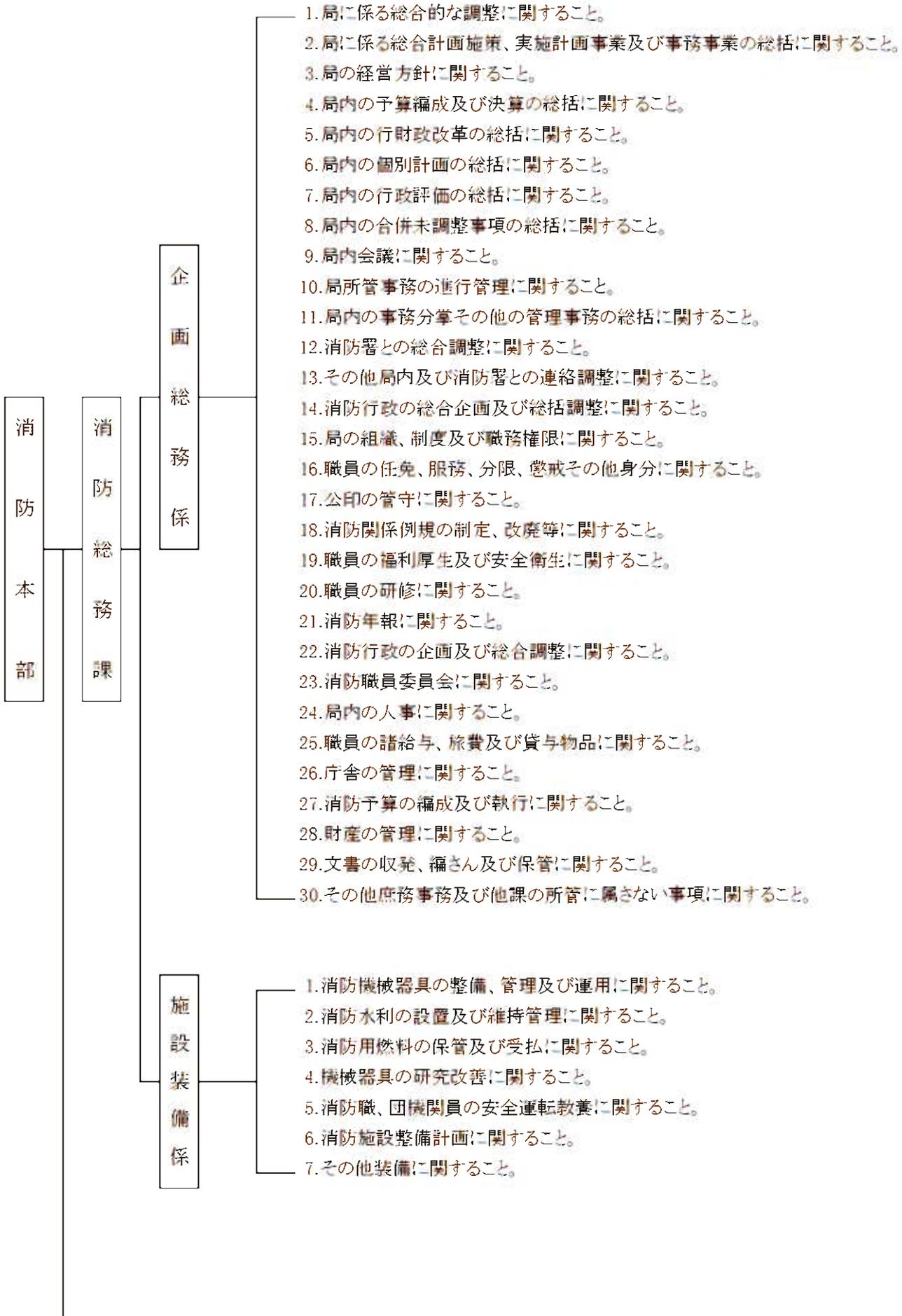
年 月	概 要
	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、原子力災害活動用防護服一式、キャビネット2基、GM管サーベイメータ(TCS-146B)2台、ポケット線量計52個の貸与を受ける
平成27年	7月18日 消防本部・中央消防署新庁舎運用開始 高機能消防指令センター運用開始
	7月22日 新旧消防庁舎にて閉庁式及び開庁式を開催
	7月26日 薩摩川内市消防局消防本部・中央消防署落成式を開催
	8月1日 防災研修センター本格運用開始
	11月6日 消防総務課 連絡車を更新 予防課 予防指導車を更新
	11月22日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県久留米市)～23日
	3月17日 南部分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	5月7日 救急救命士36人となる
	5月29日 口永良部島新岳の爆発的噴火が発生し、鹿児島県消防救助技術指導会が競技途中で中止となる
	7月4日 消防救急デジタル無線仮運用開始
	8月18日 コーアガスグループから消防指令車の寄贈を受ける
	9月16日 防災研修センターの利用者1万人達成
	11月7日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県佐伯市)～8日
	11月11日 緊急消防援助隊全国合同訓練参加(千葉県市原市)～16日
	12月10日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県からGM管式サーベイメータ3台の貸与を受ける
平成28年	1月19日 消防救急デジタル無線の本格運用並びに運用開始式を開催
	3月23日 予防課 火災原因調査車を更新
	3月24日 警防課 本部指揮隊車を更新
	4月1日 消防局150人体制となり、上甕分駐所並びに下甕分駐所に職員をそれぞれ1人増員し、各分駐所6人体制となる
	4月15日～28日 4月14日21時26分に発生した震度7の地震を前震とする「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として延べ31人出場する
	4月27日 救急救命士37人となる
	6月1日 株式会社大和から小型バスの寄贈を受ける
	11月5日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県雲仙市)～6日
平成29年	12月13日 海上保安庁と合同潜水訓練を実施する
	1月7日 消防出初式において木遣り歌を初披露
	2月20日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、空気ポンプ20本、原子力災害活動用防護服一式の貸与を受ける
	3月17日 中央消防署 高規格救急車を更新
	4月1日 消防局154人体制となる
	4月1日 横浜市消防局に職員1人を派遣する
	5月1日 救急救命士39人となる
平成30年	1月7日 消防出初式においてはしご乗りを初披露
	1月31日 下甕分駐所 連絡車を更新
	2月28日 東部消防署、西部消防署 指揮車を更新
	3月28日 中央消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	4月1日 消防局157人体制となる
	4月1日 昨年度に引き続き横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4月17日 株式会社サンテックから無人航空機(ドローン3機)の寄贈を受ける
	5月1日 救急救命士43人となる

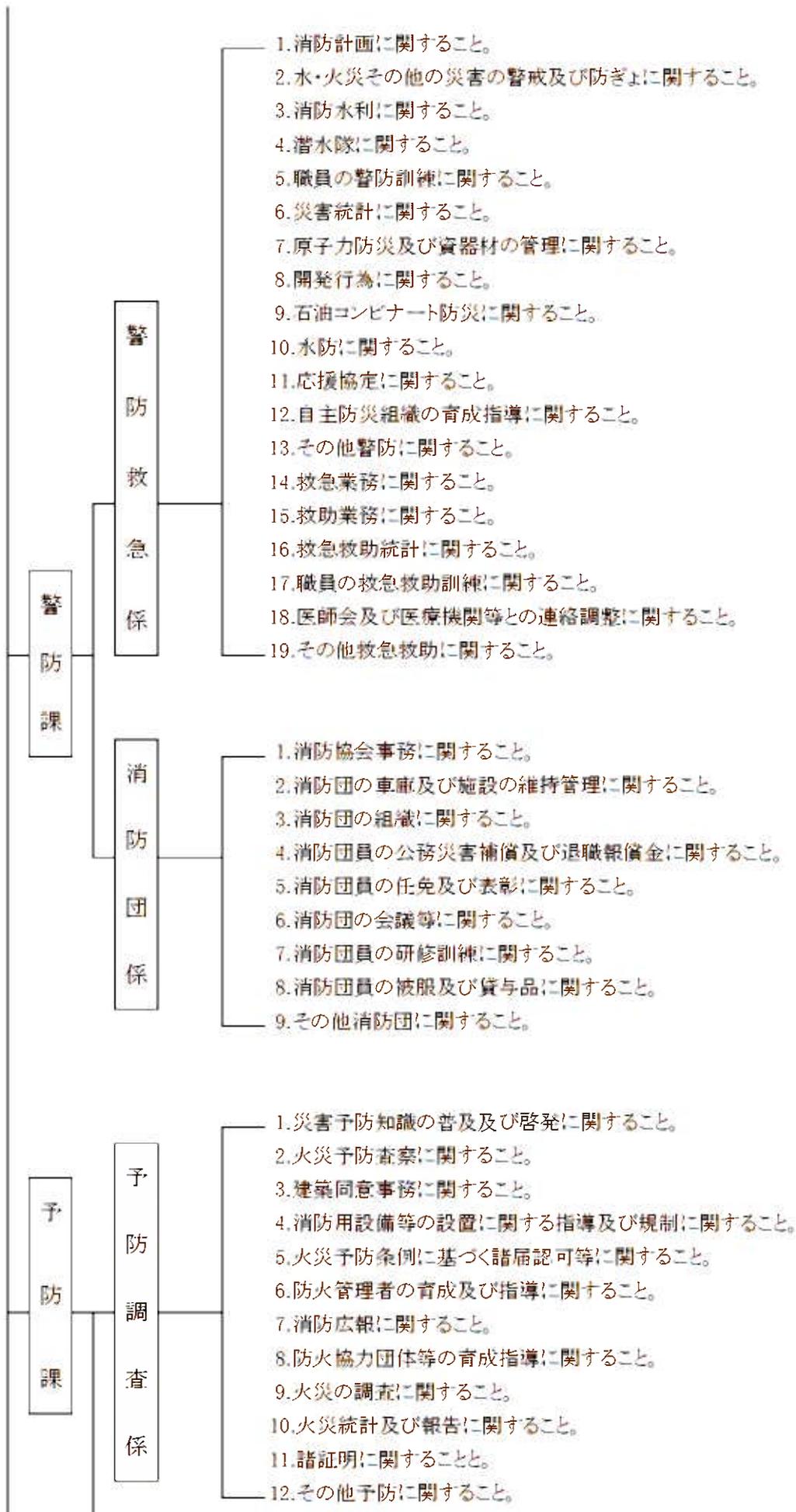
# II. 総務

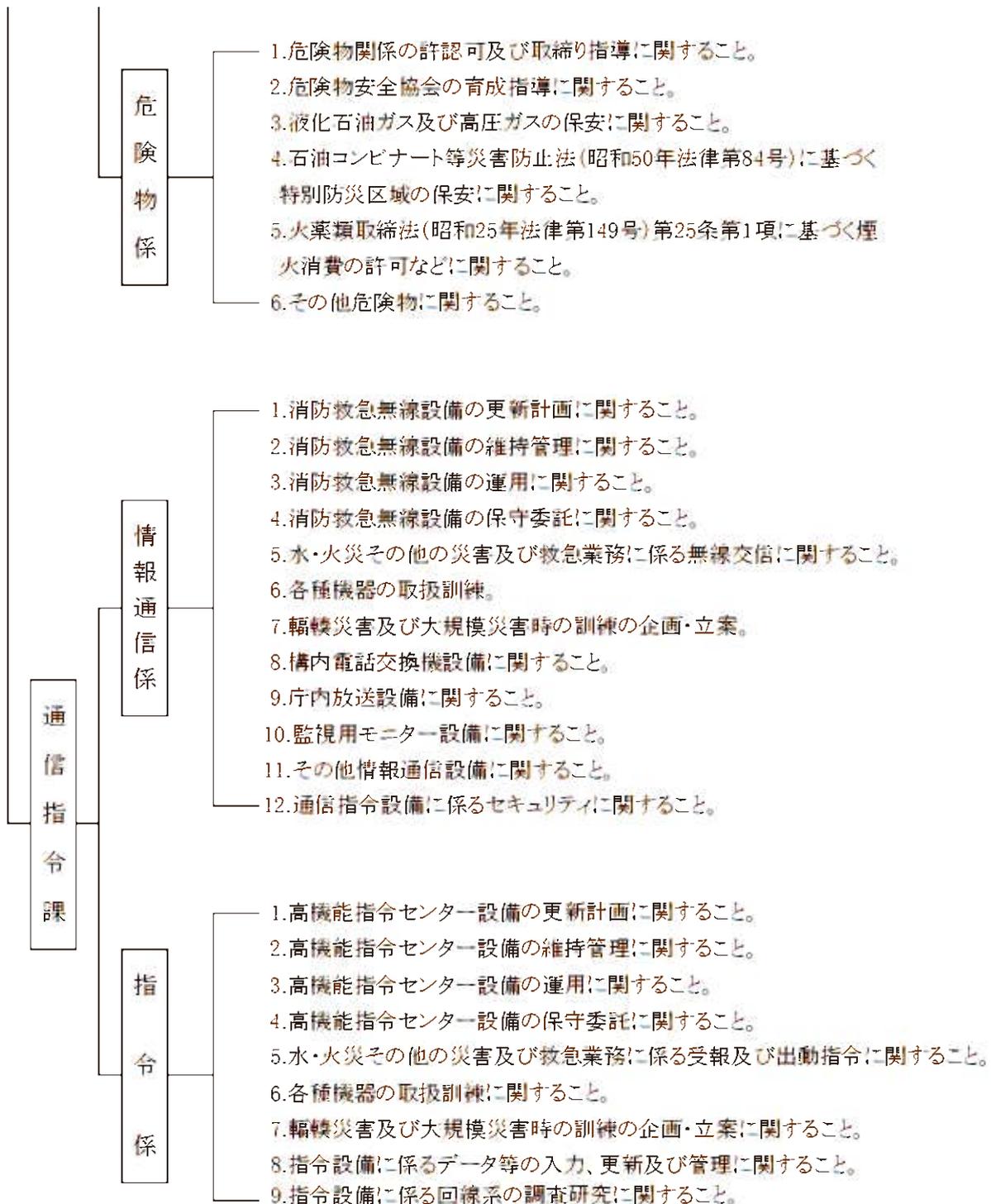
1. 薩摩川内市消防局の組織

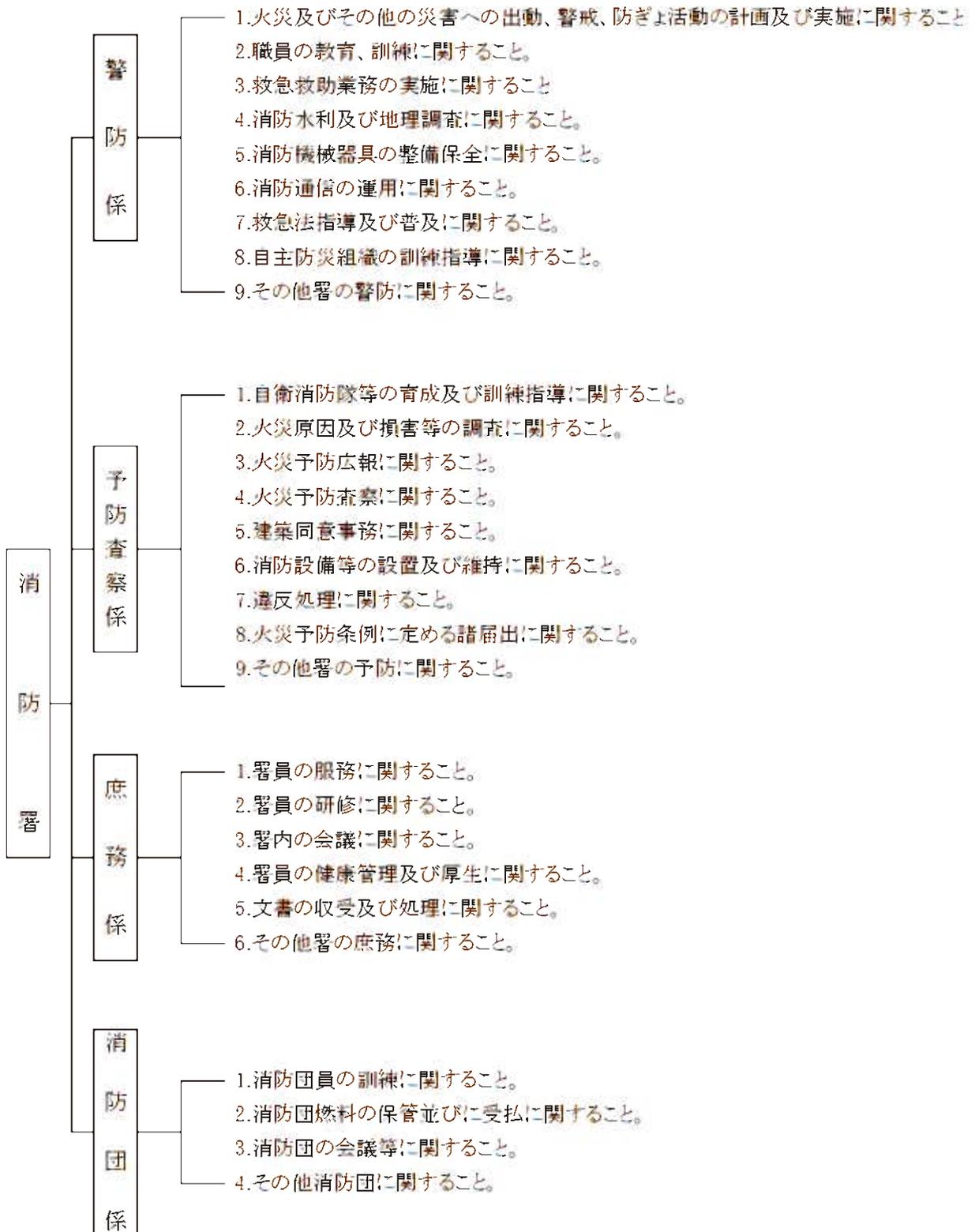


## 2. 消防本部・署の事務分掌









### 3. 消防庁舎の概要

平成30年4月1日現在

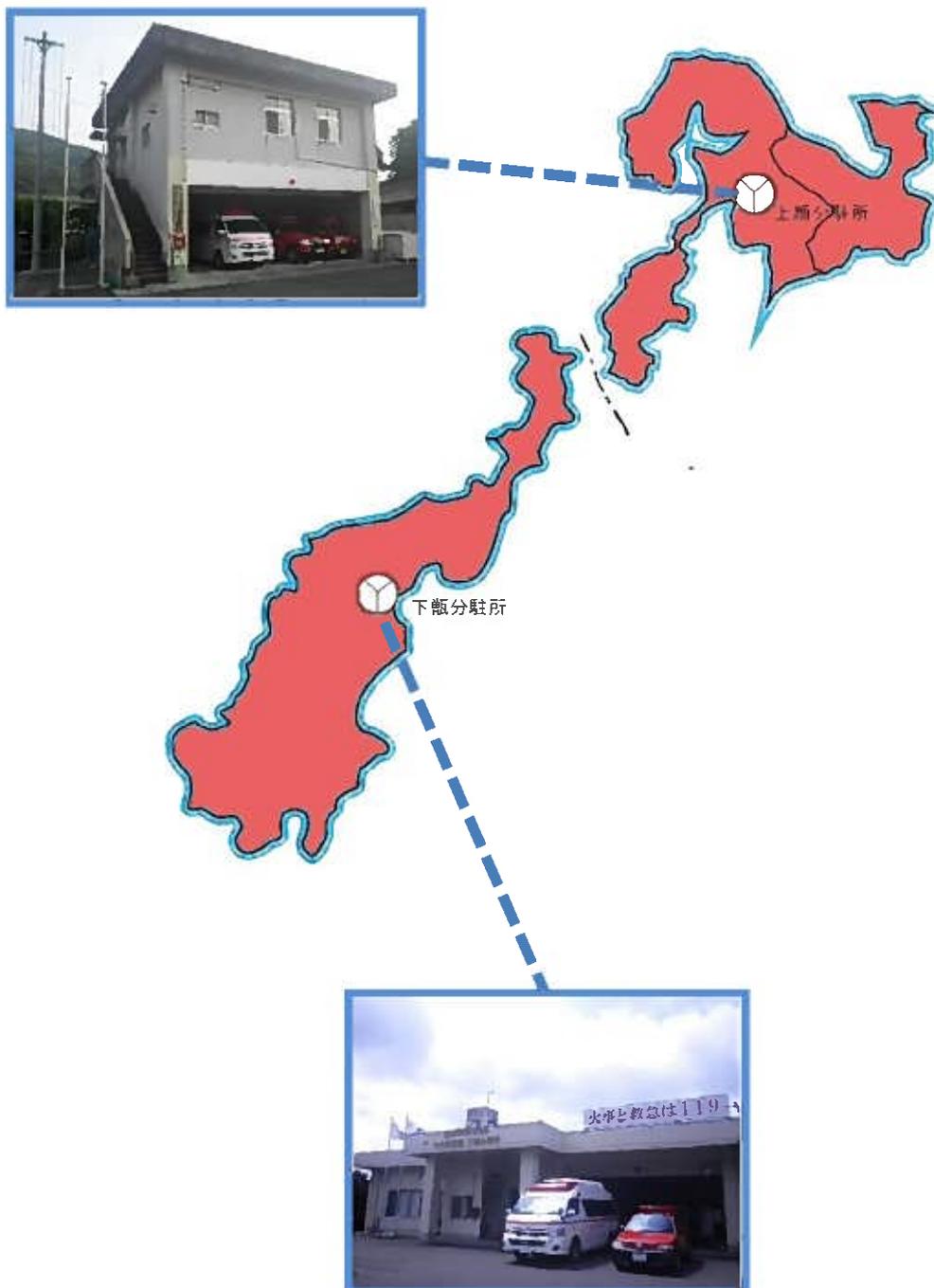
区分 名称	所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	構造	延面積 (m <sup>2</sup> )	完成年月日	電 話
消防本部・ 中央消防署	薩摩川内市中郷町 5031番地1	9,158	鉄筋コンクリート 造 3 階 建	4376.84	H 26. 3. 14	0996- 22-0119 (代表)
訓練主塔			鉄筋コンクリート 造 7 階 建	258.36	H 26. 7. 25	0996- 22-0124 (消防総務課)
訓練副塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	337.10	H 26. 5. 30	0996- 22-0125 (警防課)
訓練補助塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	56.00	H 26. 7. 25	0996- 22-0135 (予防課)
附属車庫 ・駐輪場			アルミ製	220.12	H 26. 6. 4	0996- 22-0143 (中央消防署)
南部分署	" 若松町 8番20号	565	鉄骨造 2 階 建	560.00	H 4. 3. 26	0996- 23-1360
上甌分駐所	" 上甌町中甌 481番地1	140	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	164.00	S 57. 2. 24	09969- 2-0377
上甌待機宿舎 1号・2号	" " 490番地5	227	"	124.00	S 57. 2. 23	
上甌待機宿舎 3号	" " 728番地	256	木造平屋	70.00	H 12. 3. 10	
下甌分駐所	" 下甌町長浜 913番地3	813	鉄筋コンクリート 造 平 屋 建	199.00	H 22. 2. 15	09969- 5-1057
下甌待機宿舎 3号	" " 187番地2	205	木造平屋	70.00	H 12. 3. 10	
下甌待機宿舎 4号	" " 670番地		※数棟農住宅地 の一部を使用 コンクリートブロック造 平 屋 建	50.00	S 48. 1. 20	
東部消防署	" 入来町浦之名 727番地2	5,008	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部5階)	543.00	S 58. 3. 18	0996- 44-3390
東部消防署 消毒室			木造平屋	19.00	H 19. 12. 7	
東部消防署 補助車庫			鉄骨造1階建	57.00	H 22. 12. 14	
祁答院分署	" 祁答院町下手 43番地1	1,378	鉄骨造2階建	423.00	H 17. 10. 28	0996- 21-8620
西部消防署	" 水引町 3397番地1	3,004	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	835.00	S 59. 3. 26	0996- 26-3524
西部消防署 消毒室			木造平屋	17.00	H 22. 3. 9	

# 【本土区域】

- 中央署管轄区域
- 東部署管轄区域
- 西部署管轄区域



## 【甌島区域】



#### 4. 消防大学校等入校-各種研修参加状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

機 関 名	研 修 科 目	研 修 期 間	人 員 (人)
消防大学校	消防大学校フォーラム及び特別講習会	平成29年11月30日	1
鹿児島県消防学校	第80期初任科	平成29年4月10日～平成29年9月28日	6
	第23期救急科	平成29年5月10日～平成29年6月29日	2
	換法審査員研修	平成29年7月16日～平成29年7月18日	8
	第3期救命士追加講習	平成29年7月31日～平成29年8月31日	4
	第4期救命士追加講習	平成29年10月2日～平成29年10月6日	3
	第22期救助科	平成29年10月18日～平成29年11月16日	3
	第12期中級幹部科	平成29年11月27日～平成29年12月6日	1
	第12期火災調査科	平成30年1月11日～平成30年1月25日	1
	第24期救急科	平成30年1月30日～平成30年3月23日	3
九州消防長会	九州地区警防実務研修会	平成29年12月11日～平成29年12月22日	1
鹿児島県消防長会	合同消防実務研修	平成29年10月6日	3
救急救命九州研修所	第35期救急救命士研修	平成29年9月4日～平成30年3月12日	1
薩摩川内地区 安全運転管理協議会	安全運転管理者等の法定講習	平成29年8月23日	4
川内市医師会立 市民病院	救急救命士気管挿管実習	平成29年6月20日～平成29年9月14日	1
		平成29年10月16日～平成29年12月22日	1
	ビデオ喉頭鏡による気管挿管実務研修	平成29年9月12日～平成29年10月13日	4
		平成29年10月10日～平成29年10月20日	1
		平成29年12月20日～平成29年12月28日	1
		平成30年2月13日～平成30年2月20日	1
D j i C a m p	無人航空機(ドローン)オペレーター養成講習	平成30年2月14日～平成30年2月15日 平成30年3月15日	3
公益財団法人 日本無線協会	第三級陸上特殊無線技士講習	平成29年6月20日	3
	主任無線従事者講習	平成29年6月23日、10月20日	3

### 5. 職員の階級別年齢状況

平成30年4月1日現在(単位:人)

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
18									
19							3		3
20							2		2
21							9		9
22							3		3
23							2		2
24						1	4		5
25						1	1		2
26						4	2		6
27						1	1		2
28						2			2
29					1	1			2
30					2	1			4
31					2	2			5
32					8				8
33					3				3
34					2				2
35					2				2
36					2				2
37				2					2
38					4			1	5
39					6				6
40				4	2				6
41				4	3				7
42				2					2
43				5					5
44				2					2
45				3					3
46				3					3
47				1					1
48				1					1
49				3					3
50			3	1					4
51			2						2
52			1	1					2
53			1	6					7
54			7	1					8
55			1						1
56		1	2	3					6
57		1	4		1				6
58	1	3	2						6
59		4	1						5
合計	1	9	24	42	40	13	27	1	157
平均年齢	58.0	58.1	54.4	46.3	35.6	27.5	22.1	38.0	39.8

## 6. 職員の勤続年数状況

平成30年4月1日現在(単位:人)

階級 年数	消防監	消防司長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
1年未満									
1～2							6	1	7
2～3							6		6
3～4							4		4
4～5							5		5
5～6							3		3
6～7							3		3
7～8						4			4
8～9						3			3
9～10						1			1
10～11						3			3
11～12					6	1			7
12～13					5	1			6
13～14					1				1
14～15				1	5				6
15～16				2	3				5
16～17					2				2
17～18					2				2
18～19									
19～20					3				3
20～21				3	3				6
21～22				1	4				5
22～23					4				4
23～24				2	1				3
24～25				7					7
25～26									
26～27				7					7
27～28				3					3
28～29									
29～30				2					2
30～31									
31～32									
32～33			1	4					5
33～34			3	2					5
34～35			2	3					5
35年以上	1	9	18	5	1				34
合計	1	9	24	42	40	13	27	1	157
平均年数	35.0	35.0	34.5	26.9	16.7	8.8	3.1	1.0	

## 7. 職員の配置状況

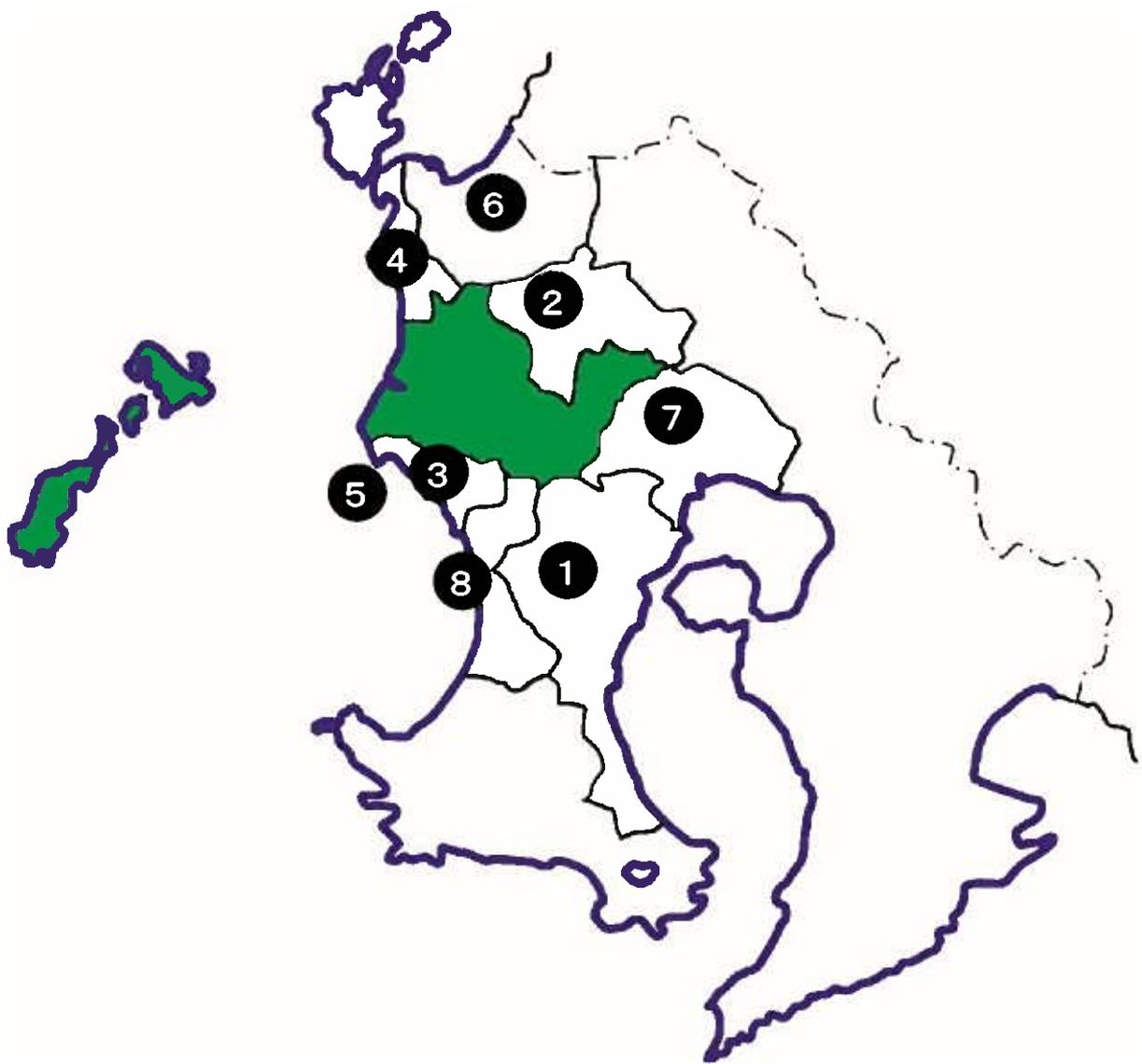
平成30年4月1日現在(単位:人)

所 属	区 分	計	消 防 職 員							
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
局	長	1	1							
次	長	1		1						
消	消防総務課	課 長	1	1						
		課 長 代 理	2		2					
		企 画 総 務 係	9				2		6	1
		施 設 装 備 係	2			1	1			
		小 計	14		1	2	1	3	6	1
防	警防課	課 長 代 理	1		1					
		警 防 救 急 係	1			1				
		消 防 団 係	2			2				
小 計	4			1	3					
本	予防課	課 長	1	1						
		課 長 代 理	1		1					
		予 防 調 査 係	2			2				
		危 険 物 係	1			1				
		小 計	5		1	1	3			
部	通信指令課	課 長	1	1						
		課 長 代 理	2		2					
		情 報 通 信 係	1			1				
		指 令 係	4			4				
小 計	8		1	2	5					
計	31		3	6	12	3		6	1	
消 防 署	中 央 消 防 署	42		1	6	10	10	5	10	
	南 部 分 署	19		1	2	6	4	4	2	
	上 郷 分 駐 所	6				1	5			
	下 郷 分 駐 所	6			1	1	4			
	東 部 消 防 署	20		1	4	5	4	2	4	
	祁 答 院 分 署	11		1	1	3	4	1	1	
	西 部 消 防 署	20		1	4	4	6	1	4	
	計	124		5	18	30	37	13	21	
合 計	157	1	9	24	42	40	13	27	1	

## 8. 薩摩川内市消防局相互応援協定

平成30年 4月 1日現在

番号	協 定 先 名	協 定 の 種 類	締 結 年 月 日
①	鹿 児 島 市 消 防 局	消 防 ・ 救 急	H16. 11. 1
②	さ つ ま 町 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 4. 1
③	い ち き 串 本 野 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 11. 18
④	阿 久 根 地 区 消 防 組 合	消 防 ・ 救 急	H18. 9. 1
⑤	串 本 野 海 上 保 安 部	船 舶 火 災	H16. 10. 12
⑥	出 水 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H18. 10. 1
⑦	始 良 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H22. 3. 23
⑧	日 置 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 11. 18
※	県 下 市 町 村 及 び 消 防 本 部	大 規 模 災 害 等	H18. 10. 25



## 9. 予算の比較

(単位：千円、%)

年次	一般会計予算	消防費	一般会計予算に対する割合
平成28年度	51,840,000	2,026,964 〔 1,620,256 〕	3.9% 〔 3.1% 〕
平成29年度	53,840,000	2,234,378 〔 1,639,026 〕	4.2% 〔 3.0% 〕
平成30年度	52,970,000	1,990,465 〔 1,699,840 〕	3.8% 〔 3.2% 〕

※〔 〕は、消防局所管予算

## 10. 消防費と人口の比較

区分	1世帯あたりの予算	1人あたりの予算
平成30年度一般会計予算額	1,155,062 円	554,184 円
うち消防費	43,404 円	20,825 円
うち消防局所管分	37,067 円	17,784 円

※平成29年4月1日現在の人口及び世帯数で算出

## 11. 消防費の内訳

(単位：千円)

区分	平成29年度予算額
消防局所管分	
常備消防費	1,390,226
人件費	1,196,886
臨時職員経費	3,161
報償費	318
旅費	7,725
需用費	83,208
役務費	8,710
委託料	68,750
使用料及び賃借料	3,680
備品購入費	10,615
負担金補助及び交付金	5,478
公課費	1,695
常備消防施設費	19,970
旅費・役務費	862
備品購入費・公課費	19,108
非常備消防費	201,062
非常備消防施設費	88,582
計	1,699,840
水防費	661
災害対策費	289,964
合計	1,990,465

12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

平成30年4月1日現在(単位:人)

種別	区分	消防							事務吏員	計
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
自動車運転免許	一 種	大型	1	9	24	42	39	12	4	131
		中型					2			2
		普通	1	9	24	42	40	13	27	157
		大型特殊			3	2	2			7
	二 種	けん引			1	1	1			3
		大型			4	8	5	2		19
	普通			1	7	4	1		13	
	自動二輪		2	14	24	25	5	2	72	
救急救命士			1	7	11	12	5	3	39	
応急手当指導員			2	9	9	2			22	
薬剤投与認定			1	6	9	4	4		24	
気管挿管認定			1	7	10	5	1		24	
自動車整備士3級						1			1	
移動式クレーン運転士						1			1	
小型移動式クレーン技能講習			4	14	16	4			38	
玉串技能講習			3	6	11	3			23	
消防設備士	甲種第4類			2		1	1		4	
	乙種第1類				1	3			4	
	乙種第2類				1	1			2	
	乙種第3類				1				1	
	乙種第4類	1		1	3	6	1		12	
	乙種第5類					2			2	
	乙種第6類					6	1		7	
	乙種第7類			1		1			2	
消防設備点検資格者	第1種			1					1	
	第2種			1					1	
危険物取扱者	甲種				1				1	
	乙種	第1類		4	1	1	12	3		21
		第2類		4	1	1	7	3		16
		第3類		4	3	1	7	3		18
		第4類	1	7	12	32	36	12	3	103
		第5類		4	2	1	7	2		16
		第6類		3	1	1	9	4	1	19
丙種			2	3				5		
陸上特殊	2級	1	3	4	1		1		10	
無線技師	3級		1	3	20	21	2		47	
第4級アマチュア無線技士			2	9	2				13	
電気工事士				3	3	5	1		12	
認定電気工事従事者						1			1	
毒・劇物取扱者			1			1			2	
ガス溶接技能講習				3	1	1			5	
アーク溶接特別教育				1	1				2	
ボイラー技師2級				1		1			2	
小型船舶	1級		2	4	1	1			8	
操縦士	2級		5	8	5	2			20	
潜水士			1	4	8	13	3		29	
車両系建設機械技能講習				2	6	6			14	
車両系建設機械技能講習(解体用)				2	3	3			8	
小型車両系建設機械技能講習			1	4	8	1			14	
測量士補					1				1	
石油機器技能管理士				2					2	
視覚教育指導者				2	1				3	
16mm映写技師		1		1	1				3	
宅地建物取引主任者			1						1	
特定化学物質作業主任者				3					3	
防火対象物点検資格者				1					1	
防災管理点検資格者				1					1	
予防技術資格者	防火巡察		1	3	6	12	3		25	
	消防用設備等		1	4	2	5			12	
	危険物	1	4	2		6			13	
防災士			3	2	1				6	

# III. 予防

1. 地域別火災発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分		地域別									
		川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島	計
火災件数(件)		29	11	4	2	10					56
火災種別	建物火災(件)	14	4	1	1	1					21
	林野火災(件)	1	2	1		2					6
	車両火災(件)	1		1							2
	船舶火災(件)										
	その他(件)	13	5	1	1	7					27
火災棟数	住家(件)	18	1	2		1					22
	非住家(件)	4	4	1	12						21
火災世帯数(世帯)		19	1	2		1					23
火災人員数(人)		46	4	6		2					58
焼失面積	建物	床面積(m <sup>2</sup> )	532	152	365	266	7				1,322
		表面積(m <sup>2</sup> )	91				11				102
	林野等(a)	1	3	4		18					26
死傷者	死者(人)	3	1	1		1					6
	傷者(人)	4									4
損害額	建物火災(千円)	27,820	1,765	14,866	1,559	70					46,080
	林野火災(千円)		8								8
	車両火災(千円)	15		126							141
	船舶火災(千円)										
	その他(千円)	1		180	1,496						1,677
	計(千円)	27,836	1,773	15,172	3,055	70					47,906

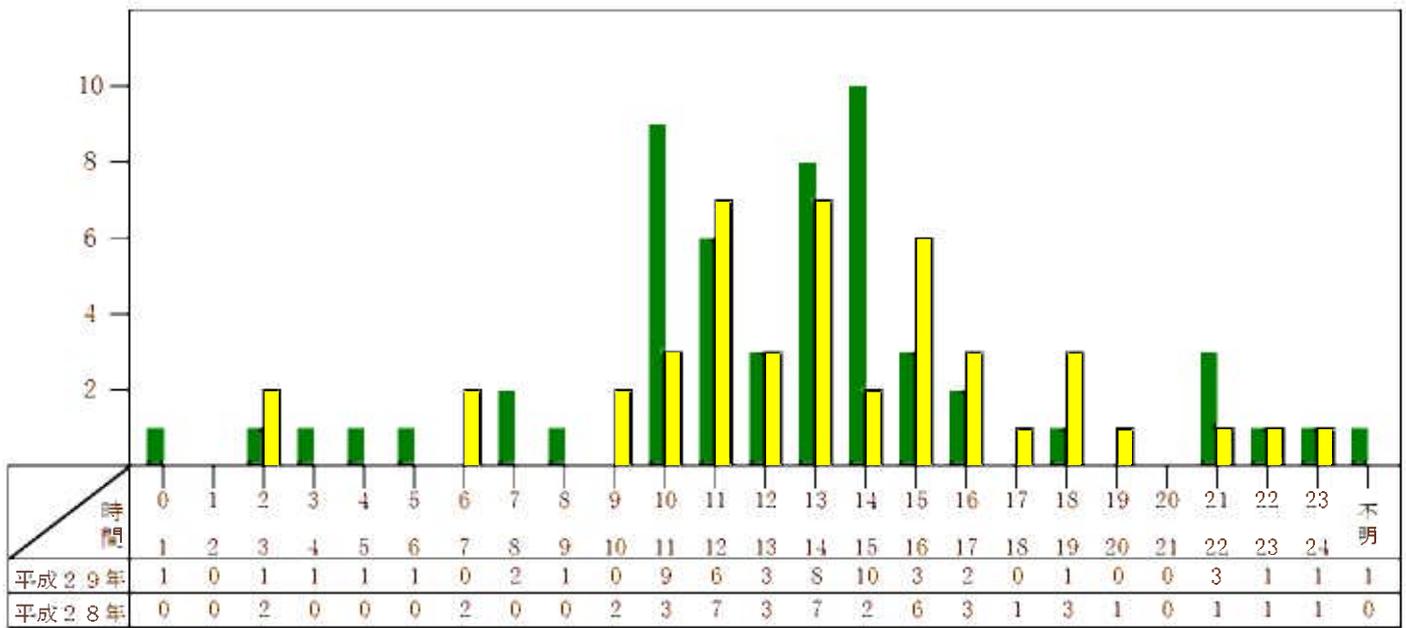
## 2. 月別火災発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分		月別												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災種別	建物火災 (件)	5	1		1	3	2	2	3		1	1	2	21	
	林野火災 (件)	1	2			2	1							6	
	車両火災 (件)		2											2	
	船舶火災 (件)														
	その他 (件)	2	6	4	3	4	4		2		1		1	27	
	計 (件)	8	11	4	4	9	7	2	5		2	1	3	56	
損害額	建物火災 (千円)	12,707	128		72	2,450	109	14,867	8,759		99	36	6,025	45,252	
	林野火災 (千円)		8											8	
	車両火災 (千円)		141											141	
	船舶火災 (千円)														
	その他 (千円)	828				1,496	1	180						2,505	
	計 (千円)	13,535	277		72	3,946	110	15,047	8,759		99	36	6,025	47,906	
焼損棟数	住家	全焼 (件)	1						1	1			1	4	
		半焼 (件)													
		部分焼 (件)	1	1				1					2	5	
		ぼや (件)	4						1	2		1	1	4	13
	非住家	全焼 (件)				1	13							1	15
		半焼 (件)								1					1
		部分焼 (件)													
		ぼや (件)					1	1	2					1	5
り災世帯数 (件)	6	1					1	2	3		1	2	7	23	
り災人員数 (人)	18	4					2	6	7		2	2	17	58	
死傷者	死者 (人)		2			1		1					2	6	
	傷者 (人)		1		1				1		1			4	
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	187			16	349	7	365	274		1	1	122	1,322
		表面積 (㎡)	1	26			1	11						63	102
	林野等 (a)	4	2			18	2							26	

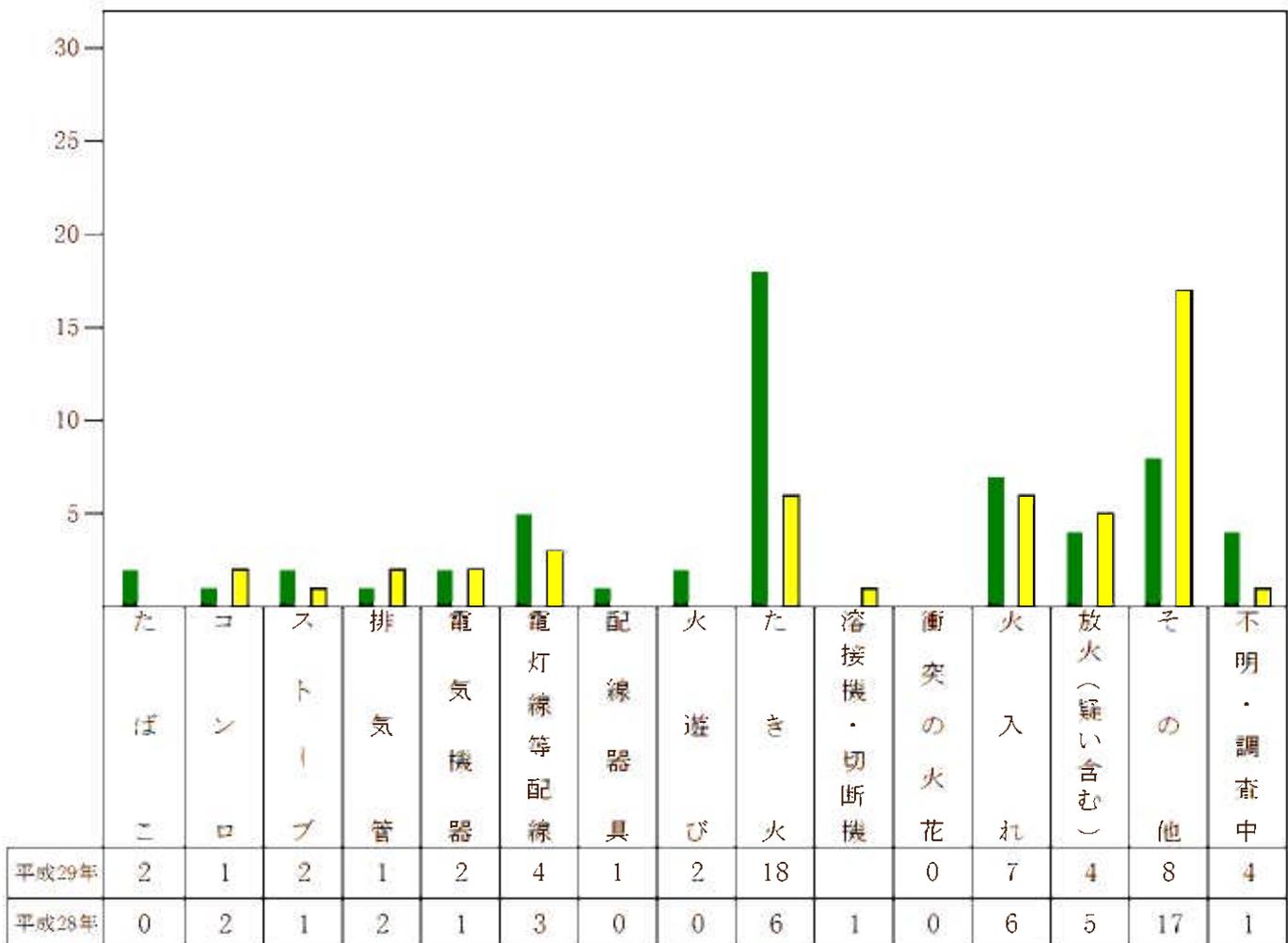
### 3. 時間別火災発生状況

平成29年 ■ 平成28年 ■

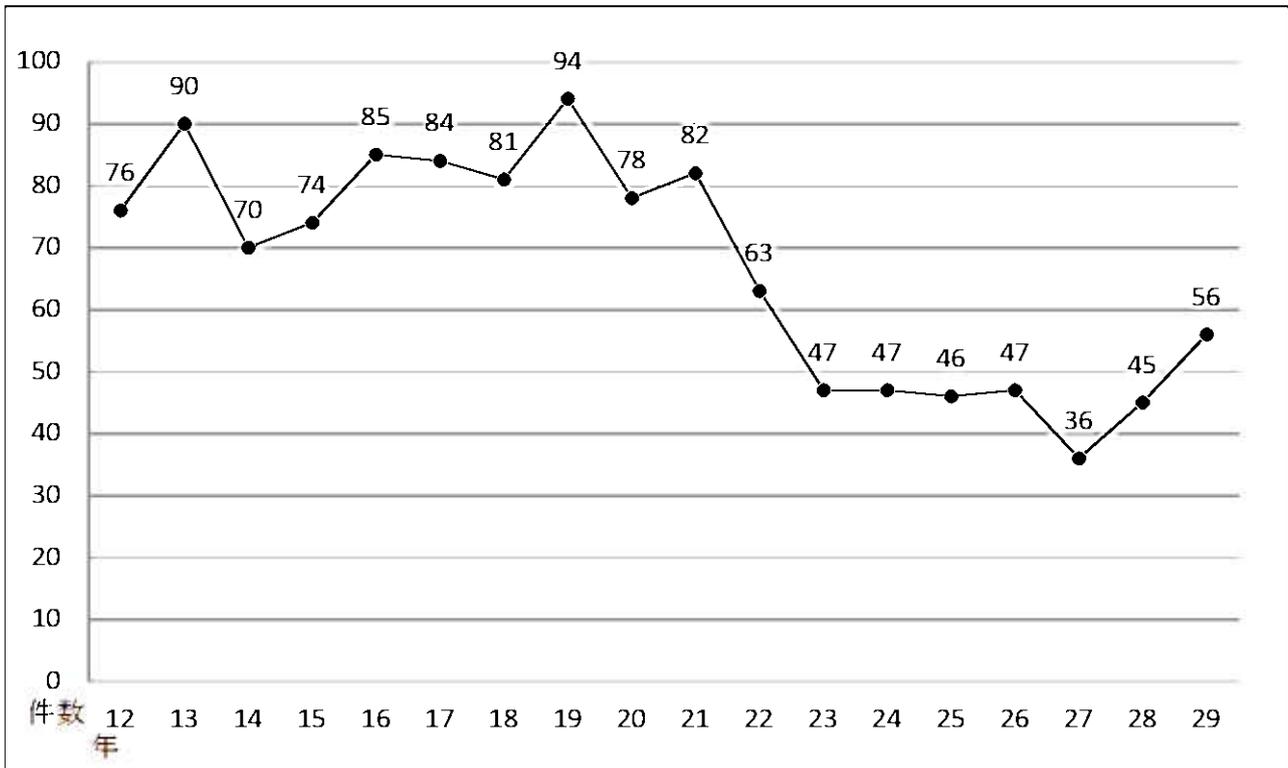


### 4. 原因別火災発生状況

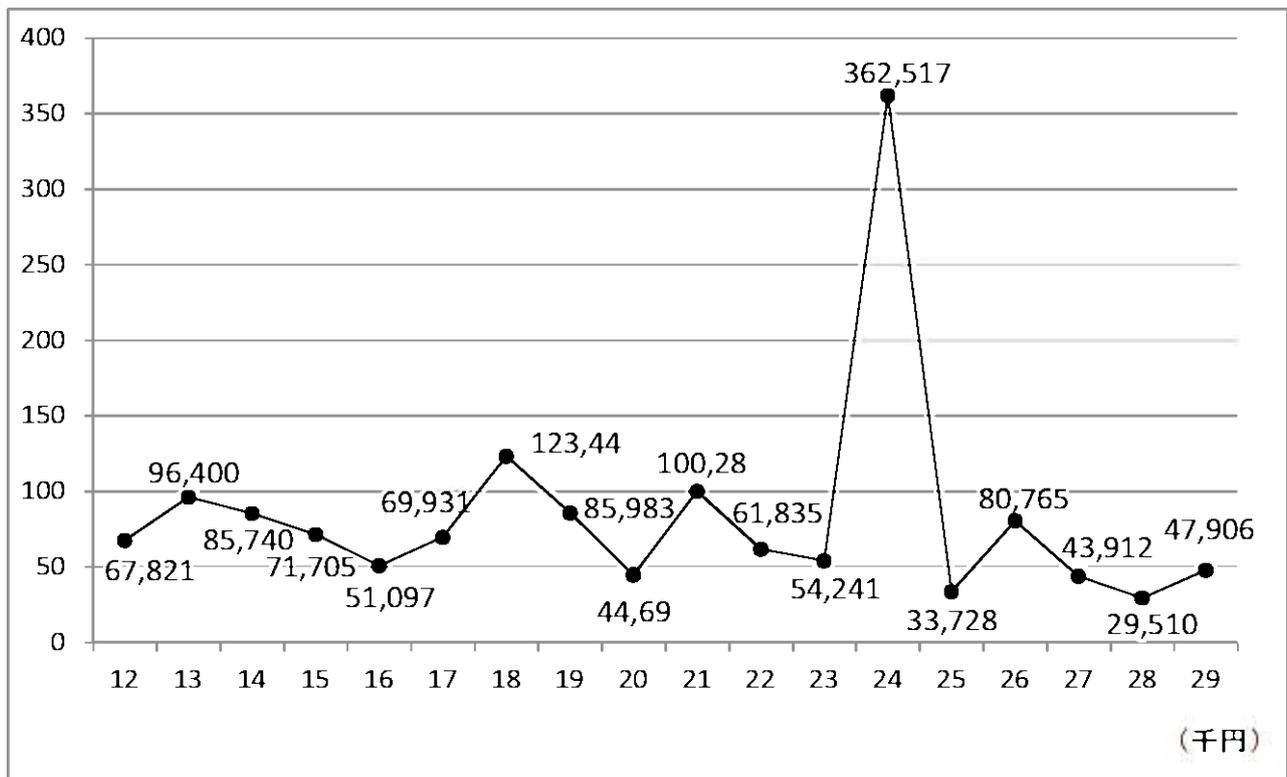
平成29年 ■ 平成28年 ■



### 5. 火災発生件数の推移



### 6. 火災損害見積額の推移



## 7. 防火対象物現況

平成30年4月1日現在

区分		署所		西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)				
1	イ 劇場・観覧場類	6					6
	ロ 公会堂・集会場類	16	5		3	1	25
2	イ キャンプ・ナイトクラブ類						
	ロ 遊技場・ダンスホール	18	1		1		20
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ カラオケボックス等	1					1
3	イ 待合・料理店類						
	ロ 飲食店	60	6	2	1	1	70
4	百貨店・物品販売店舗	131	17	5	2	4	159
5	イ 旅館・ホテル類	41	15	11	8	16	91
	ロ 寄宿舍・共同住宅類	834	46	5	23	30	938
6	イ 病院・診療所又は助産所	76	14	2	2	4	98
	ロ 老人短期入所施設等	44	16	5	4	4	73
	ハ 老人デイサービスセンター等	79	28	13	1	2	123
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	8	3	1	2	1	15
7	学校	144	39	11	10	15	219
8	図書館・博物館類	4	4	4		1	13
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場	2	4	4			10
10	車両の停車場			1	1	2	4
11	神社・寺院・教会類	26	10	8	4	7	55
12	イ 工場・作業場	348	129	73	11	9	570
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	42	14	12		1	69
	ロ 飛行機の格納庫						
14	倉庫	174	54	66	10	6	310
15	前各号に該当しない事業場	352	273	89	32	29	775
16	イ 前1～4・5イ・6・9イの存する 複合用途防火対象物	236	26	10	10	4	286
	ロ イに掲げるもの以外の複合用 途防火対象物	151	12	10	5	3	181
18	アーケード	5					5
計		2,798	716	332	130	140	4,116

## 8. 建築同意事務処理状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：件)

区分	署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
	新築		104	8	16
増築		17	2		19
改築					
移転		1			1
修繕					
模様替					
用途変更		3			3
その他					
合計		125	10	16	151

区分	署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
	建築申請通知(一般住宅)		363	25	6

9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

防火対象物の区分		防火対象物定期点検報告制度実施状況									
		該当数		点検報告済		特例認定済		一部点検済又は特例認定済		未実施又は特例認定申請中	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
1項	イ	1				1					
	ロ	15		1		12				2	
2項	イ										
	ロ	8		1		3				4	
	ハ ニ		1		1						
3項	イ										
	ロ	2	2	2	2						
4項		14		12		2					
5項	イ	5	4	2	3	1				2	1
	ロ	3	1	1		2					1
6項	イ										
	ロ										
	ハ ニ	1				1					
9項	イ										
16項	イ	15	7	1		8	2			7	5
16項の2											
合計		64	15	20	6	30	2			15	7

※1号とは、消防法施行令第4条の2の2の1号に定める人員300人以上のもの。

※2号とは、同第2号に定める特定1階段等防火対象物。

10. 中高層建築物一覧表

平成29年4月1日現在

階数	層別	消防署別						計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署	(含都答院分署)	西部消防署	上飯分駐所	下飯分駐所	
3	階	359		27	15	18	24	443
4	階	193		16	5			214
5	階	64		6	3		3	76
6	階	12		3	2	1		18
7	階	6						6
8	階	1						1
9	階	2						2
10	階	2						2
11	階	2						2
12	階	1						1
13	階	1						1
14	階	1		1				2
15	階	2						2
合計		646		53	25	19	27	770

11. 諸届出書の処理状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

区分	署所	件数						合計
		(含南部分署) 中央消防署	東部消防署	祁答院分署	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	
確翠川内市火災予防条例関係	防火対象物使用開始届出書	51	7	1	5	2		66
	炉・厨房設備・ボイラー等設置届出書	12		3	1	1		17
	発電・変電・蓄電池設備設置届出書	43	7	2	12	3		67
	ネオン管灯設備設置届出書							
	水素ガスを充てんする気球の設置届出書							
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出書	148	140	69	35	8	4	404
	煙火打上・仕掛け届出書	49	12	12	2	3		78
	催物開催届出書	5	4		8		1	18
	水道断水届出書	2	3	1	1			7
	道路工事届出書	405	87	35	44	46	25	642
	露店等の開設届出書	94	35	8	10	5	9	161
	指定洞道等設置届出書							
	少量危険物・指定可燃物貯蔵届出書	15	1		5			21
	小計	824	296	131	123	68	39	1,481
消防法関係	液化石油ガス等の貯蔵又は取扱い届出書	30	3	1	6	2	1	43
	消防用設備等着工届出書	115	20	6	15	1	6	163
	消防用設備等設置届出書	251	49	7	26	10	16	359
	防火管理者選(解)任届出書	139	20	16	8	6	13	202
	消防計画作成(変更)届出書	156	22	18	9	7	11	223
	小計	691	114	48	64	26	47	990
総計	1,515	410	179	187	94	86	2,471	

12. 予防査察実施状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：件)

区分		署所					計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含都答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	
1	イ 劇場・観覧場類	3					3
	ロ 公会堂・集会場類	1	3				4
2	イ キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ 遊技場・ダンスホール	2	1				3
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店類						
	ロ 飲食店	1	4	2		1	8
4	百貨店・物品販売店舗	15	10		1	2	28
5	イ 旅館・ホテル類	36	12	9	11	26	94
	ロ 寄宿舎・共同住宅類	25		1	1	9	36
6	イ 病院・診療所又は助産所	39	9	1			49
	ロ 老人短期入所施設等	44	13	5	4	3	69
	ハ 老人デイサービスセンター等	12	20	5			37
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	8					8
7	学校	128	14	8			150
8	図書館・博物館類	3					3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ イに掲げるもの以外の公衆浴場		2	1			3
10	車両の停車場				1		1
11	神社・寺院・教会類		1				1
12	イ 工場・作業場	5	26	28			59
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	3	2				5
	ロ 飛行機の格納庫						
14	倉庫	4	13	8			25
15	前各号に該当しない事業場	2	34	15	26	5	82
16	イ 前1～4・5イ・6・9イの存する複合用途防火対象物	28	10	1	3		42
	ロ イに掲げるもの以外の複合用途防火対象物	6	2	2	1	1	12
計		365	176	86	48	47	722

13. 地域別危険物施設現況

平成30年3月31日現在

区分		地域										
		川内	樋脇	大来	東郷	祁答院	里	上甑	下甑	鹿島	合計	
製造所		2										2
貯蔵所	屋内貯蔵所	22	1			2		2	5	1		33
	屋外タンク貯蔵所	45	5	9	3		6	9	7	2		86
	屋内タンク貯蔵所	3	1	1					1			6
	地下タンク貯蔵所	49	6	2	4	4	1	1	4			71
	簡易タンク貯蔵所											
	移動タンク貯蔵所	34	7	5	3	1	5	3	7			65
	屋外貯蔵所	2				1			3			6
	計	155	20	17	10	8	12	15	27	3		267
取扱所	給油取扱所	63	9	10	5	8	3	6	8	2		114
	移送取扱所	3						1				4
	一般取扱所	65	4	2	3	2	1	8	7			92
	第一種販売取扱所	1										1
	第二種販売取扱所	1										1
	計	133	13	12	8	10	4	15	15	2		212
合計		290	33	29	18	18	16	30	42	5		481

14. 危険物施設の数量及び類別状況

平成30年3月31日現在

施設区分		数量別							類別									
		5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1,000倍以下	1,000倍を 超えるもの	計	単独						混在	計
											第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
製造所		1		1					2				2					2
貯蔵所	屋内貯蔵所	15	10	4	1	1	1	1	33				30				3	33
	屋外タンク貯蔵所	16	17	33	3	3		10	86				85			1		86
	屋内タンク貯蔵所	5	1						6				6					6
	地下タンク貯蔵所	37	11	14	1	3		5	71				71					71
	簡易タンク貯蔵所																	
	移動タンク貯蔵所	50	7	6	2				65				64			1		65
	屋外貯蔵所	2	3	1					6				6					6
	計	125	49	58	7	7	1	16	4	267				262		2	3	267
取扱所	給油取扱所	11	9	42	19	9	9	15	114				114					114
	移送取扱所						1	2	4				4					4
	一般取扱所	36	12	25	10		3	4	92	1			86			5		92
	第一種販売取扱所			1					1				1					1
	第二種販売取扱所			1					1				1					1
	計	47	21	69	29	9	13	21	3	212	1			206			5	212
合計	173	70	128	36	16	14	37	7	481	1			470		2	8	481	

15. 危険物施設の許可等処理状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位：件)

施設区分		種別		完成検査		承認			廃止届
		設置	変更	設置	変更	仮貯蔵	仮取扱	仮使用	
製造所									
貯蔵所	屋内貯蔵所			1					1
	屋外タンク貯蔵所	1	1						2
	屋内タンク貯蔵所								
	地下タンク貯蔵所	6		2					1
	簡易タンク貯蔵所								
	移動タンク貯蔵所	1	7	3	6				4
	屋外貯蔵所					35	3		2
	計	8	8	6	6				10
取扱所	給油取扱所		6		6			5	1
	移送取扱所								
	一般取扱所	1	9		10			8	4
	第一種販売取扱所								
	第二種販売取扱所								
	計	1	15		16			13	5
合計		9	23	6	22	35	3	13	15

16. 危険物施設の立入検査実施状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設区分		項目	検査施設数	延回数
製造所			3	3
貯蔵所	屋内貯蔵所		16	16
	屋外タンク貯蔵所		23	23
	屋内タンク貯蔵所		2	2
	地下タンク貯蔵所		13	13
	移動タンク貯蔵所		60	60
	屋外貯蔵所		4	4
	計		118	118
取扱所	給油取扱所		90	90
	移送取扱所		2	2
	一般取扱所		22	22
	第一種販売取扱所			
	第二種販売取扱所			
	計		114	114
合計			235	235

# IV. 敬防

## 1. 消防水利状況

平成30年4月1日現在

地域名	消 火 栓		防 火 水 槽				その他	
	総 数	格納箱	総 数	40t以上	40t未満	有 蓋		無 蓋
川 内	1,673		466	159	307	466		28
樋 脇	247	217	76	72	4	76		4
入 来	179	131	61	39	22	60	1	5
東 郷	102		105	100	5	104	1	2
祁 答 院	83	58	109	57	52	109		6
里	43	5	31	28	3	31		3
上 甑	80	74	20	19	1	20		6
下 甑	97	83	44	37	7	44		12
鹿 島	19	17	11	9	2	10	1	2
合 計	2,523	585	923	520	403	920	3	68

※ 「その他」は、プール・自然水利等

※ 防火水槽の「無蓋」について

入来町朝陽村尾：全面フェンス被服処置あり

東郷町斧淵司野上：四面フェンス処置あり

鹿島町藪牟田7区：四面フェンス処置あり

2. 消防車両等の概要

平成30年4月1日現在

番号	所属	車両名	車種	登録番号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	メーカー等	備考	
1	消防本部	指令車	ニッサン	鹿児島 800 す 6427	27	3	2,490	2,005	498	184	173			
2		連絡車Ⅰ(軽)	ニッサン	鹿児島 480 て 4980	26	4	650	1,350	339	147	179			
3		連絡車Ⅱ	三菱	鹿児島 800 さ 5843	15	15	1,340	1,335	387	168	174			
4		ミニ運動車(軽)	マツダ	鹿児島 43 け 3385	14	16	650	1,170	339	147	179			
5		資機材搬送車Ⅰ	三菱	鹿児島 800 さ 1895	12	18	5,240	7,965	669	212	266		クレーン付	
6		資機材搬送車Ⅱ	いすゞ	鹿児島 46 の 4063	6	24	4,330	4,715	469	169	195			
7		災害調査車	クライスラー	鹿児島 800 す 1013	16	14	3,950	1,860	391	174	193			
8		小型バス	日野	鹿児島 200 さ 1647	28	2	4,000	5,485	699	203	258		乗車定員:29人	
9		コンテナ車	トヨタ	鹿児島 11 ぬ 607	7	23	2,770	3,425	478	180	246			
10		予備ポンプ車(旧 西方)	三菱	鹿児島 88 す 9513	10	20	4,560	4,200	544	190	245	日本ラインメカニカル	A-2	
11		旧上置連絡車	三菱	鹿児島 88 す 9480	10	20	3,490	2,645	475	177	217			
12	警防	本部指揮車	トヨタ	鹿児島 800 す 7009	27	3	2,690	2,690	338	188	248	日本ラインメカニカル		
13		警防連絡車Ⅰ	トヨタ	鹿児島 800 さ 2250	12	18	2,990	2,190	478	179	196			
14		警防連絡車Ⅱ	トヨタ	鹿児島 88 す 9533	10	20	2,430	2,110	469	169	195			
15		タンク車Ⅱ(旧西部)	日野	鹿児島 800 は 84	11	19	7,960	9,440	702	224	276	日本ラインメカニカル	A-2	
16	支援救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 8836	18	12	3,370	2,625	539	180	246				
17	予防	予防指揮車(軽)	三菱	鹿児島 880 あ 1459	26	4	650	1,430	339	147	194			
18		火災原因調査車	ニッサン	鹿児島 800 す 7010	27	3	1,990	3,275	474	169	215			
19		訓練指揮車	マツダ	鹿児島 88 す 8047	9	21	2,180	2,365	450	175	248			
20	中央消防署	指揮車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3528	13	17	2,360	1,875	457	181	191			
21		ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9737	19	11	4,000	5,015	567	188	275	日本ラインメカニカル	A-2	
22		タンク車	日野	鹿児島 800 は 1994	30	0	5,120	10,780	732	235	302	小川ポンプ工業	A-2	
23		梯子車	日野	鹿児島 800 は 1469	25	5	8,860	20,290	1,145	249	333	モリタ	A-2	
24		救助工作車	日野	鹿児島 800 は 496	14	16	7,960	9,460	760	230	330		30m級	
25		高規格救急車Ⅰ	トヨタ	鹿児島 800 す 7724	29	1	2,690	3,195	365	189	249			
26		高規格救急車Ⅱ	トヨタ	鹿児島 800 さ 7565	16	14	3,370	3,045	363	180	232			
27		南部	連絡車(軽)	スバル	鹿児島 880 あ 590	20	10	650	1,410	339	147	197		
28			タンク車	日野	鹿児島 800 は 1690	27	3	6,400	10,010	727	228	286		
29			高所放水車	日野	鹿児島 800 は 1222	22	8	8,860	16,640	905	249	362	モリタ	A-1
30	上飯	高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 3307	26	4	2,690	3,175	363	189	249			
31		連絡車	三菱	鹿児島 880 あ 1618	25	2	650	1,390	339	147	196			
32	下飯	普通救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 3351	26	4	2,690	3,165	362	189	249			
33		ミニ運動車(非常用 旧泉之清)	スズキ	鹿児島 80 あ 599	5	25	650	1,180	329	139	196			
34		連絡車	三菱	鹿児島 880 あ 1934	30	0	650	1,370	339	147	195			
35		普通救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 3758	24	6	2,690	3,165	362	189	249			
36		予備救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3771	13	17	3,370	2,895	559	180	248			
37	ミニ運動車(非常用 旧支所部)	三菱	鹿児島 80 あ 654	6	24	650	1,250	329	139	193				
38	東部消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 800 す 8444	30	0	1,490	1,505	441	169	170			
39		タンク車	日野	鹿児島 800 は 1282	22	8	6,400	9,450	668	230	280	日本機械工業	A-2	
40		タンク車Ⅱ(旧中央)	日野	鹿児島 800 は 500	14	16	7,960	9,520	707	224	280	日本機械工業	A-2	
41		電源照明車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2024	12	18	4,160	3,150	499	194	279			
42		高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 2008	21	9	2,690	3,205	362	189	249			
43		指揮車(軽)	ニッサン	鹿児島 880 あ 151	18	12	650	1,030	339	147	173			
44	都賀院	タンク車	日野	鹿児島 800 は 831	17	13	6,400	9,420	669	220	280	小川ポンプ工業	A-2	
45		高規格救急車	ニッサン	鹿児島 800 す 6744	27	3	3,490	3,275	366	190	250			
46	西部消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 800 す 8450	30	0	1,490	1,515	441	169	170			
47		タンク車	日野	鹿児島 800 は 1383	24	6	6,400	9,810	715	229	284	日本ラインメカニカル	A-2	
48		大型化学車	日野	鹿児島 800 は 1261	22	8	8,860	14,520	865	249	315	モリタ	A-1	
49		原液搬送車	日野	鹿児島 800 は 1307	23	7	7,680	12,750	683	244	285	モリタ		
50	高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 4384	24	6	2,690	2,695	362	189	249				

【秘密省消防庁無償貸与車両等】

番号	所属	車両名	車種	登録番号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	メーカー等	備考
1	消防本部	支援車Ⅰ型	日野	鹿児島 800 は 1276	22	8	12,910	19,620	1,100	249	355	日本ラインメカニカル	
2		資機材搬送車	日野	鹿児島 800 は 1486	25	5	7,680	19,915	1,153	249	318	帝國機械	
3		燃料供給車	三菱	鹿児島 800 す 4352	24	6	2,990	4,035	468	169	222	第一工業	
4		建設機械(5トン級)	コマツ		24	6	2,189	5,630	5,570	1,060	2,630	コマツ	バケット0.16m <sup>3</sup>

3. 救急、特殊資機材等の装備状況

平成30年4月1日現在

種別	配置場所	本部	中央消防署					東部消防署		西部消防署	合計	
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署	那答院分署			
ホース	75 mm ホース											
	65 mm ホース		103	61		21	185	79	55	84	403	
	50 mm ホース			1			1	9	9	14	33	
	50 mm ホース(50mm金具)		38	19			57	31	16	21	125	
	40 mm ホース		15	5			20	9	4	8	41	
消	東消式 フォグガン			1		1	2	2	1	1	6	
	無反動ノズル		1				1			1	2	
	可変噴霧ノズル		2	7			9	5	4	6	24	
	フォームジェット L X			3			3			1	4	
	フォームジェット M X			2			2				2	
	クオドラフォグノズル(YONE)		2	2			4			1	5	
	デュアルマチックノズル(YONE)		5	4			9	2	1	3	15	
	エアフォームノズル									2	2	
	プロジェクトガン											
	ピックアップ式ノズル			1	1		2	2	1		5	
	ラインプロポーションナー									1	1	
	東消式簡易発泡器									1	1	
用	異型金具(φ75×φ65)									3	3	
	異型金具(φ65×φ50)		3	4			7	3	1	2	13	
	異型金具(φ65×φ40)		2	3			5	4	1	2	12	
	異型金具(φ50×φ65)		1				1	2	1	1	5	
	異型金具(φ50×φ40)		2	3			5	3	1	2	11	
	異型双口金具(φ65×φ40×φ40)											
	異型双口金具(φ50×φ40×φ40)											
	双口金具		1	4		2	7	4	1	3	15	
	マルチ双口金具(φ65×φ50)		3	2			5	3	1	3	12	
	ディスクストレナー		1	1			2	1	1	1	5	
	クイックキャッチャー		2	1			3	1	1	1	6	
	器	消火栓ハンドル		3	3	1	1	8	4	3	4	19
消火栓スタンド			2	3		1	6	3	2	3	14	
消火栓丸蓋オープナー			1	2	1	4	8	4	1	2	15	
ホースブリッジ(組)			2	3			5	2	5	3	15	
具		ダイナージェット										
		排煙機(スーパーバック含)	2						1			3
		折りたたみ梯子					1	1				1
		かぎ付一連梯子		3	3			6	2	1	2	11
		二連梯子		1				1				1
		三連梯子		2	1		1	4	2	1	1	5
		金属製フイヤー梯子		1				1				1

配置場所	種別	単 位	中 央 消 防 署					東 部 消 防 署		西 部 消 防 署	合 計
			本 署	南 部 分 署	上 飯 分 駐 所	下 飯 分 駐 所	小 計	本 署	和 倉 院 分 署		
火	防 火 衣	32	42	19	6	6	73	20	11	20	156
	耐 熱 服		1	3			4			3	7
	耐 熱 手 袋		1				1			3	4
	耐 熱 服 ( 上 ・ 下 )		1				1				1
	耐 熱 衣 服 手 袋 ( 双 )		5	10	2	2	19	5	2	5	31
	耐 熱 衣 長 靴 ( 足 )		2	1	2	2	7	1	1	1	10
	防 毒 衣		2				2				2
衣	化 学 防 護 服		2				2			4	6
	放射線防護服(アノラック型)	900	10	50	3	3	66	45	50	91	1155
	放射線防護服(タイベック型)	1794		50			50	59	50	62	2015
携 帯 用 容 器 器 ( ス ー パ ー バ ス )		16	3			24	3	3	3	33	
ガ ス 漏 れ 緊 急 作 業 用 具			3	1			4				4
山 林 火 災 用 器 具	ジ ニ ッ ト シ ュ ー タ ー		9	6	9	7	31	11	3	9	59
	節 水 水 槽		2	1	1		4	2	2	1	9
	チ ニ ー ソ ン ー		3	3		2	3	3	2	2	15
	レ ス キ ュ ー リ ー										
	エ ッ ジ チ ニ ー ソ ン ー		1				1				1
	ナ タ		5	4	2	2	13	4	3	2	22
	カ マ		4	5	4	2	15	7	1	2	25
	造 林 鎌		4	5	2	4	15		1	2	19
	大 斧		2	3			5	2	1	2	10
	リュックサック(ナタ、鋸、造林鎌、山ダワ)		1				1		1	2	4
呼 吸 用 器 具	社 員 酸 素 呼 吸 器 一 式		5				5				5
	空 気 呼 吸 器 一 式		26	12	2	4	44	6	3	11	64
	酸 素 呼 吸 器 用 ( 酸 素 ポ ン プ 1 . 5 )		3				3				3
	空 気 呼 吸 器 用 ( 9 型 )		12				12			10	22
	空 気 呼 吸 器 用 ( 8 型 )		56	31	3	6	101	22	13	17	153
	空 気 呼 吸 器 用 ( 6 型 )		1				1				1
	空 気 呼 吸 器 用 ( 4 型 )		26	4			30	3	3	3	39
	予 備 面 体		64	11	2	4	31	6	2	9	93
	防 塵 マ ス ク		12	4			16	4	6	4	30
	T S 式 面 体	653	42	19	6	6	73	20	11	20	777
防 護 マ ス ク ( 国 産 与 救 急 隊 員 用 )		5		3	3	11	3		3	17	
防 護 マ ス ク ( 国 産 与 ア ヲ パ ン テ ー ジ 3100 )		5				5				5	

配置場所	種別	本部	中央消防署				東部消防署		西部消防署	合計	
			本部署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本部署			和谷院分署
救	救命索発射銃 (M-3型)		1				1	1	1	3	
	救命索発射銃 (MS-30型)				1	1	2			2	
	救命索発射銃 (M-63型)		1				1			1	
	エンジンカッター		2	2	2	1	7	1	1	10	
	ガス溶断機		1				1			1	
	アークエアー溶断機		1				1			1	
	エアソー		2				2	2	1	5	
	エアツール										
	エアカッター (エアハンマー)		1				1			1	
	鉄線カッター (ボルトクリッパー)		4	1	1		6	2	2	12	
助	鉄筋カッター		2				2			2	
	スパカッター		1				1			1	
	ベダルカッター		1				1			1	
	リングカッター		4		1	2	7	2	3	14	
	防塵カッター				1		1			1	
	レシプロソー		1				1			1	
	ガラスマスター (ガラスソー)		4	1	1	1	7	1	2	11	
	大型油圧スプレッダー (エンジン付)		1	1	1	1	4	1	1	7	
	大型油圧切断機 (エンジン付)		1	1	1	1	4	1	1	7	
	油圧スプレッダー (充電式:オグラ製)		1				1			1	
用	油圧カッター (充電式:オグラ製)		1				1			1	
	ドアオープナー		1				1			1	
	油圧ジャッキ (ポートパワー)		1				1			2	
	大型油圧ジャッキ (ラムシリンダー・エンジン付)		1				1	1	1	3	
	救助用支柱器具 (レスキューショア)		1				1			1	
	マット型空気ジャッキ		6				6	4		10	
	手動ミニマット (1t, 3t, 6t)		3				3			3	
	スーパーミニマイティバック		1				1			1	
	可搬ウインチ (チルホール) 1600kg・20m		2				2	2	1	2	7
	器	削岩機 (エンジン付)		2				2			2
ハンマードリル			2				2			2	
ロータリーハンマードリル			1				1			1	
携帯用コンクリート破壊器具					1		1			1	
パ			8	2	2	1	13	3	4	3	23
大型ハンマ			3	3		1	7	3	2	2	14
カケヤ			3	1			4	2	1	3	10
ツルハシ			1				1	4	1	2	8
弁慶斧			5	1	2		8	2	3	3	16
具		スコップ (丸)		7	3	1	5	16	5	6	8
	スコップ (角)		1	1	3	2	7	3		1	11
	マンホール救助器具 (ロールグリス)		2				2			2	
	スローダン (緩降機)		3	3			6			6	
	平担架・バスケットストチャー		3	4	1	1	9	1	1	1	12
	クレーン用バスケット (ゴンドラ)		1				1	1		2	

平成30年4月1日現在

配置場所	種別	本部	中央消防署				東部消防署		西部消防署	合計	
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署	祁答院分署		
救	滑車 ( W )		2				2	1	1	2	6
	滑車 ( S )		4	1			5	1	1		7
	軽量滑車 TR3000		5	1	2	3	11	2	2	2	17
	J字ボルト ( 大 )		1				1	3		2	6
	J字ボルト ( 中 )		8	3			11	2	3	5	21
	J字ボルト ( 小 )		5		1		6	2		2	10
助	カラビナ D 型										
	カラビナ O 型 ( 大 )		4				4	1		1	6
	カラビナ O 型 ( 中 )		8	2			10			2	12
	カラビナ O 型 ( 小 )		45	19	17	23	104	15	22	22	163
用	縛帯(サーバイバ・救助用・マンホール用)		6	2			8	4	2	2	16
	安全帯 ( ライフベルト )		21	11	5	5	42	6	3	3	54
	ロープ登はん器		4	1			5	1	1		7
	救助幕		1				1				1
	空気式救助マット		1				1				1
	浮環		10	1	1	2	14	1	3	2	20
	浮標	2									2
	スバリ		27				27	10		13	50
	舟艇 ( アルミ製定員 8 名 )		1				1				1
	舟艇 ( グラスファイバー製定員 4 名 )		1				1				1
具	船外機 ( 2 0 P )		1				1				1
	船外機 ( 1 5 P )		1				1				1
	救命胴衣	20	41	15	5	8	69	10	10	11	120
	潜水用具一式 ( アクアラング )	10	3				3				13
	空気ポンベ ( 潜水用具 )	25									25
	水中無線機	1									1
	水中投光器	1									1

◆ 無人航空機(ドローン)

平成30年4月11日 運用開始

資器材名等	保管・管理	数量	備 考
マトリス210 (災害用)	警防課	1	赤外線カメラ・物件投下器具搭載可
ファントム プロ (調査活動用)		1	物件投下器具搭載可
ファントム アドバンス (訓練用)		1	＃
画像転送装置一式		1	PC・画像変換器・通信器具(Wi-Fi)
操縦者		6	各課署配置

種別 配置場所		本部	中央消防署					東部消防署		西部消防署	合計	
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署	祁答院分署			
救	発	携帯用(3700W)けすぞうくん		1				1			1	
		携帯用(2300W)エアーテント		1				1			1	
	電	携帯用(2000W)	1					1			1	
		携帯用(1600W)	3	3				6	1	1	2	10
		携帯用(1200W)		1				1	1			2
		携帯用(900W)けすぞうくん		1				1				1
		携帯用(900W)							1			1
		携帯用(550W)									2	2
		携帯用(400W)				2	2	4				4
助	機	携帯用(3000W)										
	投	携帯用(10000W)		1				1	1		2	
	光	携帯用(5000W)	2	3				5	2	1	2	10
		携帯用(3000W)	2	1	2	1	6				1	7
		携帯用(2500W)		1			1					1
器	携帯用(2000W)	2			1	3			1	4		
用	コ	ード	6	5	2	1	14	3	4	3	24	
	リ											
	ー											
	ル											
	強	カ	3				3	1	2	3	9	
	ラ	イト	2	2	1		5				5	
	(	電	3		1	2	6	1		1	8	
	池	4										
	ヶ	入	2	1	2		3				5	
	)	携										
	帯	投	2	1	2		3				5	
	光	器		3			3				3	
	メ	タ										
	タル	ハ										
	ラ	イ										
	イ	ド										
	ア	ッ										
プ	ラ											
ラ	イ											
イト												
器	ワ	イ	3				3	1			4	
	ィ	ャ	2				2				2	
	ー	(	1				1				1	
		φ	2				2				2	
		9	1				1	1			2	
		×						1		2	3	
		3	1				1	1			2	
		m						2			2	
		)							1	2	3	
		2	1				1				1	
		×	1	1		1	3				3	
		3	2				2	1	1		4	
		m	2	1			3		2	1	6	
		)						1		1	2	
		1										
	4	1				1				1		
	×											
	5								1	1		
	m											
	)											
	1											
	8											
	×											
	5								1	1		
	m											
	)											

配置場所	種別	本 部	中 央 消 防 署					東部消防署		西 部 消 防 署	合 計
			本 署	南 部 分 署	上 飯 分 駐 所	下 飯 分 駐 所	小 計	本 署	祁 答 院 分 署		
救 助 用	ロープ (φ12×200m)										
	ロープ (φ12×100m)		1				1				1
	ロープ (φ12×70m)		1		2		3				3
	ロープ (φ12×60m)							1			1
	ロープ (φ12×50m)		3			1	4	3	1	1	9
	ロープ (φ12×40m)		2		4		6	1	1	1	9
	ロープ (φ12×30m)		7	4	2	4	17	5	4	3	29
	ロープ (φ12×20m)		6	3	2	1	12	3	5	3	23
	ロープ (φ12×15m)					1	1				1
	ロープ (φ12×10m)			1		4	5				5
	トラロープ (100m)		1		2	2	5			1	6
	トラロープ (70m)										
	器 具	トラロープ (60m)		1				1			
トラロープ (50m)								1		1	2
トラロープ (40m)				1	1		2				2
トラロープ (30m)			2	1		1	4		1	1	6
トラロープ (20m)			2		1		3	1			4
トラロープ (10m)									1	4	5
繊維スリング			4				4				4
マルチスリング			3				3				3
牽引スリング			1		1		2				2
測 定 用 器 具		可燃性ガス測定器 (XP301)		1				1			
	有毒ガス測定器		5	1	1	1	8	1	1	1	11
	放射線濃度測定器		3	4			7	1		5	13
	熱画像直視装置		1				1				1
	放射線ポケット線量計			24			24			44	68
	張力計 (テンションメーター)		2				2	1		1	4
	ビトーゲージ	1									1
	検電器 (音響発光式含む)		2		1	1	4				4
	逆目盛測桿			1			1				1
	マルチガス検知警報器		5	1			6			1	7
そ の 他 機 被 器 具	除染シャワー	1									1
	エアータント (国貨与除く)	1						1			2
	防護メガネ		5			3	8		1	4	13
	保護メガネ								5		5
	安全マット		4				4	2	2	1	9
	マットカバー		2				2	2		1	5
	安全ネット		2				2	1		1	4
	携帯拡声器 (ハンドマイク)	3	6	3	1	1	11	2	2	2	20
	応急処置用セット		4	1			5				5
	救助工具一式		3				3	3			6
器 具	車両移動器具 (ゴージャッキ)		4	2			6				6
	ロープ保護布		2				2				2
	シंकクロス		3				3				3
	折りたたみ式コーン		13				13		2	6	21
画像探査機		1				1				1	
救助用ブロック		1				1				1	

配置場所	種別	本 部	中 央 消 防 署				東部消防署		西 部 消 防 署	合 計
			本 署	南 部 分 署	上 叡 分 駐 所	下 叡 分 駐 所	小 計	本 署	祁 答 院 分 署	
その他機被器具	プロテクションカバー		1				1			1
	空気圧縮機		1				1			1
	酸素ポンベ3.5(ガス溶断機)									
	酸素ポンベ7.0(アークエアー溶断機)		1				1			1
	アセチレンポンベ(ガス溶断機)		2				2			2
都 市 型	セミスタティックロープ(φ11mm×20m)		1				1			1
	セミスタティックロープ(φ11mm×30m)		1				1			1
	セミスタティックロープ(φ11mm×50m)		2				2	4		6
	セミスタティックロープ(φ11mm×100m)		2				2	2	1	5
	セミスタティックロープ(φ11mm×200m)		1				1			1
	スタティックロープ(φ11mm×4m)		2				2			2
	フローティングロープ(φ10mm×25m)		2				2			2
	フローティングロープ(φ10mm×50m)		1				1			1
	ブルージックオープンスリング8mm緑		5				5			5
	ブルージックオープンスリング8mm赤		5				5			5
	ブルージックオープンスリング7mm赤端末		12				12	7		19
	ブルージックオープンスリング7mm青端末		12				12	7		19
救 助 資 材	テープスリング(180cm)		12				12			12
	テープスリング(120cm)		19	2	2	2	25	10	4	44
	テープスリング(60cm)		20	2	2	2	26	10	2	40
	ディジーチェーン		5				5			5
	ベルグスピンネ		3				3			3
	山岳用カラビナ		79				79	16	3	98
	フックス		5				5			5
	レスキューー		4				4	2		6
	マインダー		5				5	2		7
	ツイン		2		1	1	4	2		6
	タンデム		2				2	2		4
	機 材	ノットパッシングブーリー		1				1		
ミニトラクション			2				2			2
プロトラクション			1				1			1
ボ－S			1				1			1
ボ－M			1				1	2	1	4
リガ－			1				1			1
スイベル			2				2	1		3
アイデ－			2				2	1		3
パーティカルストレッチャー			1				1			1
ユ－ル			2				2			2
A T C			2				2			2
ストッブ			2				2	1		3

配置場所	種別	本部	中央消防署					東部消防署		西部消防署	合計
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署	祁答院分署		
都 市 型 数 助 資 機 材	ラック		2				2			2	
	アセッションション		2				2	1		3	
	レスキューセクター		2				2	1		3	
	アサブソーパー		2				2			2	
	アサブソーパー		4				4			4	
	レスキューエイト		2				2	2		4	
	ピラナ		2				2	1		3	
	ジガー		2				2			2	
	コネクションフィックス		4				4	2		6	
	ロードリリースストラップ		1				1			1	
	チューブラーウェビング(橙)		4				4			4	
	チューブラーウェビング(青)		4				4			4	
	チューブラーウェビング(黄)		4				4			4	
	ツリースピー		1				1			1	
	スペルジカ		2				2			2	
	フットテーパー		2				2			2	
	ロープ保護具		3				3			3	
	セットキャタピラー		1				1			1	
	シットハーネス		4				4			4	
フルハーネス		3	2			5	2	2	2	11	
ピタゴール		1				1			1		
デルタレスキュー		1				1			1		
ロープ投下袋(背負い100型)		2				2	1		3		
フルハーネス		3				3			3		
クジェットハーネス		6				6			6		
レスキューエイト		2				2			2		
エイト環		2				2			2		
AIC		5				5			5		
カラピナ(ウルトラO型)		9				9			9		
クライミング用ハーネス(成人)		4				4			4		
クライミング用ハーネス(小児)		2				2			2		
クライミング用ヘルメット(成人)		4				4			4		
クライミング用ヘルメット(小児)		4				4			4		
ダイナミックロープ(30m)		2				2			2		
ヌンチャク(クイックドロー)		15				15			15		

配置場所	種別	本部	中央消防署				東部消防署		西部消防署	合計
			本署	南部分署	上飯分駐所	下飯分駐所	小計	本署		
救急	半自動式除細動器		2	1			3	1	1	6
	A E D		5	1	1	1	8	1	1	10
	自動式心肺蘇生装置		1				1	1	1	3
	患者監視装置		3	1	1	1	6	1	1	9
	自動式人工呼吸器		3	1	1	2	7	1	2	11
	輸液ポンプ		1	1			2	1	1	5
	流量加湿器		3	1	1	2	7	1	1	10
	メインストレッチャー		3	1	1	2	7	1	1	10
	サブストレッチャー			1	1	2	4	2	1	8
	スクープストレッチャー		4	1	1	2	8	2	2	13
用具	バックボード(脊椎固定具)		4		1	2	7	1	1	11
	ショートボード(スビーボード、ファーンケッド)		2	1	1	1	5	1	1	9
	布担架(ターボリン担架)		4		2	1	7	2	4	17
	エア担架		1		1	1	3	1	1	6
	平担架		2	2			4		2	6
	棒担架(巻布担架)		2			2	4	1		5
	背板(レスキューボード)		1				1		1	2
	急病バック		2	1	1	1	5	1	1	8
	外傷バック		1	1	1	1	4	2	1	8
	赤救バック		3	1			4	1	1	7
資材	喉頭鏡セット		4	2	1	1	8	2	1	13
	マガール鉗子		3	3	3	2	11	2	2	18
	血圧計(車載・携帯)		7	3	4	2	16	4	3	26
	聴診器		1		1	2	4	2	2	10
	バグマスク		4	2	3	3	12	4	2	21
	頸椎カラー		29	5	5	5	44	7	9	66
	吸引器(LSU・手動)		7	2	1	2	12	2	2	19
	カーディオポンプ			1			1	1	1	3
	携帯用SPO2モニター		3	1	1		5	3	1	11
	ETCO2モニター		1				1		1	2
機材	膿盆		4	4	2	2	12	5	6	26
	レスキューシート(布)		4	1	1	1	7	1	2	11
	リフト担架(布)							2		2
	ショックパンプ		1				1	1		3
	液圧式固定具(マジックギブス・バキュームスプリント・バキーストキット)		2		1	1	4	1	2	10
	マイクロベント		1	1	1	1	4	1	1	7
	防刃ベスト		2	2	2	2	8	2	2	14

配置場所	種別	本部	中央消防署					東部消防署		西部消防署	合計	
			本署	南部分署	上甌分駐所	下甌分駐所	小計	本署	祁答院分署			
救急用資材	消毒用噴霧器		3				3			1	4	
	自動滅菌器		1				1	1			2	
	救急車内殺菌装置		2	1			3		1	1	5	
	滅菌シ―ラー		3				3	1			4	
	ビデオ硬性喉頭鏡		1	1			2	1	1	1	5	
	イーバックチェア		1				1				1	
	自動心肺蘇生器		1				1				1	
	酸素ボンベ	10ℓ型(高規格流量加湿器用)		12	2	4	4	22	4	4	3	33
		8.7ℓ型(自動心肺蘇生器用)		2				2				2
		3.5ℓ型(流量加湿器用)										
2ℓ型(デマンド用)			8	1	2	4	15	4	4	3	26	
機材	訓練用シュミレーター(セーブマン)		1				1				1	
	訓練用シュミレーター(ALSトレーナー)							1		1	2	
	レサシアン(成人)		10		1	2	13		1	1	15	
	レサシアン(リトルアン)		8				8				8	
	レサシアン(ジュニア)		10				10				10	
	レサシアン(ベビーアン)		5				5				5	
	アクター 9 1 1									1	1	
	A E D トレーナー		12				12				12	
	血糖測定器		1	1	1	1	4	1	1	1	7	
	支援車I型(総務省貸与品のみ)	災害用テント(祁答院分署1基)	3							1		4
ワンタッチ式テント		1									1	
バルーン型投光器(600W)		2									2	
発電機(900W以上・ガソリン)		2									2	
燃料携行缶(20ℓ)		2									2	
コードリール(20m)		1									1	
折畳み式リアカー		1									1	
折畳み式トイレ式		5									5	
寝袋(オールシーズンタイプ)		20									20	
イス(折畳み式)		20									20	
作業台(折畳み式)		3									3	
テーブル(折畳み式)		5									5	
風防付き強力ガスバーナーセット(大1、小2)		3									3	
L P ガスボンベ(8kg)		2									2	
アルミ鍋		1									1	
炊飯器(一升炊き)		1									1	

#### 4. 無線配置状況

(1) 常備消防

平成30年4月1日現在

基地局 (6局)		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局			
波名称		活動波1 (消防波)・活動波2 (救急波)・活動波3 (活動波)・主運用波 統制波1・統制波2・統制波3			
無線機種別					
所 属		可搬型	卓上型	車載型	携帯型
消 防 本 部	消 防 総 務 課			4	1
	警 防 課	3		9	5
	予 防 課			3	3
	通 信 指 令 課				5
中 央 消 防 署			※受令機 1	7	12
南 部 分 署			1	4	6
上 甌 分 駐 所			1	2	3
下 甌 分 駐 所			1	2	3
東 部 消 防 署			1	5	7
祁 答 院 分 署			1	3	5
西 部 消 防 署			1	5	7
合 計		3	7	44	57

## (2)非常備消防

平成30年4月1日現在

基地局 (6局)		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局				
波 名 称		消防用波				
所 属	無線機種別	可搬型	卓上型	車載型	携帯型	
		団 本 部			1	10
市 役 所			※受令機 <sup>1</sup>			
中央大隊	大 隊 本 部				7	
	川内南方面隊	川内中央南分団			4	1
		川内南分団			5	1
		平佐東分団			2	1
		高江分団			1	1
	川内北方面隊	川内中央北分団			4	1
		下東郷分団			2	1
		高城東分団			2	1
		城上分団			2	1
	東郷方面隊	川内中央南分団			2	1
川内南分団				2	1	
平佐東分団				2	1	
西部大隊	大 隊 本 部			1	4	
	西部方面隊	水引分団			2	1
		高城西分団			2	1
		川内西分団			3	1
東部大隊	大 隊 本 部			1	7	
	樋脇方面隊	樋脇北分団			2	1
		樋脇中央分団			2	1
		市比野中央分団			2	1
		市比野南分団			2	1
	入来方面隊	副田分団			1	1
		清色分団			1	1
		大馬越分団			1	1
		朝陽分団			1	1
	祁答院方面隊	黒木分団			1	1
		上手分団			1	1
下手分団				2	1	
鹿牟田分団				2	1	
上甌大隊	大 隊 本 部			1	5	
	上甌方面隊	里分団			4	1
		上甌中央分団			5	1
		浦内分団			3	1
下甌大隊	大 隊 本 部			1	5	
	下甌方面隊	下甌北分団			8	1
		下甌南分団			6	1
		鹿島分団			3	1
合 計			1	87	70	

無線基地局 位置図

【本土区域】



【甌島区域】



5. 気象状況(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上)

H29. 1. 1~H29. 12. 31

月別	気温 (°C)			湿度 (%)				風 (m)			雨量 (mm)	
	平均	最高	最低	相対湿度平均	相対湿度最高	相対湿度最低	実効湿度平均	平均風速	平均風向	最大瞬間風速	時間最大	月積算
1	7.0	20.1	-4.4	85.8	99.7	32.4	85.6	1.3	北北西	18.8	5.0	35.5
2	7.2	20.6	-2.1	83.3	99.4	27.7	83.6	1.5	北北西	19.4	20.0	150.0
3	9.7	19.7	0.5	84.7	99.7	26.3	83.7	1.3	北北西	16.4	5.0	107.0
4	16.1	24.6	2.6	86.8	99.7	26.6	87.2	1.7	北北西	21.8	25.5	315.0
5	19.4	28.2	10.0	86.8	99.9	33.3	86.4	1.2	西	16.9	62.0	309.0
6	22.0	31.2	14.6	91.4	99.9	38.8	90.4	1.2	西	19.7	56.0	334.0
7	28.1	34.7	24.0	94.8	99.9	67.7	95.0	1.1	西	19.7	18.5	130.5
8	28.3	36.2	21.2	92.2	99.9	49.7	92.2	1.4	西	23.0	43.5	140.5
9	24.1	31.8	14.6	92.8	99.9	48.6	92.4	1.3	北東	24.8	49.0	370.5
10	20.6	30.6	7.5	91.2	99.9	51.1	91.4	1.4	北北西	29.7	18.0	140.5
11	13.2	24.0	0.7	91.2	99.9	47.5	90.3	0.9	北北西	15.4	6.5	94.0
12	6.7	18.9	-2.5	85.6	99.9	40.8	86.3	1.4	北	15.7	7.5	32.0

# V. 救急 及び救助

## 1. 地域別救急出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

地域別 種別	川内地区	樋脇地区	入来地区	東郷地区	祁答院地区	黒地区	上甑地区	下甑地区	豊島地区	串木野	その他	合計
火災	8	6	1	1	3							19
自然災害	1											1
水難												
交通事故	213	29	23	11	9	1	1	2			1	290
労働災害	27	2	5	1	5	1		2				43
運動競技	35	13	2	1	2		1					54
一般負傷	387	38	46	32	35	5	7	8	2	3		563
加害	6	2		2								10
自損行為	31	1		2	3			1				38
急病	1,720	213	177	126	131	17	23	50	19	9		2,485
転院搬送	682	40	13	1	9	7	19	27	3	19		820
その他	52	3	5	3			1	1				65
計	3,162	347	272	180	197	31	52	91	24	31	1	4,388
前年	3,039	395	220	177	194	33	63	155	30	37	8	4,351

(種別のその他には転院搬送を含む)

## 2. 月別救急出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災	3	2		2	4	1	1	2		1	1	2	19
自然災害								1					1
水難													
交通事故	20	17	14	23	32	23	21	36	23	25	30	26	290
労働災害	2	3	2	2	2	5	4	5	6	3	2	7	43
運動競技	2	2	4	2	5	4	11	9	9	2	3	1	54
一般負傷	46	39	38	40	51	48	54	43	58	43	47	56	563
加害	1		1				1		1	1	3	2	10
自損行為	5	6	4	1	3	1	3	3	7	3	1	1	38
急病	240	231	212	207	197	166	247	230	157	173	196	229	2,485
その他	66	73	70	70	65	69	74	67	58	89	83	101	885
計	385	373	345	347	359	317	416	396	319	340	366	425	4,388

(種別のその他には転院搬送を含む)

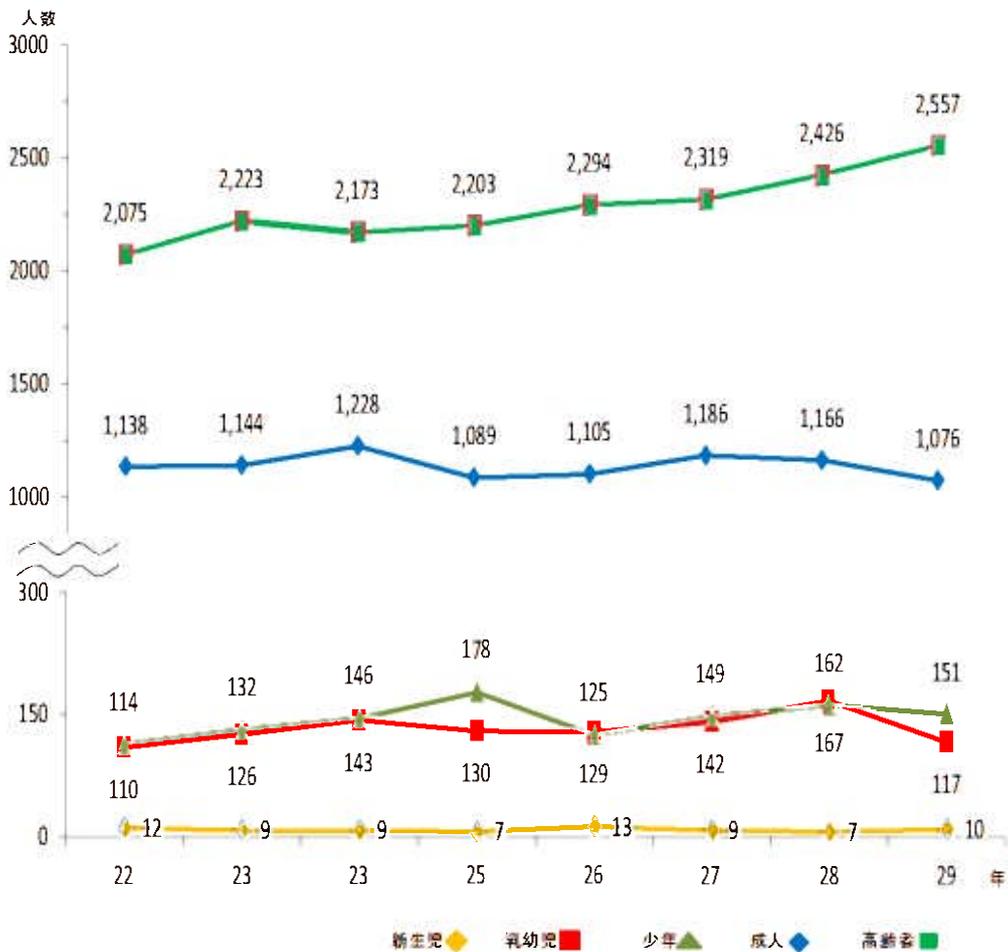
3. 年齢区分別搬送人員

平成29年1月1日～平成29年12月31日

種別	年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災					1	2	3
自然災害						1	1
水難							
交通事故			8	42	149	69	268
労働災害					35	7	42
運動競技				31	20	2	53
一般負傷			18	16	77	398	509
加害				1	6	3	10
自損行傷					18	3	21
急病		1	79	57	606	1,466	2,209
その他		9	12	4	164	606	795
合計		10	117	151	1,076	2,557	3,911
構成比(%)		0	3	4	28	65	100
前年		7	167	162	1,166	2,426	3,928
前年比		3	△50	△11	△90	131	△17

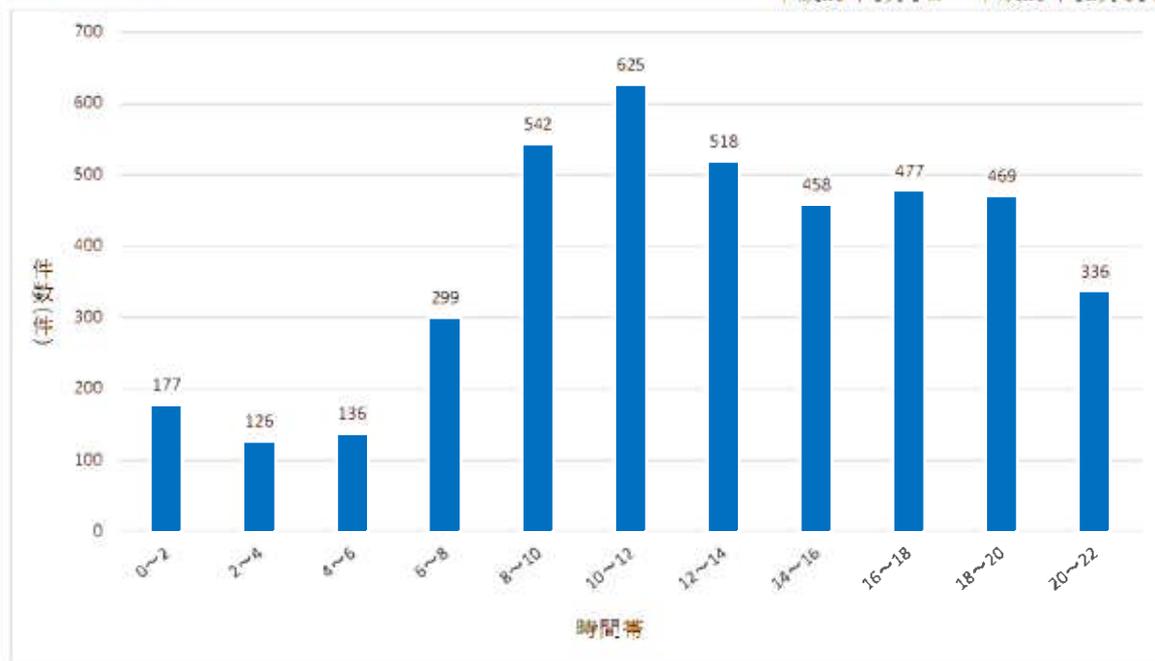
新生児 生後28日未満  
 乳幼児 生後28日以上～満7歳未満  
 少年 満7歳以上～満18歳未満  
 成人 満18歳以上～満65歳未満  
 高齢者 満65歳以上

【年齢区分別推移】



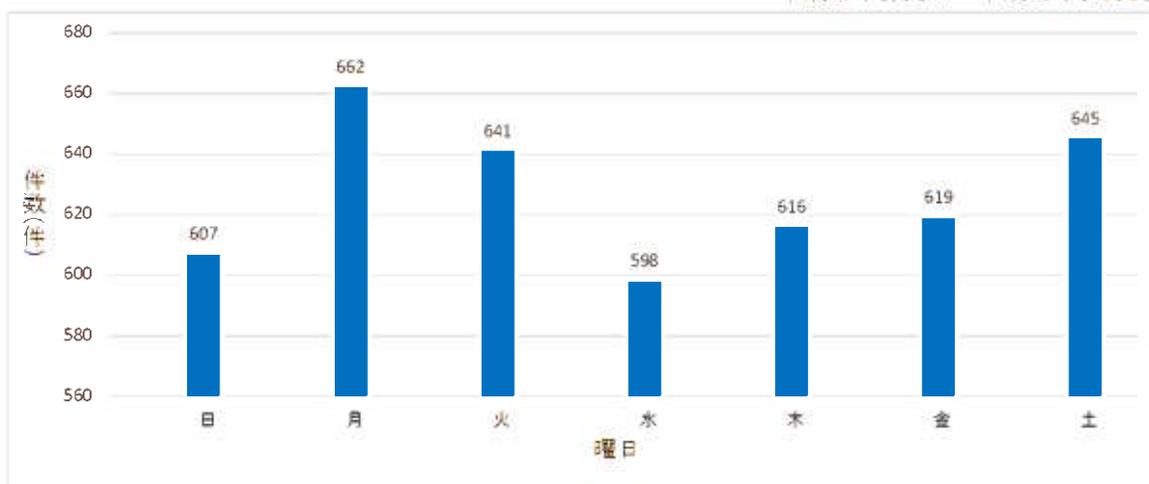
#### 4. 時間別出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日



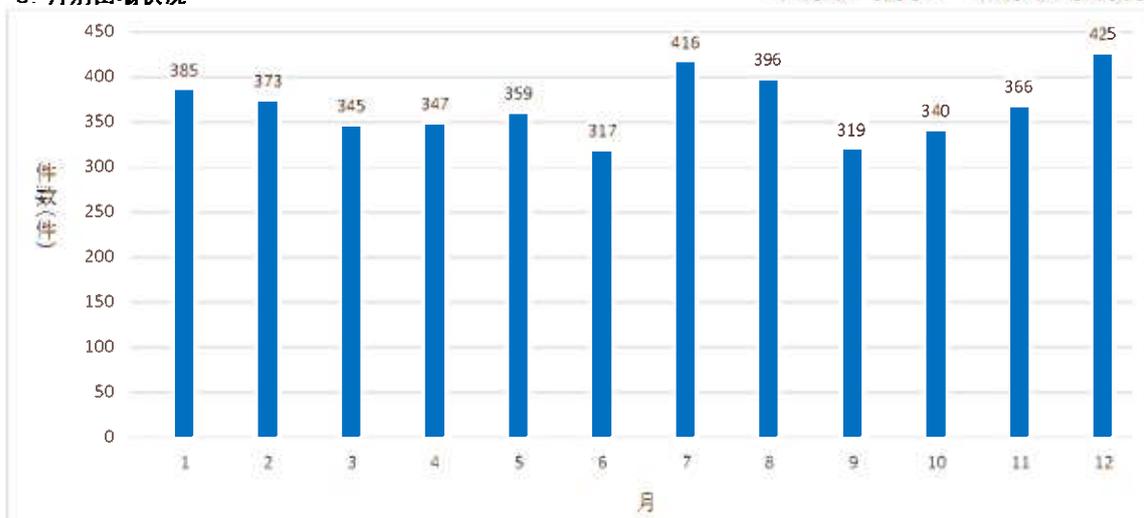
#### 5. 曜日別出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日



#### 6. 月別出場状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日



7. 救急隊員の行った応急処置状況（搬送者のうち）

平成29年1月1日～平成29年12月31日

(単位:件)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	前年	前年比	
応急処置									
止 血		12	13	38	6	69	78	▲ 9	
固 定		1	71	30	27	129	134	▲ 5	
心 肺 蘇 生		76	5	7	4	92	73	19	
酸 素 吸 入		452	452	29	254	1,187	637	550	
気 道 確 保 ただし、※1,2,3を除く		66	6	5	9	86	79	7	
保 温		131	11	27	46	215	82	133	
被 覆		13	61	109	20	203	199	4	
除 細 動		9	1	1	2	13	13	0	
拡大 応急 処置	在宅療法継続	13			1	14	6	8	
	※1 経鼻エアウェイ	6				6	5	1	
	咽頭鏡・鉗子					0	2	▲ 2	
	ショックパンツ					0	0	0	
	血 圧 測 定	2,059	244	473	836	3,612	3,538	74	
	聴診器による心音・呼吸音等聴取	607	83	73	119	882	829	53	
	血中酸素飽和度測定	2,110	251	492	896	3,749	3,761	▲ 12	
	心 電 図	1,267	61	148	326	1,802	1,622	180	
	特定 行為	静脈路確保	CPA前	4		1	5	1	4
			CPA後	33	3	4	1	41	39
※2 ラリングアルマスク等		2		1		3	1	2	
※3 気 管 挿 管		26		4	1	31	24	7	
薬剤投与		アドレナリン	18		4	2	24	10	14
	ブドウ糖	3				3	1	2	
血糖値測定		29	1	2	2	34	4	30	
その他の応急処置		1,823	110	328	515	2,776	2,499	277	
処 置 人 員		2,202	260	506	905	3,873	3,885	▲ 12	
構 成 比		56.9	6.7	13.1	23.4	100.0	100.0		

8. 不搬送原因別出場件数

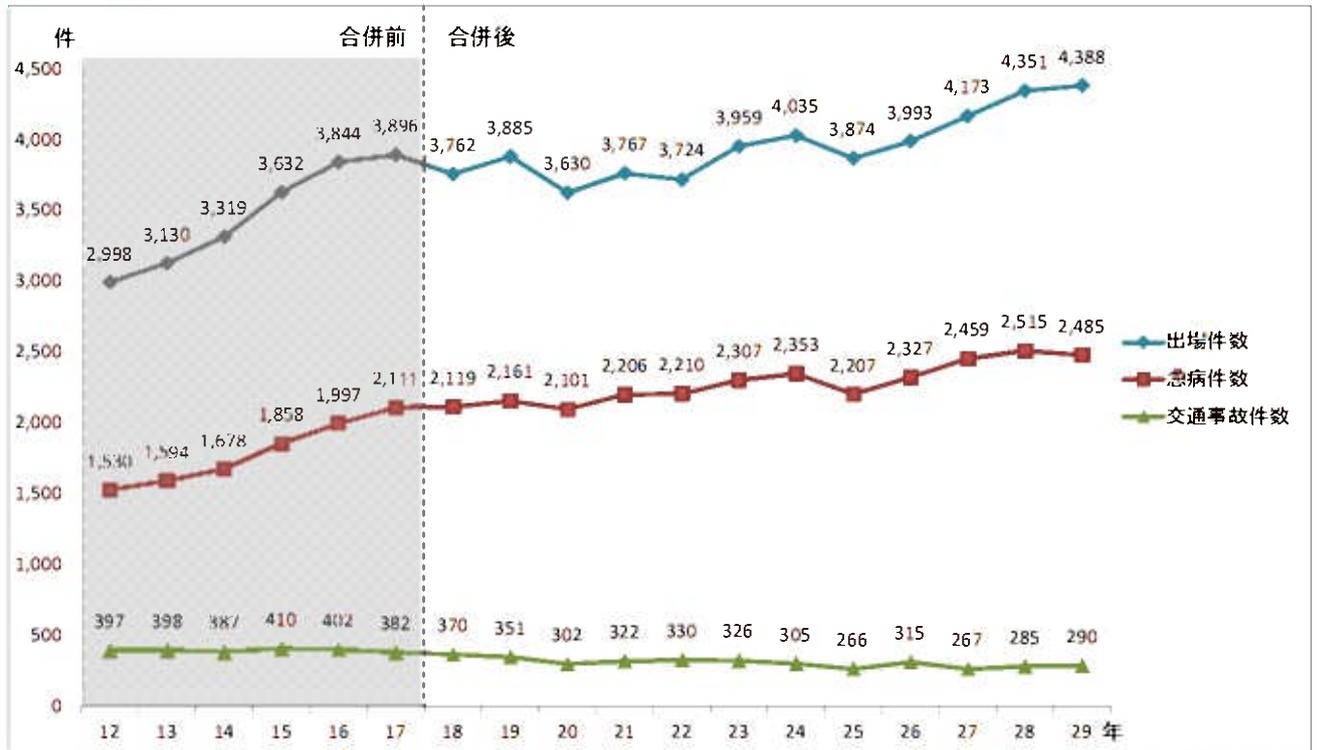
平成29年1月1日～平成29年12月31日

(単位:件)

不搬送理由	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酔酲	死亡	現場処置	その他	計
出場件数	42	31	83	10	84	198	63	511

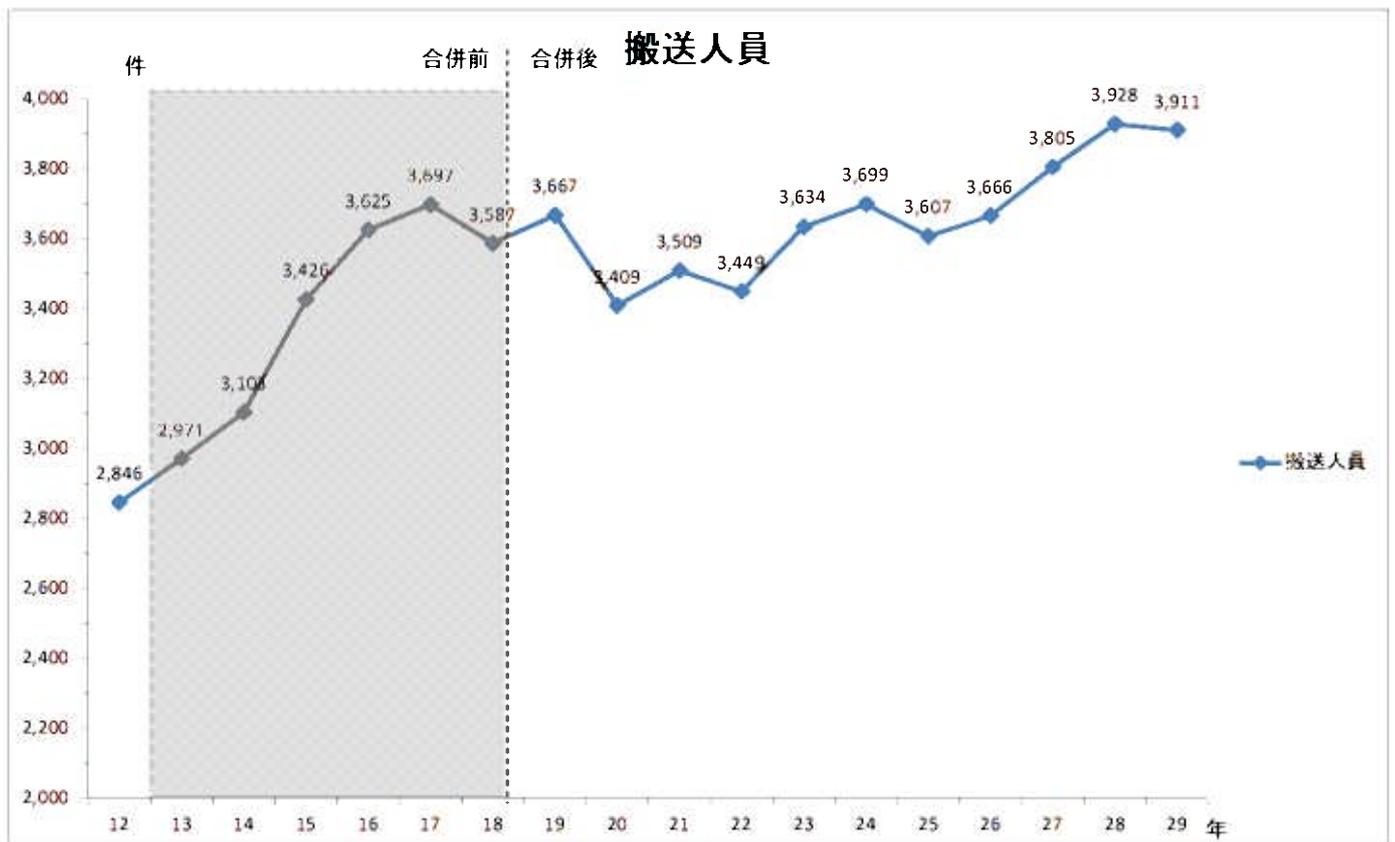
(その他には誤報、いたずらを含む)

## 9. 地域別救急出場状況



合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

## 10. 搬送人員の推移

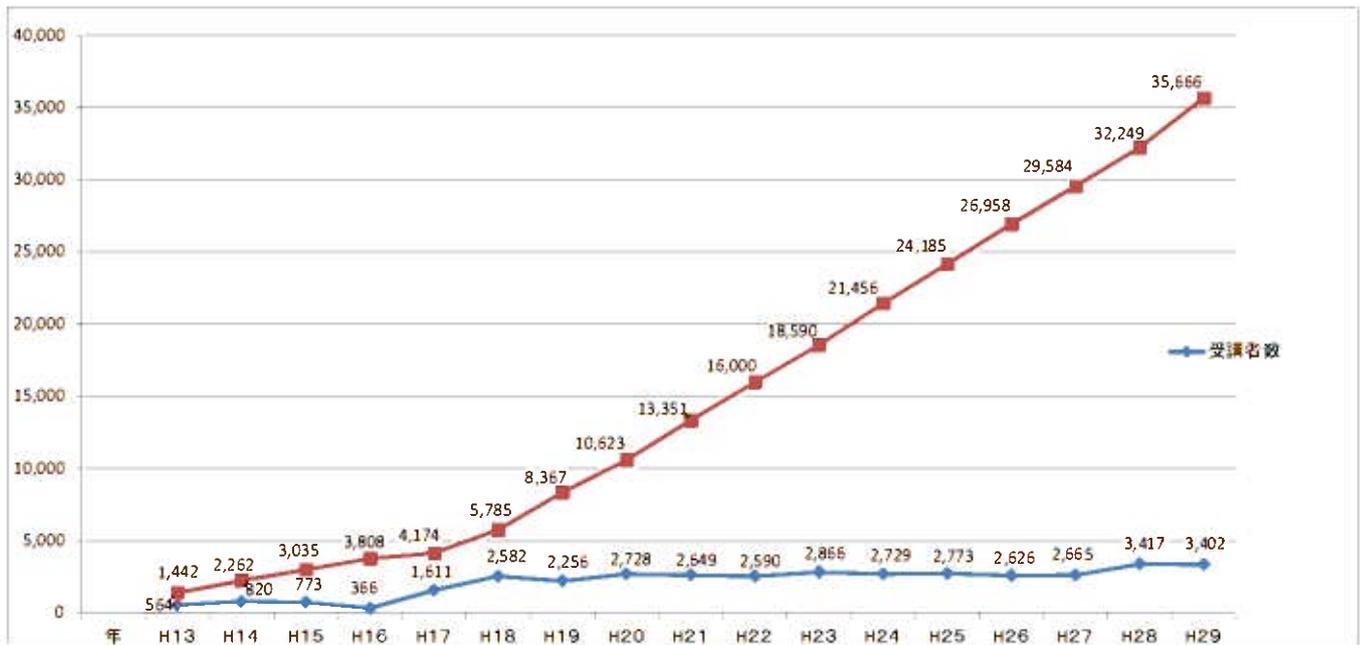


合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

### 11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

区分	年	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
実施回数		25	37	38	25	82	145	116	142	134	133	140	142	146	125	103	133	152
受講者数		564	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,649	2,590	2,866	2,729	2,773	2,626	2,665	3,417	3,402
受講者数累計		1,442	2,262	3,035	3,808	4,174	5,785	8,367	10,623	13,351	16,000	18,590	21,456	24,185	26,958	29,584	32,249	35,666
市民に占める受講割合		1.5%	2.4%	3.2%	4.0%	4.3%	6.0%	8.7%	11.1%	13.9%	16.7%	19.4%	22.4%	25.2%	28.1%	30.8%	33.6%	37.2%

※ H17からAED(自動体外式除動器)の取り扱いを含む講習を実施。



### 12. CPA患者社会復帰状況

区分	年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
CPA患者数(搬送者)		66人	98人	77人	78人	86人	110人	105人	71人	88人	88人	77人	83人
CPR口頭指導		16.7%	24.5%	41.6%	52.6%	37.2%	43.6%	66.7%	67.6%	65.9%	66.7%	90.4%	96.60%
バイスタンダーCPR		36.4%	42.9%	40.3%	46.2%	33.7%	38.2%	41.9%	36.6%	43.2%	51.1%	53.4%	66.10%
蘇生率		9.1%	17.3%	14.3%	12.8%	20.9%	19.1%	19.0%	19.7%	15.9%	23.9%	2.6%	12.50%
社会復帰者		2人	6人	6人	4人	2人	4人	3人	3人	0人	4人	1人	6人
社会復帰率		3.0%	6.1%	7.8%	5.1%	2.3%	3.6%	2.9%	4.2%	0.0%	4.5%	1.3%	7.20%

※CPA----- Cardio Pulmonary Arrest の略で、心肺停止のこと。  
 ※CPR----- Cardio Pulmonary Resuscitation の略で、心肺蘇生法のこと。  
 ※バイスタンダー----- 救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)のこと。  
 ※社会復帰----- 心肺停止により救急搬送された人が、回復して歩いて退院したこと。

### 13. 事故種別救助活動状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	墜物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
出場件数	3	37	1		2	1			9	53
活動件数	3	29	1		2				7	42
救助人員	2	35	1		2				8	48

※消防機関が救助活動を行なう目的で出場した件数  
 なお、火災の場合は消防機関が何らかの救助活動を行なった件数

### 14. 事故種別出場及び活動車両状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

車両区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	墜物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
救助工作車	3	34	1		2	1			9	50
	2	14	1						5	22
消防ポンプ自動車	10	36	1		2				7	56
	7	27	1		2				6	43
はしご車及び 梯子はしご車										
指揮車及び 指令車	4	20							1	25
	2	13								15
救急自動車	3	32	1		2	1			8	67
		28	1		2				5	36
船舶										
その他	1									1
	1									1
消防団車両										
計	21	144	3		6	2			25	201
	12	62	3		4				16	117

→救助活動のために出場した車両等の台数

※上段 出勤車両台数  
 下段 活動車両台数

# VI. 消防団及び 消防協力団体

# 1.薩摩川内市消防団の組織

平成30年4月1日現在

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甕分駐所・下甕分駐所の管轄区域に合わせ、中央・西部・東部・上甕・下甕の5大隊とし、その下に9方面隊・32分団で組織。また、女性団員は、団本部に団本部女性分団を、上甕・下甕大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を配置している。分団合計、団本部女性分団含む33分団となっている。



## 2. 消防団員定数及び実員

平成30年4月1日現在

階級 区分	団長	副団長		分団長		副分団長	部長	班長	団員	合計
		団本部副団長 大隊長	方面隊長	本部員	分団長					
定数	1	6	9	14	33	33	78	151	1,005	1,330
実員	1	6	9	14	33	33	77	151	904	1,228

## 3. 消防団員の年齢

平成30年4月1日現在

年齢 区分	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,228 (58)	1 (0)	21 (4)	67 (4)	152 (6)	204 (7)	200 (7)	182 (9)	176 (10)	134 (8)	91 (3)	44 (44.1)

( )は女性団員

## 4. 方面隊別団員数

平成30年4月1日現在

方面隊別	区分	分団数	団員数 (人)	方面隊人口 (人)	世帯数 (世帯)	団員1人あたり 人口(人)
川内南方面隊		4	189	38,637	17,849	204
川内北方面隊		4	176	28,336	13,232	161
東郷方面隊		3	112	5,205	2,369	46
川内西方面隊		3	109	4,262	2,404	39
種蒔方面隊		4	122	6,403	3,230	52
入来方面隊		4	103	4,653	2,352	45
祁答院方面隊		4	101	3,548	1,725	35
上郷方面隊		3	130	2,290	1,324	18
下郷方面隊		3	162	2,167	1,374	13
合計		32	1,204	95,501	45,859	615

## 5. 消防団員の勤続年数

平成30年4月1日現在

勤続年数 区分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
1,228 (58)	274 (21)	268 (11)	169 (19)	235 (5)	128 (1)	84 (1)	70 (0)

( )は女性団員

6. 消防団車両の概要

平成30年4月1日現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及び メーカー	備考		
1	団本部		団本部		団本部車	ニッサン	鹿児島 800 す 8429	H 30 . 2	0				
2					災害支援車	三菱	鹿児島 88 す 7692	H 9 . 3	21				
3					予備積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7052	H 8 . 10	22				
4				女性分団		火災予防指導車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1857	H 27 . 11	3		H29.3月型色変更へ改修	
5				西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1853	H 29 . 3	1			
6				東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1474	H 26 . 11	4			
7				上飯大隊	団本部	大隊車	スズキ	鹿児島 80 あ 682	H 7 . 3	23			
8				下飯大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1193	H 24 . 12	6			
9	中央		川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3730	H 13 . 11	17	A-2 日本フライングキャル			
10				官里部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5978	H 27 . 1	3				
11				中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H 19 . 12	11	A-2 日本機務			
12				中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8101	H 9 . 9	21				
13			川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3731	H 13 . 11	17	A-2 日本フライングキャル			
14				中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5095	H 25 . 11	5				
15				宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6902	H 28 . 2	2				
16				永利部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 1069	H 12 . 1	18		永利班		
17				永利部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8100	H 9 . 9	21		百次班		
18				平佐東	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6234	H 15 . 10	15			
19					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8099	H 9 . 9	21			
20				高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 6283	H 15 . 10	15	A-2 日本フライングキャル		
21			川内中央北	大小路部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 5561	H 15 . 3	15	A-1 日本フライングキャル			
22				中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7752	H 29 . 3	1				
23				上川内部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7486	H 16 . 11	14	A-2 日本フライングキャル			
24				龜山部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7485	H 16 . 11	14	A-2 日本フライングキャル			
25				下東郷	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9545	H 10 . 12	20			
26					二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1971	H 30 . 2	0			
27				高城東	高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3864	H 13 . 12	17			
28					陽成部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9546	H 10 . 12	20			
29				城上	上城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6904	H 28 . 2	2			
30					下城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5098	H 25 . 11	5			
31			東郷	東郷中央	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2905	H 22 . 12	8	A-1 日本フライングキャル		
32					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5099	H 25 . 11	5			
33				東郷東	南瀬部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 7596	H 29 . 1	1	A-1 日本フライングキャル		
34					山田部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 462	H 11 . 9	19	A-2 日本機務		
35				東郷西	鳥丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 2139	H 12 . 9	18	A-2 ミニトラック		
36					藤川部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5977	H 27 . 1	3			
37			西部	川内西	水引	水引部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3863	H 13 . 12	17		
38						港部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3865	H 13 . 12	17		
39					高城西	西方部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 す 6763	H 27 . 12	3	A-2 ミニトラック	総務省消防庁標準発車
40						湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2446	H 12 . 12	18		
41					川内西	久見崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5976	H 27 . 1	3		
42						寄田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7765	H 29 . 3	1		
43							ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 963	H 9 . 9	21		

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考		
44	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6240	H 15 .10	15				
45				岩下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8486	H 30 . 3	0				
46			樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 693	H 11 .10	19	A-1 モリタ			
47				河内部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6903	H 28 . 2	2				
48			市比野中央	市比野部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2841	H 22 .11	8	A-2 GMいちばら			
49					積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9347	H 10 .10	20				
50					上手部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 7363	H 9 . 1	21			
51			市比野南		藤本部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8478	H 30 . 3	0			
52					野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5096	H 25 .11	5			
53			入来	副田	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 5079	H 25 .10	5	A-2 日本フライングモビル		
54					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8497	H 30 . 3	0			
55				清色	清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H 19 . 9	11	A-1 百谷機械		
56		大馬越		大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8477	H 30 . 3	0				
57		朝陽		朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7754	H 29 . 3	1				
58		祁答院		黒木	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H 17 .12	13	A-1 日本フライングモビル		
59					上手	1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 5196	H 14 .12	16	A-2 モリタ	
60			下手		1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 3782	H 13 .12	17	A-1 モリタ		
61			間牟田		2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9544	H 10 .12	20			
62					1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H 21 .11	9	A-2 日本フライングモビル		
63					2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9543	H 10 .12	20			
64		上 観 大 隊	上観	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2334	H 12 .11	18			
65					中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2337	H 12 .11	18			
66					南部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1965	H 30 . 2	0			
67	支所部				水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H 19 . 1	11	A-1 GMいちばら	水 1.5t		
68	上観中央				中観部	多機能型	いすゞ	鹿児島 880 す 2318	H 22 . 3	8	モリタ		
69					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H 20 .12	10				
70					江石部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1191	H 24 .12	6			
71	支所部				平良部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1341	H 25 .11	5			
72					ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 9711	H 11 . 2	19	A-2 モリタ			
73					浦内	浦内部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1846	H 29 . 3	1		小島
74	浦内			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1340	H 25 .11	5		瀬上			
75				桑之浦部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1470	H 26 .11	4				
76	下 観 大 隊		下観北		長浜1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H 19 . 9	11	A-1 日本フライングモビル		
77					長浜2部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H 20 .11	10	モリタ	日本消防協会寄贈	
78					長浜2部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1931	H 29 .11	1		内川内 日本消防協会寄贈	
79		長浜3部			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1966	H 30 . 2	0				
80		青瀬部				積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7751	H 29 . 3	1			
81						ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1847	H 29 . 3	1			
82		瀬々野浦部				積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9755	H 11 . 2	19			
83						ポンプ付 ミニ積載車	スバル	鹿児島 80 あ 1086	H 10 .11	20		日本損害保険協会寄贈	
84		下観南				手打1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H 16 .11	14	A-1 モリタ	
85						手打2部	ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 1077	H 10 .11	20		
86			積載車	トヨタ		鹿児島 88 す 9547	H 10 .12	20		本町			
87			積載車	トヨタ		鹿児島 800 す 5979	H 27 . 1	3		岡			
88			片野浦部	ミニ積載車		ダイハツ	鹿児島 880 あ 1845	H 29 . 3	1		浜田		
89			支所部	ミニ積載車		三菱	鹿児島 880 あ 1473	H 26 .11	4				
90		鹿島		一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H 18 .12	12	A-2 日本機械			
91				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H 15 .12	15				
92				ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1192	H 24 .12	6		小牟田			
93				支所部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 1664	H 15 .12	15				

7. 小型ポンプの概要

平成30年 4月 1日現在

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	経過年数	型式	ポンプ等級	備考
1	団本部	団本部	団本部	団本部	トーハツ	H 13 .11	17	VC62AS	B-3級	
2	中央大隊	川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	H 15 .11	15	SF656MZ	B-3級	
3			川内中央南	中央二部	ラビット	H 20 .8	10	Fi7000	B-3級	
4			川内南	中福良部	トーハツ	H 23 .12	7	VF53AS	B-3級	
5			川内南	宮崎部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
6			川内南	永利部(永利)	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
7			川内南	永利部(百次)	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
8			平佐東	一部	ラビット	H 20 .8	10	Fi7000	B-3級	
9			平佐東	二部	シバウラ	H 15 .11	15	SF656MZ	B-3級	
10			高江	高江部	シバウラ	H 4 .12	26	TF-35	B-3級	
11			川内北	川内中央北	中郷部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級
12		下東郷		一部	トーハツ	H 30 .1	0	VF53AS	B-3級	
13		下東郷		二部	トーハツ	H 30 .1	0	VF53AS	B-3級	
14		高城東		高城部	トーハツ	H 17 .3	13	VC62BS	B-3級	
15		高城東		陽成部	トーハツ	H 17 .3	13	VC62BS	B-3級	
16		城上		上城上部	ラビット	H 13 .11	17	P476	B-3級	
17		城上		下城上部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
18		東郷	東郷中央	二部	トーハツ	H 23 .12	7	VF53AS	B-3級	
19			東郷東	南瀬部	トーハツ	H 11 .7	19	V46BS	B-3級	
20			東郷東	山田部	ラビット	H 9 .7	21	P455	B-3級	
21			東郷西	鳥丸部	シバウラ	H 10 .6	20	SF656MH	B-3級	
22			東郷西	藤川部	シバウラ	H 15 .8	15	SF656MZ	B-3級	
23			東郷西	藤川部	トーハツ	H 26 .12	4	VF53AS	B-3級	
24		西部大隊	川内西	水引	水引部	トーハツ	H 30 .1	0	VF53AS	B-3級
25	水引			港部	トーハツ	H 17 .3	13	VC62BS	B-3級	
26	高城西			西方部	シバウラ	H 7 .9	23	TF-35	B-3級	
27	高城西			湯田部	シバウラ	H 29 .3	1	FF450	B-3級	
28	川内西			久見崎部	トーハツ	H 24 .12	6	VF53AS	B-3級	
29	川内西			寄田部	トーハツ	H 13 .11	17	VC62A	B-3級	
30			川内西	寄田部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
31	東部大隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	H 13 .11	17	VC52AS	B-3級	
32			樋脇北	倉野部	トーハツ	S 62 .9	30	V50C	B-3級	
33			樋脇北	岩下部	ラビット	H 18 .1	12	P476B	B-3級	
34			樋脇中央	河内部	シバウラ	H 28 .1	2	SF656AZI	B-3級	
35			樋脇中央	河内部	ラビット	S 62 .3	30	P408R	B-3級	
36			市比野中央	市比野部	シバウラ	H 29 .3	1	FF450	B-3級	
37			市比野中央	上手部	トーハツ	H 23 .12	7	VF53AS	B-3級	
38			市比野中央	上手部	シバウラ	H 6 .11	24	SF655M	B-3級	
39			市比野南	藤本部	シバウラ	H 21 .12	9	SF656AZ	B-3級	
40			市比野南	藤本部	トーハツ	H 5 .12	25	V46AS	B-3級	
41			市比野南	野下部	ラビット	H 16 .8	14	P476A	B-3級	
42			市比野南	野下部	トーハツ	H 7 .12	23	V46AS	B-3級	

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	経過年数	型 式	ポンプ等級	備考
43	東部大隊	入来	副田	二部	トーハツ	H 30 . 1	0	VF53AS	B-3級	
44			大馬越	大馬越部	トーハツ	H 30 . 1	0	VF53AS	B-3級	
45			朝陽	朝陽部	シバウラ	H 28 . 1	2	SF656AZI	B-3級	
46		祁答院	黒木	一部	ラビット	H 13 . 9	17	P476	B-3級	
47			上手	一部	シバウラ	H 29 . 3	1	FF450	B-3級	
48			下手	二部	シバウラ	H 29 . 3	1	FF450	B-3級	
49			藺牟田	二部	シバウラ	H 29 . 3	1	FF450	B-3級	
50	上甌大隊	上甌	里	北部	トーハツ	H 29 . 2	1	VF53AS	B-3級	
51			里	中部	トーハツ	H 24 . 12	6	VF53AS	B-3級	
52			里	南部	ラビット	H 12 . 12	18	P455	B-3級	
53			上甌中央	中甌部	ラビット	H 22 . 3	8	Fi7000	B-3級	
54			上甌中央	中甌部	トーハツ	H 20 . 12	10	VC62BS	B-3級	
55			上甌中央	江石部	トーハツ	H 24 . 12	6	VF53AS	B-3級	
56			上甌中央	平良部	シバウラ	H 21 . 12	9	SF656AZ	B-3級	
57			浦内	浦内部	シバウラ	H 21 . 12	9	SF656AZ	B-3級	
58			浦内	浦内部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
59	浦内	桑之浦部	トーハツ	H 24 . 12	6	VF53AS	B-3級			
60	下甌大隊	下甌	下甌北	長浜2部	トーハツ	H 20 . 11	10	VF53AS	B-3級	
61			下甌北	長浜2部(内川内)	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
62			下甌北	長浜3部	シバウラ	H 20 . 9	10	SF756AZ	B-3級	
63			下甌北	青瀬部	シバウラ	H 25 . 5	5	SF656AZi	B-3級	
64			下甌北	青瀬部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
65			下甌北	瀬々野浦部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
66			下甌北	瀬々野浦部	トーハツ	H 29 . 2	1	VF53AS	B-3級	
67			下甌南	手打2部	トーハツ	H 29 . 2	1	VF53AS	B-3級	
68			下甌南	手打2部	シバウラ	H 21 . 12	9	SF656AZ	B-3級	
69			下甌南	片野浦部	トーハツ	H 23 . 12	7	VF53AS	B-3級	
70			下甌南	片野浦部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
71			下甌南	支所部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
72			鹿島	二部	トーハツ	H 28 . 1	2	VF53AS	B-3級	
73			鹿島	二部	ラビット	H 9 . 12	21	P440S	B-3級	
74			鹿島	二部	ラビット	H 18 . 1	12	P476B	B-3級	
75			鹿島	二部	ラビット	H 7 . 12	23	P450S	B-3級	
76			鹿島	二部	ラビット	H 13 . 9	17	P455A	B-3級	
77			鹿島	二部	ラビット	H 16 . 9	14	P455AS	B-3級	
78			鹿島	二部	ラビット	H 16 . 11	14	P455AS	B-3級	
79	鹿島	支所部	ラビット	H 15 . 9	15	P455A	B-3級			

## 8. 消防協力団体

### (1) 薩摩川内市危険物安全協会 (組織)

平成30年4月1日現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	3名	14名	2名	1名	109事業所	22事業所

#### (事業)

- |   |   |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害事故例等参考資料の配布</li> <li>(2) 法令改正等研修</li> <li>(3) 危険物保全に関する啓発及び指導</li> <li>(4) 先遣地視察及び災害現場視察</li> <li>(5) 自衛消防隊消火競技大会の実施</li> <li>(6) 普通救命講習会の開催</li> <li>(7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し</li> </ol> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 会員相互の親睦</li> <li>3. 危険物取扱者及び事業所の表彰</li> <li>4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進</li> <li>5. その他本会の目的達成に必要な事業</li> </ol> |
|---|---|

(平成30年度予算)

#### 歳 入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
901,000	0	124,039	10,000	1,035,039

#### 歳 出

(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	保 危 協 負 担 金	雑 費	予 備 費	計
210,000	285,000	400,000	109,000	3,000	28,309	1,035,309

### (2) 薩摩川内市防火管理協会

#### (組織)

平成30年4月1日現在

会 長	副 会 長	役 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	4名	26名	2名	1名	373事業所	11事業所

#### (事業)

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防火管理者の育成及び消防(防火)思想の普及啓発</li> <li>2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等</li> <li>3. 自衛消防隊消火競技大会の実施</li> <li>4. 普通救命講習会の開催</li> <li>5. 防火ポスター絵画の作品募集及び展示</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 各種災害の予防対策の研究</li> <li>7. 消防用設備の維持管理の指導及び保守点検</li> <li>8. 協会だよりの発行</li> <li>9. 優良会員事業所等の表彰</li> <li>10. その他本会の目的達成上必要なこと</li> </ol> |
|--|--|

(平成30年度予算)

#### 歳 入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,604,000	0	168,898	102	1,773,000

#### 歳 出

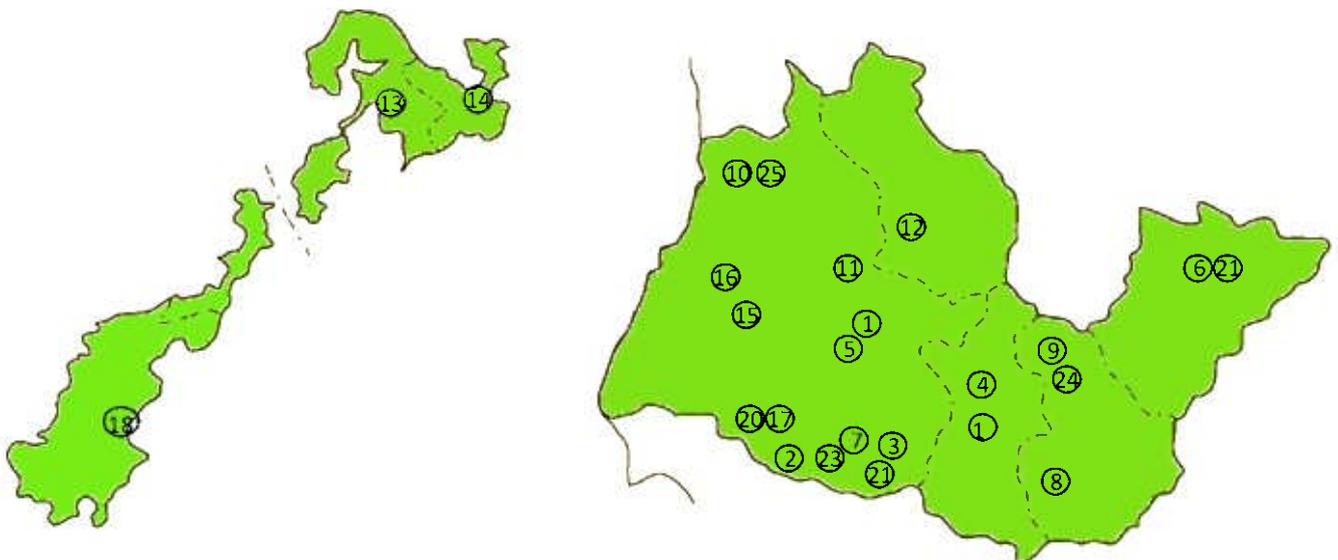
(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
300,000	820,000	642,000	1,000	10,000	1,773,000

## (3) 防火クラブ

平成30年4月1日現在

番号	ク ラ ブ 名	結成年月日	人 員	所 在 地
1	平佐保育園幼年消防隊	S 58 . 4 . 30	77	平佐町3879番地3
2	青山幼稚園幼年消防隊	S 59 . 10 . 23	162	青山町419-4番地
3	永利保育園幼年消防クラブ	S 59 . 11 . 1	61	百次町1069番地22
4	善福寺保育園幼年防火クラブ	S 59 . 11 . 1	37	樋脇町塔之原1177番地
5	せんだい幼稚園幼年消防隊	S 60 . 4 . 22	80	平佐町3590番地2
6	祁答院幼稚園幼年防火クラブ	S 60 . 10 . 1	14	祁答院町下手255番地
7	勝目保育園幼年消防隊	S 61 . 10 . 27	21	勝目町5315番地71
8	入来保育所幼年消防クラブ	S 61 . 11 . 15	28	入来町浦之名7517番地3
9	びぼあ幼年消防クラブ	H 11 . 4 . 1	40	入来町副田5752番地
10	西風園幼年消防クラブ	H 11 . 4 . 2	11	西方町2605番地
11	育英保育園幼年消防クラブ	H 11 . 12 . 1	78	中郷4丁目187番地
12	栗郷幼稚園幼年消防クラブ	H 12 . 1 . 11	62	栗郷町斧淵4773番地2
13	中津幼稚園幼年消防クラブ	H 13 . 5 . 21	12	上郷町中郷253番地
14	里幼稚園幼年消防クラブ	H 13 . 6 . 19	23	里町里1650番地1
15	高江保育園幼年消防クラブ	H 15 . 1 . 15	25	高江町1901番地
16	水引保育園幼年消防隊	H 15 . 8 . 1	37	水引町4795番地
17	青山保育園幼年消防クラブ	H 25 . 1 . 25	24	青山町3586番地4
18	かのこ幼稚園幼年消防クラブ	H 27 . 9 . 1	28	下郷町青瀬382番地
19	すわこども園幼年消防クラブ	H 29 . 10 . 1	35	樋脇町市比野550番地
計				855 名
20	青山少年消防クラブ	S 58 . 11 . 3	12	青山町4222番地
21	川内精舎少年消防クラブ	H 11 . 5 . 1	9	百次町6-19番地1
計				21 名
22	祁答院幼稚園女性防火クラブ	S 60 . 10 . 1	14	祁答院町下手255番地
23	勝目保育園女性消防クラブ	S 63 . 1 . 23	32	勝目町5315番地71
24	副田女性防火クラブ	H 9 . 5 . 1	11	入来町副田5857番地
25	西方女性防火クラブ	H 12 . 2 . 1	15	西方町2414番地
計				72 名
合計			948 名	





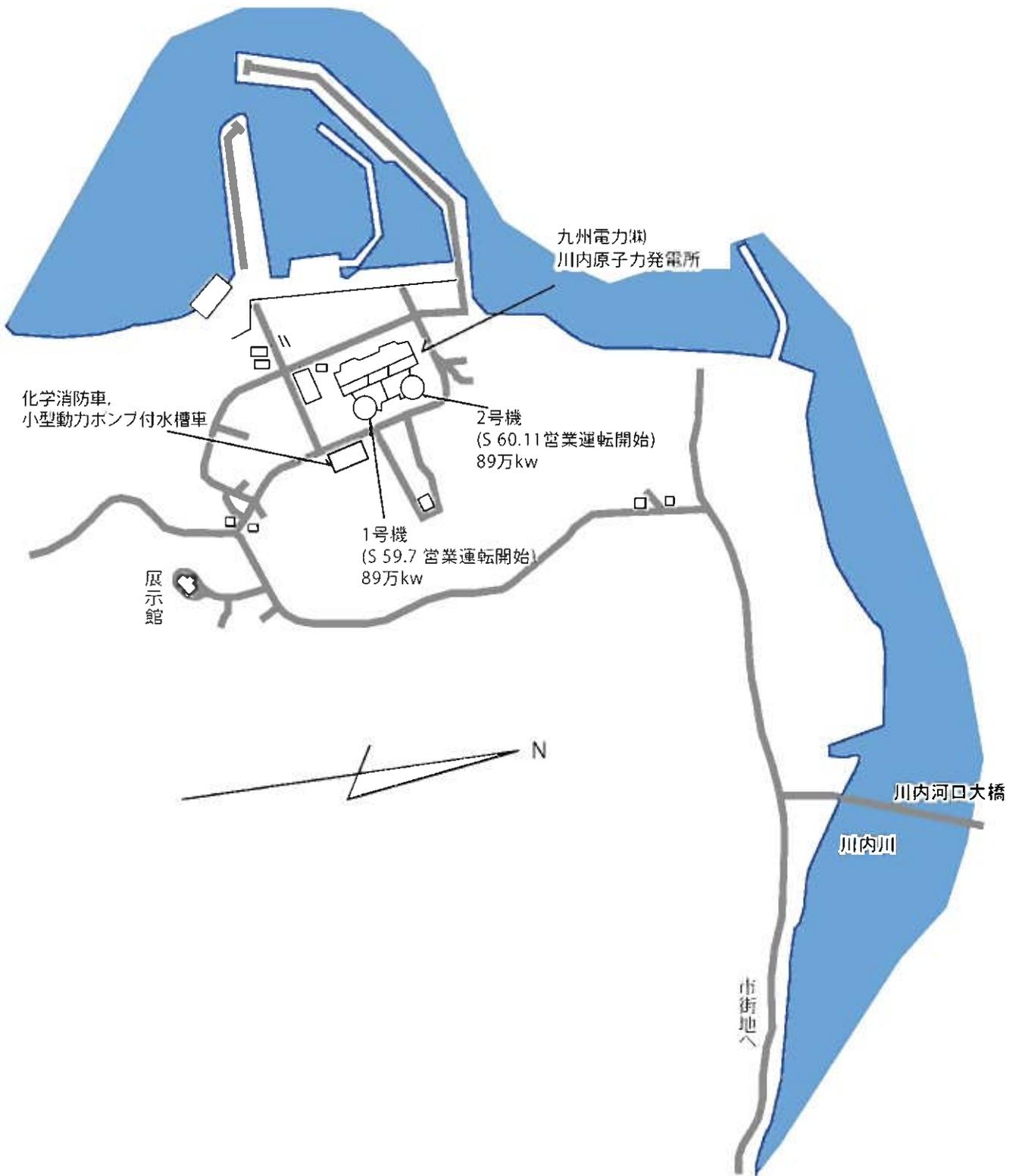
◎ 九州電力(株) 川内発電所

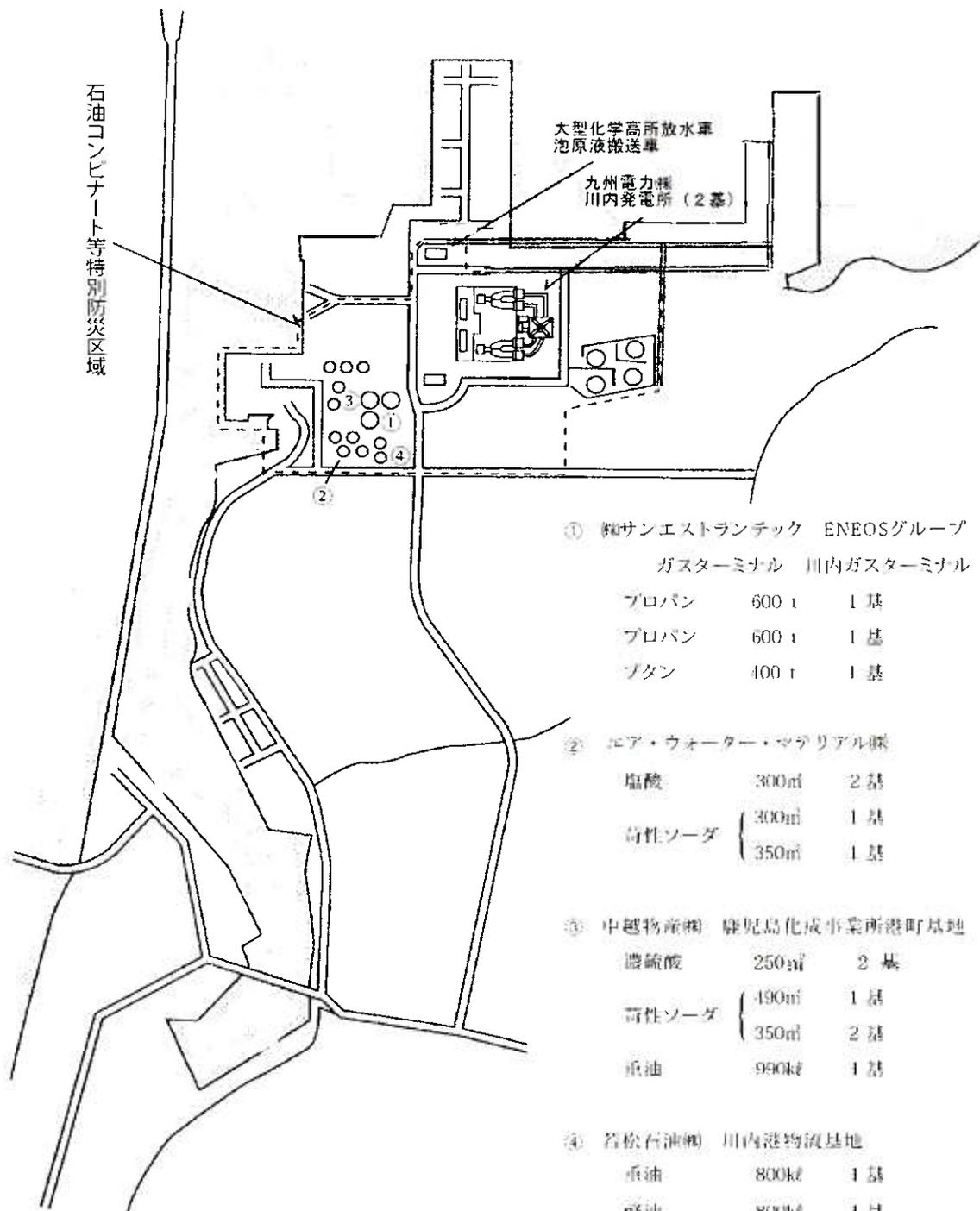
総合出力	1,000,000kw	
1号機	500,000kw	
2号機	500,000kw	
附帯施設		
重油タンク	30,000 kℓ	1基
原油タンク	30,000 kℓ	3基
軽油タンク	300 kℓ	2基

アンモニア { 15 t 1基  
10 t 1基

◎ 九州電力(株) 川内原子力発電所

総合出力	1,780,000kw
1号機	890,000kw
2号機	890,000kw
原子炉	低濃縮二酸化ウラン 軽水減速・軽水冷却加圧水型 2基





① 舞鶴エストラテック ENEOSグループ  
ガスターミナル 川内ガスターミナル

プロパン	600 t	1 基
プロパン	600 t	1 基
ブタン	400 t	1 基

② ヒア・ウォーター・マテリアル課

塩酸	300m <sup>3</sup>	2 基
苛性ソーダ	300m <sup>3</sup>	1 基
	350m <sup>3</sup>	1 基

③ 中越物産㈱ 鹿児島化成事業所港町基地

濃硫酸	250m <sup>3</sup>	2 基
苛性ソーダ	490m <sup>3</sup>	1 基
	350m <sup>3</sup>	2 基
重油	990t	1 基

④ 若松石油㈱ 川内港物流基地

重油	800t	1 基
軽油	800t	1 基

# 付録

●消防本部-署の沿革(川内市消防本部)

年	月	日	概 要
昭和 26 年	4 月	1 日	消防本部を創設(初代消防長 近藤磨雄(団長兼務)以下9人)
昭和 27 年	11 月	13 日	自動車ポンプを購入(消防庁以下18人)
昭和 32 年	10 月	20 日	気象観測開始
昭和 33 年	1 月		自動車ポンプを購入(人口62,492人、職員27人、自動車ポンプ2台)
昭和 34 年	11 月	10 日	消防署を創設(近藤消防長、初代署長を兼務)
昭和 35 年	6 月	30 日	近藤消防長(署長)退任、第2代消防長に飯屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任
昭和 36 年	3 月	1 日	第2代消防署長に須田清春就任
昭和 37 年	4 月	1 日	大小路分遣隊を新設(職員9人、自動車ポンプ1台)
	5 月	17 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
昭和 39 年	3 月	25 日	消防無線開設(基地1、移動3台)
昭和 41 年	12 月	15 日	須田清春署長が第3代消防長に、平瀬松次次席が第3代署長に就任
昭和 43 年	4 月	15 日	平瀬署長退任(須田消防長、第4代署長を兼務)
	5 月	1 日	救急業務開始(職員41人、自動車ポンプ4台、救急車1台)
昭和 45 年	12 月	28 日	須田消防長(署長)退任、児玉篤信市助役が第4代消防長事務取扱となる
昭和 46 年	1 月	9 日	平山武徳次席が第5代署長に就任
	7 月	7 日	平山武徳次長兼署長に就任
	9 月	30 日	児玉消防長事務取扱が退任、横山正元市長が第5代消防長事務取扱に就任
昭和 47 年	1 月	17 日	梯子車(24m)を購入(職員53人、自動車ポンプ3台、救急車1台)
昭和 48 年	9 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
	9 月	18 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
昭和 49 年	9 月	28 日	横山消防長事務取扱が退任、福壽十喜市長が第6代消防長事務取扱に就任
昭和 50 年	1 月	7 日	平山次長 署長の兼務を解き、浜田博之第6代署長に就任
	3 月	20 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	6 月	23 日	平山次長退任
	11 月	3 日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける(職員54人、本部車1台、自動車ポンプ3台、梯子車1台、救急車2台、器具車1台)
	12 月	1 日	十島良郎次長に就任
昭和 53 年	4 月	1 日	川内市中郷町2023番地に新庁舎落成移転、同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転、向田分遣隊と改称
	5 月	15 日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける
昭和 54 年	7 月	20 日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける
昭和 55 年	3 月	3 日	浜田署長退任、堀之内成夫第7代署長に就任
	11 月	20 日	十島次長退任、堀之内成夫次長兼署長に就任
	11 月	26 日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける
昭和 56 年	1 月	20 日	堀之内次長兼務を解く
	1 月	26 日	福壽消防長事務取扱退任、山本孝一第7代消防長に就任

●消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)

年	月	日	概	要
昭和 56 年	4 月	1 日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本幸一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称	
	7 月	15 日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定	
	12 月	1 日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町185番地)	
昭和 57 年	2 月	10 日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける	
	2 月	24 日	中央消防署上販・下販分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成	
	3 月	31 日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上販・下販分駐所開所 各所に職員6人・救急車1台配備	
昭和 58 年	1 月	28 日	中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺 32㎡)	
	3 月	11 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
	3 月	18 日	東部消防署庁舎完成(入来町浦之名727番地2)	
	3 月	19 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける	
	4 月	1 日	東部消防署開署(職員11人、水槽行消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)	
	10 月	1 日	東部消防署に職員6人を増置、17人とする。 ユーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける	
	11 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
昭和 59 年	1 月	26 日	管理者 福壽十喜 急逝	
	3 月	12 日	仁礼国市第2代管理者に就任	
	3 月	26 日	西部消防署庁舎完成(川内市水引町3397番地2)	
	4 月	1 日	西部消防署開署(職員13人、大型高所放水車1台、水槽行消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)	
	7 月	1 日	森迫良和第2代助役に就任	
	8 月	28 日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける	
	10 月	1 日	西部消防署に職員4人を増置、17人とする	
	11 月	1 日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置	
昭和 60 年	2 月	27 日	中央消防署倉庫新築(鉄骨スレート葺 2階建 延面積64㎡)	
	2 月	28 日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設	
	4 月	1 日	条例定数改正 119人 実員 108人	
昭和 60年	12 月	3 日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける	
	12 月	25 日	救急業務用地図等検索装置(光ディスク方式)購入	
昭和 61 年	4 月	1 日	消防本部警防課に通信指令係を新設(職員3人)	
	4 月	18 日	消防組合発足5周年記念式典を挙げる	

年	月	日	概 要
昭和 61 年	8 月	11 日	山本消防庁退任(萩助助役が消防庁事務取扱兼務)
	10 月	1 日	野田泰宏第2代消防長に就任
昭和 62 年	3 月	28 日	消防本部、中央消防署庁舎増築・模様替工事(2階部分261㎡増築) 中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺73.95㎡)
	12 月	7 日	福崎勇夫氏(川内市)より救急車の寄贈を受ける
	12 月	15 日	救助工作車及び救助資機材一式を購入、中央消防署に配備
昭和 63 年	3 月	9 日	消防庁長官表彰(表彰旗)
	6 月	30 日	松永収入役退任
	9 月	6 日	森 卓朗第2代収入役に就任
	12 月		市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議 全市町村議会議決
平成 元年	1 月	30 日	だいわより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	2 月	2 日	東部消防署車庫を新築(鉄骨スレート葺17.92㎡)
	3 月	4 日	市町村負担金分賦割合の変更許可(県知事)
	12 月	5 日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける
平成 2 年	3 月	31 日	野田消防長退任
	4 月	1 日	内田耕也第3代消防長に就任
	6 月	16 日	短ストアより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	10 月	24 日	南日本開発より梯子車(35m)の寄贈を受ける(川内市へ)
平成 3 年	4 月	7 日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける
	8 月	4 日	消防組合発足10周年記念式典を挙行(第9回消防フェスティバル同時開催)
平成 4 年	3 月	2 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける(5w15基)
	3 月	26 日	中央消防署南部分署新庁舎完成(川内市若松町8番20号)
	8 月		中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催
	9 月	1 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	10 月	1 日	中央消防署南部分署に職員4人を増置、13人とする
平成 5 年	11 月	1 日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換
	3 月	20 日	中央消防署南部分署に訓練塔建設
	3 月	16 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w10基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	3 月	27 日	サンテックより小型船舶(1.5t)の寄贈を受ける
平成 6 年	9 月	20 日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出(平成6年度負担金から適用)
	2 月	15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w6基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	4 月	1 日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置

年	月	日	概 要
平成 6 年	5 月	18 日	救急救命士誕生、11月に2人となる
平成 7 年	1 月	24 日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人、車両2台を派遣 ～28日
		3 月	31 日
	4 月	1 日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任)
			条例定数改正 128人 実員123人
	川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置、財務会計のオンライン処理開始		
	5 月	19 日	救急救命士3人となる
	7 月	27 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	8 月	21 日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～23日
	8 月	25 日	森収入役退任
	8 月	29 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	8 月	31 日	萩迫助役退任
	10 月	1 日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施(10月2人、11月2人)
	11 月	22 日	救急救命士4人となる
平成 8 年	1 月	18 日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入、中央消防署に配備
			仁礼管理者退任
	3 月	10 日	森 卓朗第3代管理者に就任
	3 月	15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w3基)の貸与を受ける
			富山新八第3代助役に就任
	4 月	1 日	若松隆久第3代収入役に就任
			高規格救急車等による高度救急業務を開始
	消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする		
	4 月	9 日	コーアガスグループより指令車の寄贈を受ける
	8 月	20 日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～22日
	10 月	22 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)
	12 月	2 日	救急救命士5人となる
	平成 9 年	3 月	26 日
山口消防長退任			
4 月		1 日	岩切秀雄第5代消防長に就任
4 月		4 日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける
5 月		12 日	救急救命士6人となる
5 月		13 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱
7 月		10 日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人、車両3台を派遣 ～11日

年	月	日	概 要	
平成 9 年	8 月	20 日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車(けすゾウくん)の寄贈を受ける	
	10 月	7 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡市)～8日	
	11 月		救急救命士7人となる	
平成 10	3 月	7 日	自治体消防制度50周年	
	3 月	10 日	代表電話番号の変更 0996-22-0119	
	4 月	1 日	緊急通信指令施設(Ⅱ型)稼働 携帯電話等からの119番通報受信開始 女性消防吏員1人採用	
	4 月	22 日	中央消防署梯子車(35m)分解整備(オーバーホール)～9月30日	
	5 月	1 日	川内地区消防組合潜水隊編成(7人)	
	5 月	12 日	救急救命士8人となる	
	11 月	19 日	川内ライオネスクラブより予防指導車(川内ライオネスクラブ号)の寄贈を受ける	
	11 月	25 日	救急救命士9人となる	
	平成 11 年	2 月	24 日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始
		3 月	5 日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届(平成11年度から適用)
4 月		1 日	消防本部に予防課を新設し3課7係となる 職員実数128となる	
4 月		9 日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催(以降毎月9日に定期的に実施)	
5 月		11 日	救急救命士10人となる	
5 月		20 日	第83回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～21日	
10 月		19 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎市)～20日	
11 月		10 日	救急救命士11人となる	
平成 12 年		2 月	1 日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町22番10号
		3 月	17 日	上・下飯分駐所消防職員待機宿舍を上・下飯に1棟ずつ新築し、合わせて6世帯確保となる
	3 月	31 日	富山助役退任 岩切消防長退任	
	4 月	1 日	岩切秀雄第4代助役に就任 春田廣士第6代消防長に就任	
	4 月	18 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から(エアータント一式、発電機等8式、防護服等50式)の貸与を受ける	
	4 月	18 日	南部分署大型高所放水車分解整備(オーバーホール)～9月30日	
	5 月	9 日	救急救命士12人となる	
	10 月	23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(東京都江東区)～24日	

年	月	日	概 要
平成 12 年	10 月	29 日	川内ライオンズクラブ(35周年記念事業)から指揮広報車(川内ライオンズ号)の寄贈を受ける
	11 月	1 日	救急救命士13人となる
平成 13 年	3 月	23 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w5基)の貸与を受ける
	10 月	2 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀市)～3日 消防組合20周年記念式典を挙(百次町、屋内研修訓練体育施設にて) 外園運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける
平成 14 年	3 月	31 日	春田消防長転任
	4 月	1 日	伊豫田輝雄第7代消防長に就任
	5 月	13 日	救急救命士14人となる
	5 月	29 日	宝山実業より救急車(赤玉号)の寄贈を受ける
	6 月	28 日	おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける
平成 16 年	10 月	8 日	川内地区消防組合(昭和56年4月1日発足)解散式を挙(中央消防署車庫にて)